

平成29年度 港湾請負工事積算基準 対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
第1部 基準目次 目次-2	<p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>1節 浚渫・土捨工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 1- 1</p> <p>2. ポンプ浚渫工 ----- 3- 1- 9</p> <p>3. グラブ浚渫工 ----- 3- 1-22</p> <p>4. 硬土盤浚渫工 ----- 3- 1-28</p> <p>5. 岩盤浚渫工 ----- 3- 1-34</p> <p>6. バックホウ浚渫工 ----- 3- 1-40</p> <p>7. 排砂管設備工 ----- 3- 1-41</p> <p>8. 土運船運搬工 ----- 3- 1-50</p> <p>9. 揚土土捨工 ----- 3- 1-57</p> <p>3節 基礎工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 3- 1</p> <p>2. 基礎盛砂工 ----- 3- 3- 6</p> <p>3. 洗掘防止工 ----- 3- 3- 9</p> <p>4. 基礎捨石工 ----- 3- 3-13</p> <p>5. 袋詰コンクリート工 ----- 3- 3-23</p> <p>6. 基礎ブロック工 ----- 3- 3-23</p> <p>7. 水中コンクリート工 ----- 3- 3-23</p> <p>8. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3- 3-23</p> <p>参考資料-1 機械均し</p> <p>参考資料-2 バックホウ均し</p> <p>補足資料-1 基礎工(被覆・根固工共通)</p>	<p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>1節 浚渫・土捨工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 1- 1</p> <p>2. ポンプ浚渫工 ----- 3- 1- 9</p> <p>3. グラブ浚渫工 ----- 3- 1-22</p> <p>4. 硬土盤浚渫工 ----- 3- 1-28</p> <p>5. 岩盤浚渫工 ----- 3- 1-34</p> <p>6. 排砂管設備工 ----- 3- 1-40</p> <p>7. 土運船運搬工 ----- 3- 1-49</p> <p>8. 揚土土捨工 ----- 3- 1-55</p> <p>3節 基礎工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 3- 1</p> <p>2. 基礎盛砂工 ----- 3- 3- 6</p> <p>3. 洗掘防止工 ----- 3- 3- 9</p> <p>4. 基礎捨石工 ----- 3- 3-13</p> <p>5. 基礎ブロック工 ----- 3- 3-23</p> <p>6. 水中コンクリート工 ----- 3- 3-23</p> <p>7. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3- 3-23</p> <p>参考資料-1 機械均し</p> <p>参考資料-2 バックホウ均し</p> <p>参考資料-3 袋詰コンクリート工</p> <p>補足資料-1 基礎工(被覆・根固工共通)</p>	字句の修正
第1部 基準目次 目次-3	<p>4. 3 場所打式</p> <p>1. 総則 ----- 3-4. 3- 1</p> <p>2. 場所打コンクリート工 ----- 3-4. 3- 5</p> <p>3. 水中コンクリート工 ----- 3-4. 3- 7</p> <p>4. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3-4. 3-13</p> <p>参考資料-1 プレパックドコンクリート工</p>	<p>4. 3 場所打式</p> <p>1. 総則 ----- 3-4. 3- 1</p> <p>2. 場所打コンクリート工 ----- 3-4. 3- 5</p> <p>3. 水中コンクリート工 ----- 3-4. 3- 7</p> <p>4. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3-4. 3-13</p>	改定による削除
第1部 基準目次 目次-4	<p>5節 被覆・根固工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 5- 1</p> <p>2. 被覆石工 ----- 3- 5- 6</p> <p>3. 袋詰コンクリート工 ----- 3- 5-14</p> <p>4. 被覆ブロック工 ----- 3- 5-14</p> <p>5. 被覆ブロック(海岸) ----- 3- 5-19</p> <p>6. 根固ブロック工 ----- 3- 5-20</p> <p>7. 水中コンクリート工 ----- 3- 5-37</p> <p>8. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3- 5-37</p> <p>9節 裏込・裏埋工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 9- 1</p> <p>2. 裏込工 ----- 3- 9- 6</p> <p>3. 裏埋工 ----- 3- 9-19</p> <p>4. 裏埋土工 ----- 3- 9-20</p> <p>付属資料-1 ポンプ浚渫船による裏埋(埋立)土砂の歩留率</p> <p>参考資料-1 瀨取り</p> <p>補足資料-1 裏込・裏埋工</p>	<p>5節 被覆・根固工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 5- 1</p> <p>2. 被覆石工 ----- 3- 5- 6</p> <p>3. 被覆ブロック工 ----- 3- 5-14</p> <p>4. 被覆ブロック(海岸) ----- 3- 5-19</p> <p>5. 根固ブロック工 ----- 3- 5-20</p> <p>6. 水中コンクリート工 ----- 3- 5-37</p> <p>7. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3- 5-37</p> <p>参考資料-1 袋詰コンクリート工</p> <p>9節 裏込・裏埋工</p> <p>1. 総則 ----- 3- 9- 1</p> <p>2. 裏込工 ----- 3- 9- 6</p> <p>3. 裏埋工 ----- 3- 9-24</p> <p>4. 裏埋土工 ----- 3- 9-25</p> <p>参考資料-1 直接投入以外の裏込材投入(陸上投入)</p> <p>付属資料-1 ポンプ浚渫船による裏埋(埋立)土砂の歩留率</p> <p>補足資料-1 裏込・裏埋工</p>	改定による削除
			改定による追加
			字句の修正
			改定による追加
			字句の修正



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																								
第2章2節 間接工事費 2-2-6	2-11-3 積算の方法 (2) <u>率計算項目</u> 率計算に含まれる項目は、下表のとおりとする。 <table border="1" data-bbox="409 348 1389 621"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>率計算項目の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>垂れ幕(横断幕)、工事看板(説明板・案内板・PR看板)、緑化・花壇(椅子・ベンチ含む)、ライトアップ、見学用設備</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>器具美化(バリケード、転落防止柵(足場・安全ネット)、工事標識、安全標識照明、安全器機(カラーコーン・回転灯)、安全具(救命胴衣・安全浮環・ヘルメット・安全靴・安全帯・消火器)、清掃費</td> </tr> <tr> <td>役務関係</td> <td>率計算項目なし</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>施設美化(現場事務所・現場休憩所・作業員宿舍)、インフォメーション施設の設置および管理運営、パンフレット、見学会・行事の開催</td> </tr> </tbody> </table>	項目	率計算項目の内訳	仮設備関係	垂れ幕(横断幕)、工事看板(説明板・案内板・PR看板)、緑化・花壇(椅子・ベンチ含む)、ライトアップ、見学用設備	安全関係	器具美化(バリケード、転落防止柵(足場・安全ネット)、工事標識、安全標識照明、安全器機(カラーコーン・回転灯)、安全具(救命胴衣・安全浮環・ヘルメット・安全靴・安全帯・消火器)、清掃費	役務関係	率計算項目なし	営繕関係	施設美化(現場事務所・現場休憩所・作業員宿舍)、インフォメーション施設の設置および管理運営、パンフレット、見学会・行事の開催	2-11-3 積算の方法 削除	改定による削除														
項目	率計算項目の内訳																										
仮設備関係	垂れ幕(横断幕)、工事看板(説明板・案内板・PR看板)、緑化・花壇(椅子・ベンチ含む)、ライトアップ、見学用設備																										
安全関係	器具美化(バリケード、転落防止柵(足場・安全ネット)、工事標識、安全標識照明、安全器機(カラーコーン・回転灯)、安全具(救命胴衣・安全浮環・ヘルメット・安全靴・安全帯・消火器)、清掃費																										
役務関係	率計算項目なし																										
営繕関係	施設美化(現場事務所・現場休憩所・作業員宿舍)、インフォメーション施設の設置および管理運営、パンフレット、見学会・行事の開催																										
第2章2節 間接工事費 2-2-7	2) 積上げ計算による部分 (1) 現場条件を的確に把握することにより、必要額を適正に積上げる。 (2) 積上げ実施項目については、設計図書に条件明示する。 (3) 積上げ計算項目は、「前項1)(2)」に該当しない項目とする。	2) 積上げ計算による部分 (1) 現場条件を的確に把握することにより、必要額を適正に積上げる。 (2) 積上げ実施項目については、設計図書に条件明示する。 (3) 積上げ計算項目は、 <u>イメージアップ経費の構成のうち、発注者が指定するものとする。</u>	記載内容の改定																								
第2章2節 間接工事費 2-2-10	3) 「処分費等」の取扱い <table border="1" data-bbox="433 772 1389 1272"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下の場合かつ処分費等が3千万円以下の場合</th> <th>処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合または、処分費等が3千万円を超える場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通仮設費 (イメージアップ経費は除く)</td> <td>全額を率計算の対象とする。</td> <td>処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。</td> </tr> <tr> <td>現場管理費</td> <td>全額を率計算の対象とする。</td> <td>処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td>全額を率計算の対象とする。</td> <td>処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下の場合かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合または、処分費等が3千万円を超える場合	共通仮設費 (イメージアップ経費は除く)	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。	現場管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。	一般管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。	3) 「処分費等」の取扱い <table border="1" data-bbox="1620 772 2576 1213"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合が3%以下の場合かつ処分費等が3千万円以下の場合</th> <th>処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合が3%を超える場合または、処分費等が3千万円を超える場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共通仮設費 (イメージアップ経費は除く)</td> <td>全額を率計算の対象とする。</td> <td>処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。</td> </tr> <tr> <td>現場管理費</td> <td>全額を率計算の対象とする。</td> <td>処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td>全額を率計算の対象とする。</td> <td>処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合が3%以下の場合かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合が3%を超える場合または、処分費等が3千万円を超える場合	共通仮設費 (イメージアップ経費は除く)	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。	現場管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。	一般管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。	字句の修正
区分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%以下の場合かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合が3%を超える場合または、処分費等が3千万円を超える場合																									
共通仮設費 (イメージアップ経費は除く)	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。																									
現場管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。																									
一般管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)+準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。																									
区分	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合が3%以下の場合かつ処分費等が3千万円以下の場合	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合が3%を超える場合または、処分費等が3千万円を超える場合																									
共通仮設費 (イメージアップ経費は除く)	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。																									
現場管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。																									
一般管理費	全額を率計算の対象とする。	処分費等が「共通仮設費対象額(P)」に占める割合の3%とし、3%を超える金額は、率計算の対象としない。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする。																									
第3章1節 浚渫・土捨工 目次	1-5 浚渫方法、浚渫船種の選定 1-5-1 浚渫方法、浚渫船種の選定フロー ----- 3-1-3 1-5-2 土質、N値別の標準適用船種 ----- 3-1-3 1-5-3 土質分類 ----- 3-1-3 1-5-4 浚渫船の船種別標準最大作業水深 ----- 3-1-4	1-5 浚渫方法、浚渫船種の選定 1-5-1 浚渫方法、浚渫船種の選定フロー ----- 3-1-3 1-5-2 土質、N値別の標準適用船種 ----- 3-1-3 1-5-3 土質分類 ----- 3-1-3 1-5-4 浚渫船の船種別標準最大作業水深 ----- 3-1-4	記載内容の削除																								
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-2	1-4 標準的な積算手順 <div style="text-align: center;"> </div>	1-4 標準的な積算手順 <div style="text-align: center;"> </div>	字句の修正																								

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント																																																																																																																																																																														
<p>第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-3</p>	<p>1-5-1 浚渫方法、浚渫船種の選定フロー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">標準適用船種の選定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">土質分類、N値による選定</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">施工水深による選定</div> </div> <p>「1-5-2 土質、N値別の標準適用船種」参照</p> <p>「<u>1-5-4</u> 浚渫船の船種別標準最大作業水深」参照</p> <p>1-5-2 土質、N値別の標準適用船種</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">土質</th> <th rowspan="2">N値、状態</th> <th colspan="4">標準適用船種</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>ポンプ浚渫船</th> <th colspan="3">グラブ浚渫船</th> <th>バックホウ浚渫船</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th></th> <th></th> <th>普通地盤用</th> <th>硬土盤用</th> <th>岩盤用</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">普通土砂</td> <td>粘土質系</td> <td>30未満</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>粘性土、または</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>30～50 "</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>粘土質土砂</td> </tr> <tr> <td>砂質系</td> <td>30 "</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>砂質土、または</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>30～50 "</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>砂質土砂</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砂</td> <td>レキ混り</td> <td>30 "</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>30～50 "</td> <td></td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩盤</td> <td>軟質</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中質</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 表中の○印が標準適用船種である（— は適用不能の船種）。                  2. 普通土砂の土質分類はポンプ浚渫とグラブ浚渫で異なる（「<u>本節 1-5-3 土質分類</u>」参照）。                  3. 上記の土質が複数含まれている工事においては、原則として最も硬い土質に適用される船種を選定する。                  4. レキ混り土砂または岩盤については、過去の施工実績あるいは試験工事の結果を勘案してポンプ浚渫船を適用することができる。</p>	土質		N値、状態	標準適用船種				摘要	ポンプ浚渫船	グラブ浚渫船			バックホウ浚渫船	分類			普通地盤用	硬土盤用	岩盤用			普通土砂	粘土質系	30未満	○	○		○	粘性土、または	土砂	30～50 "	○	—	○	○	粘土質土砂	砂質系	30 "	○	○		○	砂質土、または	土砂	30～50 "	○	—	○	○	砂質土砂	砂	レキ混り	30 "		○		○		土砂	30～50 "		—	○	○		岩盤	軟質			—	○			中質			—	○			硬質			—	—	○		<p>1-5-1 浚渫方法、浚渫船種の選定フロー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">標準適用船種の選定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">土質分類、N値による選定</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">施工水深による選定</div> </div> <p>「1-5-2 土質、N値別の標準適用船種」参照</p> <p>「<u>1-5-3</u> 浚渫船の船種別標準最大作業水深」参照</p> <p>1-5-2 土質、N値別の標準適用船種</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">土質</th> <th rowspan="2">N値、状態</th> <th colspan="4">標準適用船種</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>ポンプ浚渫船</th> <th colspan="3">グラブ浚渫船</th> <th>バックホウ浚渫船</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th></th> <th></th> <th>普通地盤用</th> <th>硬土盤用</th> <th>岩盤用</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">普通土砂</td> <td>粘土質系</td> <td>30未満</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>粘性土、または</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>30～50 "</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>粘土質土砂</td> </tr> <tr> <td>砂質系</td> <td>30 "</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>砂質土、または</td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>30～50 "</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>砂質土砂</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砂</td> <td>レキ混り</td> <td>30 "</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂</td> <td>30～50 "</td> <td></td> <td>—</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩盤</td> <td>軟質</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中質</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>硬質</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 表中の○印が標準適用船種である（— は適用不能の船種）。                  2. 上記の土質が複数含まれている工事においては、原則として最も硬い土質に適用される船種を選定する。                  3. レキ混り土砂または岩盤については、過去の施工実績あるいは試験工事の結果を勘案してポンプ浚渫船を適用することができる。</p>	土質		N値、状態	標準適用船種				摘要	ポンプ浚渫船	グラブ浚渫船			バックホウ浚渫船	分類			普通地盤用	硬土盤用	岩盤用			普通土砂	粘土質系	30未満	○	○		○	粘性土、または	土砂	30～50 "	○	—	○	○	粘土質土砂	砂質系	30 "	○	○		○	砂質土、または	土砂	30～50 "	○	—	○	○	砂質土砂	砂	レキ混り	30 "		○		○		土砂	30～50 "		—	○	○		岩盤	軟質			—	○			中質			—	○			硬質			—	—	○		<p>字句の修正</p> <p>記載内容の削除</p>
土質					N値、状態	標準適用船種				摘要																																																																																																																																																																							
		ポンプ浚渫船	グラブ浚渫船			バックホウ浚渫船																																																																																																																																																																											
分類			普通地盤用	硬土盤用	岩盤用																																																																																																																																																																												
普通土砂	粘土質系	30未満	○	○		○	粘性土、または																																																																																																																																																																										
	土砂	30～50 "	○	—	○	○	粘土質土砂																																																																																																																																																																										
	砂質系	30 "	○	○		○	砂質土、または																																																																																																																																																																										
	土砂	30～50 "	○	—	○	○	砂質土砂																																																																																																																																																																										
砂	レキ混り	30 "		○		○																																																																																																																																																																											
	土砂	30～50 "		—	○	○																																																																																																																																																																											
岩盤	軟質			—	○																																																																																																																																																																												
	中質			—	○																																																																																																																																																																												
	硬質			—	—	○																																																																																																																																																																											
土質		N値、状態	標準適用船種				摘要																																																																																																																																																																										
			ポンプ浚渫船	グラブ浚渫船				バックホウ浚渫船																																																																																																																																																																									
分類			普通地盤用	硬土盤用	岩盤用																																																																																																																																																																												
普通土砂	粘土質系	30未満	○	○		○	粘性土、または																																																																																																																																																																										
	土砂	30～50 "	○	—	○	○	粘土質土砂																																																																																																																																																																										
	砂質系	30 "	○	○		○	砂質土、または																																																																																																																																																																										
	土砂	30～50 "	○	—	○	○	砂質土砂																																																																																																																																																																										
砂	レキ混り	30 "		○		○																																																																																																																																																																											
	土砂	30～50 "		—	○	○																																																																																																																																																																											
岩盤	軟質			—	○																																																																																																																																																																												
	中質			—	○																																																																																																																																																																												
	硬質			—	—	○																																																																																																																																																																											

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
<p>第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-41</p>	<p>6-1-3 代価表作成手順 [排砂管設置・撤去の積算]</p> <p><u>6-1-7</u></p> <p>・フロータ管、海底管、排砂管(海上受枠上)、排砂管(陸上受枠上)、設置・撤去数量 → 設置・撤去供用日数算定 → ①排砂管設置・撤去に伴う供用日数</p> <p>↓</p> <p>・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の運転日数、拘束日数 → 排砂管設備損料対象日数の算定 → ②排砂管設備損料対象日数</p> <p>・供用係数 ①排砂管設置・撤去に伴う供用日数</p> <p>・施工条件 → 施工条件による考慮</p> <p><u>6-1-6</u></p> <p>・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の規格 → 使用船種の決定 → ③揚錨船の規格</p> <p>↓</p> <p><u>6-1-7</u></p> <p>・木材の使用区分 ・木材の購入価格 ②排砂管設備損料対象日数 → 木材単価の計算 → ④木材の単価</p> <p>↓</p> <p>・フロータ管、海底管、排砂管(海上受枠上)、排砂管(陸上受枠上)、設置・撤去数量 → 代価表の作成 →</p> <p>・作業の種類 ・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の規格 ③揚錨船の規格 ④木材の単価 ・番号、受枠の高さ ・供用係数</p> <p>→</p> <p>・番号設置・撤去 10組当り代価表 ・浮上番号設置・撤去 10組当り代価表 ・立上がり番号設置・撤去 10組当り代価表</p> <p>→</p> <p>・海上受枠設置・撤去 30m当り代価表 ・陸上受枠設置・撤去 30m当り代価表</p> <p>→</p> <p>・排砂管(海底管)設置・撤去 60m当り代価表 ・排砂管(海上受枠上)設置・撤去 60m当り代価表 ・排砂管(陸上受枠上)設置・撤去 60m当り代価表</p> <p>→</p> <p>・フロータ管設置・撤去 60m当り代価表</p> <p>[排砂管設備の積算]</p> <p>・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の規格 → <u>6-1-5</u> 排砂管設備の規格決定 → ⑤排砂管、フロータ、ゴムジョイントの規格</p> <p>↓</p> <p><u>6-1-7</u></p> <p>⑤排砂管、フロータ、ゴムジョイントの規格 ・排砂管、フロータ、ゴムジョイントの数量 ・浮上番号の設置数量 ・立上がり番号の設置数量 ②排砂管設備損料対象日数 → 代価表の作成 → ・排砂管設備1式当り代価表</p>	<p>6-1-3 代価表作成手順 [排砂管設置・撤去の積算]</p> <p><u>6-1-6</u></p> <p>・フロータ管、海底管、排砂管(海上受枠上)、排砂管(陸上受枠上)、設置・撤去数量 → 設置・撤去供用日数算定 → ①排砂管設置・撤去に伴う供用日数</p> <p>↓</p> <p>・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の運転日数、拘束日数 → 排砂管設備損料対象日数の算定 → ②排砂管設備損料対象日数</p> <p>・供用係数 ①排砂管設置・撤去に伴う供用日数</p> <p>・施工条件 → 施工条件による考慮</p> <p>↓</p> <p>・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の規格 → 使用船種の決定 → ③揚錨船の規格</p> <p>↓</p> <p>・木材の使用区分 ・木材の購入価格 ②排砂管設備損料対象日数 → 木材単価の計算 → ④木材の単価</p> <p>↓</p> <p>・フロータ管、海底管、排砂管(海上受枠上)、排砂管(陸上受枠上)、設置・撤去数量 → 代価表の作成 →</p> <p>・作業の種類 ・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の規格 ③揚錨船の規格 ④木材の単価 ・番号、受枠の高さ ・供用係数</p> <p>→</p> <p>・番号設置・撤去 10組当り代価表 ・浮上番号設置・撤去 10組当り代価表 ・立上がり番号設置・撤去 10組当り代価表</p> <p>→</p> <p>・海上受枠設置・撤去 30m当り代価表 ・陸上受枠設置・撤去 30m当り代価表</p> <p>→</p> <p>・排砂管(海底管)設置・撤去 60m当り代価表 ・排砂管(海上受枠上)設置・撤去 60m当り代価表 ・排砂管(陸上受枠上)設置・撤去 60m当り代価表</p> <p>→</p> <p>・フロータ管設置・撤去 60m当り代価表</p> <p>[排砂管設備の積算]</p> <p>・ポンプ浚渫船またはバージアンローダ船、空気圧送船の規格 → <u>6-1-5</u> 排砂管設備の規格決定 → ⑤排砂管、フロータ、ゴムジョイントの規格</p> <p>↓</p> <p><u>6-1-6</u></p> <p>⑤排砂管、フロータ、ゴムジョイントの規格 ・排砂管、フロータ、ゴムジョイントの数量 ・浮上番号の設置数量 ・立上がり番号の設置数量 ②排砂管設備損料対象日数 → 代価表の作成 → ・排砂管設備1式当り代価表</p>	<p>字句の修正</p>



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-42	<p><b>[排砂補助の積算]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土質等現場条件 → <u>7-1-4</u> 排砂補助計上の検討 → ⑥必要な場合は、ブルドーザを計上</li> <li>⑥ブルドーザを計上する場合 → <u>7-1-7</u> 代価表の作成 → 排砂補助1式当り代価表</li> </ul> <p><b>[排砂管保守の積算]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排砂管延長、土質等現場条件 → <u>7-1-4</u> 排砂管保守計上の検討 → ⑦必要な場合は、排砂管保守費用を計上</li> <li>⑦排砂管保守を計上する場合 → <u>7-1-7</u> 代価表の作成 → 排砂管保守1式当り代価表</li> </ul>	<p><b>[排砂補助の積算]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土質等現場条件 → <u>6-1-4</u> 排砂補助計上の検討 → ⑥必要な場合は、ブルドーザを計上</li> <li>⑥ブルドーザを計上する場合 → <u>6-1-6</u> 代価表の作成 → 排砂補助1式当り代価表</li> </ul> <p><b>[排砂管保守の積算]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排砂管延長、土質等現場条件 → <u>6-1-4</u> 排砂管保守計上の検討 → ⑦必要な場合は、排砂管保守費用を計上</li> <li>⑦排砂管保守を計上する場合 → <u>6-1-6</u> 代価表の作成 → 排砂管保守1式当り代価表</li> </ul>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-44	<p>(2) 設置・撤去の数量</p> <p>① 排砂管(フロータ)の本数は、排砂管(フロータ)設置総延長を排砂管1本当りの単位長さ(6.0m)で除して算出する(1位止、切上げ)。</p> <p>② ゴムジョイントの本数は、次式により算出する(1位止、切上げ)。</p> $\text{ゴムジョイント本数} = \frac{\text{フロータ部延長(m)}}{6\text{m}} + \frac{\text{海底管延長(m)}}{20\text{m}} + 1$ <p>③ ポンプ浚渫船のフロータ管は、「本節 <u>7-1-5</u> 排砂管設備の規格」に示す標準装備延長以上設置することを原則とする。</p>	<p>(2) 設置・撤去の数量</p> <p>① 排砂管(フロータ)の本数は、排砂管(フロータ)設置総延長を排砂管1本当りの単位長さ(6.0m)で除して算出する(1位止、切上げ)。</p> <p>② ゴムジョイントの本数は、次式により算出する(1位止、切上げ)。</p> $\text{ゴムジョイント本数} = \frac{\text{フロータ部延長(m)}}{6\text{m}} + \frac{\text{海底管延長(m)}}{20\text{m}} + 1$ <p>③ ポンプ浚渫船のフロータ管は、「本節 <u>6-1-5</u> 排砂管設備の規格」に示す標準装備延長以上設置することを原則とする。</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-49	<p>7-1-2-2 代価表作成手順  <b>[土運船運搬費の積算]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラブ浚渫船(普通地盤用→硬土盤用、岩盤用)の規格 → <u>8-1-2-3、8-1-2-4</u> 船団構成の決定 → ①土運船の規格、②引船押船の規格</li> <li>施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → 必要な場合は水雷・傷害保険料を計上(共通仮設費)</li> <li>グラブ容量、土質分類、N値、状態 → <u>8-1-2-5</u> 1時間当り浚渫能力選定 → ③1時間当り浚渫能力、④土量の標準変化率</li> </ul>	<p>7-1-2-2 代価表作成手順  <b>[土運船運搬費の積算]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラブ浚渫船(普通地盤用→硬土盤用、岩盤用)の規格 → <u>7-1-2-3、7-1-2-4</u> 船団構成の決定 → ①土運船の規格、②引船押船の規格</li> <li>施工場所 → 水雷・傷害保険の検討 → 必要な場合は水雷・傷害保険料を計上(共通仮設費)</li> <li>グラブ容量、土質分類、N値、状態 → <u>7-1-2-5</u> 1時間当り浚渫能力選定 → ③1時間当り浚渫能力、④土量の標準変化率</li> </ul>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-50	<p>7-1-2-3 土運船の規格選定                      1) 規格選定フロー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         標準規格の選定                          使用するグラブ浚渫船による規格選定                     </div> <p>「<u>8-1-2-4</u> 作業船規格区分と組合せ」                      2) グラブ浚渫船と土運船の組合せ」参照</p>	<p>7-1-2-3 土運船の規格選定                      1) 規格選定フロー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         標準規格の選定                          使用するグラブ浚渫船による規格選定                     </div> <p>「<u>7-1-2-4</u> 作業船規格区分と組合せ」                      2) グラブ浚渫船と土運船の組合せ」参照</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-52	<p>(2) 土運船運搬後、バージアンローダ船または空気圧送船により土捨する場合</p> $q_2: \text{バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量 (m}^3/\text{h)}$ $q_2 = q_1 \times E_4 \quad (\text{小数2位四捨五入})$ $q_1: \text{バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土能力 (m}^3/\text{h)}$ $E_4: \text{作業時間区分能力係数}$ <p>「本節 <u>9-1</u> バージアンローダ揚土、<u>9-1-6</u> 施工歩掛、1) 作業能力」および「本節 <u>9-2</u> 空気圧送揚土、<u>9-2-6</u> 施工歩掛、1) 作業能力」参照</p> <p>T : グラブ浚渫船1日当り運転時間(h/日、標準は8h/日)</p>	<p>(2) 土運船運搬後、バージアンローダ船または空気圧送船により土捨する場合</p> $q_2: \text{バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量 (m}^3/\text{h)}$ $q_2 = q_1 \times E_4 \quad (\text{小数2位四捨五入})$ $q_1: \text{バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土能力 (m}^3/\text{h)}$ $E_4: \text{作業時間区分能力係数}$ <p>「本節 <u>8-1</u> バージアンローダ揚土、<u>8-1-6</u> 施工歩掛、1) 作業能力」および「本節 <u>8-2</u> 空気圧送揚土、<u>8-2-6</u> 施工歩掛、1) 作業能力」参照</p> <p>T : グラブ浚渫船1日当り運転時間(h/日、標準は8h/日)</p>	字句の修正

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-60	<p>8-2-3 代価表作成手順                      [揚土土捨費の積算]</p> <p>8-1-3-3</p> <p>・1日当り浚渫量                      ・施工数量、工期、運転時間→                      ・供用係数、土捨場の受入土                      量の制約等                      ・作業船在港状況 →</p> <p>↑</p> <p>空気圧送船の規格決定 →①空気圧送船の規格</p> <p>↓</p> <p>8-1-3-4</p> <p>①空気圧送船の規格                      ・現場条件 →</p> <p>↑</p> <p>8-1-3-5</p> <p>・土質・含水比                      ・排送距離                      ①空気圧送船の規格 →</p> <p>1時間当り揚土能力算定 →③1時間当り揚土能力                      ④土量の標準変化率</p>	<p>8-2-3 代価表作成手順                      [揚土土捨費の積算]</p> <p>8-2-4</p> <p>・1日当り浚渫量                      ・施工数量、工期、運転時間→                      ・供用係数、土捨場の受入土                      量の制約等                      ・作業船在港状況 →</p> <p>↑</p> <p>空気圧送船の規格決定 →①空気圧送船の規格</p> <p>↓</p> <p>8-2-5</p> <p>①空気圧送船の規格                      ・現場条件 →</p> <p>↑</p> <p>8-2-6</p> <p>・土質・含水比                      ・排送距離                      ①空気圧送船の規格 →</p> <p>1時間当り揚土能力算定 →③1時間当り揚土能力                      ④土量の標準変化率</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-(16)	<p>算定式の適用は、原則として引船1日当り運転時間が8時間以下の場合とし、土運船による運搬距離が長く、土捨関連時間が8時間を超える場合には、別途決定する(「本節 8. 土運船運搬工、8-1-2-5 施工歩掛、5) 土運船による遠距離土捨について」参照)。</p> <p>2) 1時間当り浚渫能力と土量の標準変化率                      バックホウ浚渫船1時間当り浚渫能力(m<sup>3</sup>/h)と土量の標準変化率「本節 参考資料-1 1-6 施工歩掛、1)、(2) 1時間当り浚渫能力(m<sup>3</sup>/h)と土量の標準変化率」を適用する。</p> <p>3) 能力係数等                      「本節 参考資料-1 1-6 施工歩掛、1)、(3) 能力係数等」を適用する。</p> <p>4) 土運船1日当り運搬量                      「本節 8. 土運船運搬工、8-1-2-5 施工歩掛、4) 土運船1日当り運搬量」を適用する。</p>	<p>算定式の適用は、原則として引船1日当り運転時間が8時間以下の場合とし、土運船による運搬距離が長く、土捨関連時間が8時間を超える場合には、別途決定する(「本節 7. 土運船運搬工、7-1-2-5 施工歩掛、5) 土運船による遠距離土捨について」参照)。</p> <p>2) 1時間当り浚渫能力と土量の標準変化率                      バックホウ浚渫船1時間当り浚渫能力(m<sup>3</sup>/h)と土量の標準変化率「本節 参考資料-1 1-6 施工歩掛、1)、(2) 1時間当り浚渫能力(m<sup>3</sup>/h)と土量の標準変化率」を適用する。</p> <p>3) 能力係数等                      「本節 参考資料-1 1-6 施工歩掛、1)、(3) 能力係数等」を適用する。</p> <p>4) 土運船1日当り運搬量                      「本節 7. 土運船運搬工、7-1-2-5 施工歩掛、4) 土運船1日当り運搬量」を適用する。</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-(21)	<p>3) 土運船運搬工                      土運船1日当り所要隻数は、「本節 8. 土運船運搬工、8-1-2 グラブ浚渫土運搬、8-1-2-5 施工歩掛、1) 引船押船および土運船の1日当り所要隻数・運転時間、(2) 土運船運搬後、バージアンローダ船または空気圧送船により土捨する場合」を適用し、「q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量」を「q<sub>2</sub>:リクレーマ船1時間当り揚土量」として算出する。</p>	<p>3) 土運船運搬工                      土運船1日当り所要隻数は、「本節 7. 土運船運搬工、7-1-2 グラブ浚渫土運搬、7-1-2-5 施工歩掛、1) 引船押船および土運船の1日当り所要隻数・運転時間、(2) 土運船運搬後、バージアンローダ船または空気圧送船により土捨する場合」を適用し、「q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量」を「q<sub>2</sub>:リクレーマ船1時間当り揚土量」として算出する。</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-(24)	<p>3) 土運船運搬工                      土運船1日当り所要隻数は、「本節 8. 土運船運搬工、8-1-2 グラブ浚渫土運搬、8-1-2-5 施工歩掛、1) 引船押船および土運船の1日当り所要隻数・運転時間、(2) 土運船運搬後、バージアンローダ船または空気圧送船により土捨する場合」を適用し、「q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量」を、「q<sub>2</sub>:バックホウの1時間当り揚土量」として算出する。</p>	<p>3) 土運船運搬工                      土運船1日当り所要隻数は、「本節 7. 土運船運搬工、7-1-2 グラブ浚渫土運搬、7-1-2-5 施工歩掛、1) 引船押船および土運船の1日当り所要隻数・運転時間、(2) 土運船運搬後、バージアンローダ船または空気圧送船により土捨する場合」を適用し、「q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量」を、「q<sub>2</sub>:バックホウの1時間当り揚土量」として算出する。</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-(29)	<p>1) グラブ浚渫船の1日当り運転時間及び浚渫量                      (1) グラブ浚渫船の1日当り運転時間                      q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土量(m<sup>3</sup>/h)                      q<sub>2</sub>=q<sub>1</sub>×E<sub>4</sub> (小数2位四捨五入)                      q<sub>1</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土能力(m<sup>3</sup>/h)                      E<sub>4</sub>:作業時間区分能力係数                      「本節 9-1 バージアンローダ揚土 9-1-6 施工歩掛、1) 作業能力」および                      「本節 9-2 空気圧送揚土、9-2-6 施工歩掛、1) 作業能力」参照</p>	<p>1) グラブ浚渫船の1日当り運転時間及び浚渫量                      (1) グラブ浚渫船の1日当り運転時間                      q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土量(m<sup>3</sup>/h)                      q<sub>2</sub>=q<sub>1</sub>×E<sub>4</sub> (小数2位四捨五入)                      q<sub>1</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土能力(m<sup>3</sup>/h)                      E<sub>4</sub>:作業時間区分能力係数                      「本節 8-1 バージアンローダ揚土 8-1-6 施工歩掛、1) 作業能力」および                      「本節 8-2 空気圧送揚土、8-2-6 施工歩掛、1) 作業能力」参照</p>	字句の修正
第3章1節 浚渫・土捨工 3-1-(30)	<p>q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量(m<sup>3</sup>/h)                      q<sub>2</sub>=q<sub>1</sub>×E<sub>4</sub> (小数2位四捨五入)                      q<sub>1</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土能力(m<sup>3</sup>/h)                      E<sub>4</sub>:作業時間区分能力係数                      「本節 9-1 バージアンローダ揚土 9-1-6 施工歩掛、1) 作業能力」および                      「本節 9-2 空気圧送揚土、9-2-6 施工歩掛、1) 作業能力」参照</p>	<p>q<sub>2</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土土量(m<sup>3</sup>/h)                      q<sub>2</sub>=q<sub>1</sub>×E<sub>4</sub> (小数2位四捨五入)                      q<sub>1</sub>:バージアンローダ船または空気圧送船1時間当り揚土能力(m<sup>3</sup>/h)                      E<sub>4</sub>:作業時間区分能力係数                      「本節 8-1 バージアンローダ揚土 8-1-6 施工歩掛、1) 作業能力」および                      「本節 8-2 空気圧送揚土、8-2-6 施工歩掛、1) 作業能力」参照</p>	字句の修正

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
第3章2節 海上地盤改良工 目次	7. 圧密・排水工 7-1 サンドドレーン ----- 3-2-27 7-2 敷砂 ----- 3-2-27 7-2-1 適用範囲 ----- 3-2-27 7-2-2 施工手順 ----- 3-2-27 7-2-3 代価作成手順 ----- 3-2-27 7-2-4 施工方式 ----- 3-2-27 7-2-5 施工歩掛 ----- 3-2-28 7-3 敷砂均し ----- 3-2-29 7-3-1 適用範囲 ----- 3-2-29 7-3-2 施工手順 ----- 3-2-29 7-3-3 代価作成手順 ----- 3-2-29 7-3-4 施工方式 ----- 3-2-29 7-3-5 施工歩掛 ----- 3-2-29 7-4 載荷土砂 ----- 3-2-30 7-4-1 適用範囲 ----- 3-2-30 7-4-2 施工手順 ----- 3-2-30 7-4-3 代価作成手順 ----- 3-2-30 7-4-4 載荷土砂投入 ----- 3-2-30 7-4-4-1 施工方式 ----- 3-2-30 7-4-4-2 施工歩掛 ----- 3-2-30 7-4-5 載荷土砂均し ----- 3-2-31 7-4-5-1 施工方式 ----- 3-2-31 7-4-5-2 施工歩掛 ----- 3-2-31 7-4-6 載荷土砂撤去 ----- 3-2-31	7. 圧密・排水工 7-1 敷砂 ----- 3-2-27 7-1-1 適用範囲 ----- 3-2-27 7-1-2 施工手順 ----- 3-2-27 7-1-3 代価作成手順 ----- 3-2-27 7-1-4 施工方式 ----- 3-2-27 7-1-5 施工歩掛 ----- 3-2-28 7-2 敷砂均し ----- 3-2-29 7-2-1 適用範囲 ----- 3-2-29 7-2-2 施工手順 ----- 3-2-29 7-2-3 代価作成手順 ----- 3-2-29 7-2-4 施工方式 ----- 3-2-29 7-2-5 施工歩掛 ----- 3-2-29 7-3 載荷土砂 ----- 3-2-30 7-3-1 適用範囲 ----- 3-2-30 7-3-2 施工手順 ----- 3-2-30 7-3-3 代価作成手順 ----- 3-2-30 7-3-4 載荷土砂投入 ----- 3-2-30 7-3-4-1 施工方式 ----- 3-2-30 7-3-4-2 施工歩掛 ----- 3-2-30 7-3-5 載荷土砂均し ----- 3-2-31 7-3-5-1 施工方式 ----- 3-2-31 7-3-5-2 施工歩掛 ----- 3-2-31 7-3-6 載荷土砂撤去 ----- 3-2-31	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-4	[圧密・排水工] 7-2 敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 7-1 サンドドレーンの積算 → ・砂杭打込 代価表 ・拘束 代価表 サンドドレーン船規格選定 船団構成決定 能力係数の算定 1日当り作業能力の算定 1日当り砂量の算定 拘束日数の決定 代価表の作成 7-4 載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「本節 2. 床掘工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表 [締固工] 7-2 敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表	[圧密・排水工] 7-1 敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表 サンドドレーンの積算 「本節 参考資料-1 サンドドレーン」参照 → ・砂杭打込 代価表 ・拘束 代価表 サンドドレーン船規格選定 船団構成決定 能力係数の算定 1日当り作業能力の算定 1日当り砂量の算定 拘束日数の決定 代価表の作成 7-3 載荷土砂の積算 載荷土砂撤去は、「本節 2. 床掘工」参照 → ・載荷土砂投入 代価表 ・載荷土砂均し 代価表 [締固工] 7-1 敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-5	[固化工] 7-2 敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表	[固化工] 7-1 敷砂の積算 → ・敷砂投入 代価表 ・敷砂均し 代価表	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-23	3. 排砂管設備工 「1節 浚渫・土捨工、7. 排砂管設備工」を適用する。 4. 土運船運搬工 「1節 浚渫・土捨工、8. 土運船運搬工」を適用する。 5. 揚土土捨工 「1節 浚渫・土捨工、9. 揚土土捨工」を適用する。	3. 排砂管設備工 「1節 浚渫・土捨工、6. 排砂管設備工」を適用する。 4. 土運船運搬工 「1節 浚渫・土捨工、7. 土運船運搬工」を適用する。 5. 揚土土捨工 「1節 浚渫・土捨工、8. 揚土土捨工」を適用する。	字句の修正



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-26	6-5 置換材均し 6-5-1 施工方式 均し精度が±30cmの場合は、「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-3</u> 敷砂均し、 <u>7-3-4</u> 施工方式」を適用する。 6-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 均し精度が±30cmの場合は、「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-3</u> 敷砂均し、 <u>7-3-5</u> 施工歩掛、1) 作業能力」を適用する。	6-5 置換材均し 6-5-1 施工方式 均し精度が±30cmの場合は、「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-2</u> 敷砂均し、 <u>7-2-4</u> 施工方式」を適用する。 6-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 均し精度が±30cmの場合は、「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-2</u> 敷砂均し、 <u>7-2-5</u> 施工歩掛、1) 作業能力」を適用する。	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-27	7-1-3 代価表作成手順 [敷砂投入の積算] ・現場条件 → <u>7-2-4</u> 敷砂投入施工方式の決定 → ・原則として現場投入渡しとする ①敷砂投入施工方式 ②瀧取りが必要な場合は、別途瀧取り費用を計上 ↓ ・対象施設 ・投入厚さ ・施工水深 ・施工規模 (扱い投入砂量) → <u>7-2-5</u> 能力補正係数の選定 → ③施設区分能力補正係数 ④厚さ区分能力補正係数 ⑤水深区分能力補正係数 ⑥施工規模区分能力補正係数	7-1-3 代価表作成手順 [敷砂投入の積算] ・現場条件 → <u>7-1-4</u> 敷砂投入施工方式の決定 → ・原則として現場投入渡しとする ①敷砂投入施工方式 ②瀧取りが必要な場合は、別途瀧取り費用を計上 ↓ ・対象施設 ・投入厚さ ・施工水深 ・施工規模 (扱い投入砂量) → <u>7-1-5</u> 能力補正係数の選定 → ③施設区分能力補正係数 ④厚さ区分能力補正係数 ⑤水深区分能力補正係数 ⑥施工規模区分能力補正係数	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-31	7-3-5 荷重土砂均し 7-3-5-1 施工方式 「本節 <u>7-3</u> 敷砂均し、 <u>7-3-4</u> 施工方式」を適用する。 7-3-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 「本節 <u>7-3</u> 敷砂均し、 <u>7-3-5</u> 施工歩掛、1) 作業能力」を適用する。 7-3-6 荷重土砂撤去 「本節 2. 床掘工」、「1節 浚渫・土捨工、 <u>7</u> 排砂管設備工」、「同 <u>8</u> 土運船運搬工」、「同 <u>9</u> 揚土土捨工」を適用する。	7-3-5 荷重土砂均し 7-3-5-1 施工方式 「本節 <u>7-2</u> 敷砂均し、 <u>7-2-4</u> 施工方式」を適用する。 7-3-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 「本節 <u>7-2</u> 敷砂均し、 <u>7-2-5</u> 施工歩掛、1) 作業能力」を適用する。 7-3-6 荷重土砂撤去 「本節 2. 床掘工」、「1節 浚渫・土捨工、 <u>6</u> 排砂管設備工」、「同 <u>7</u> 土運船運搬工」、「同 <u>8</u> 揚土土捨工」を適用する。	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-37	2) 代価表 (1) 締固砂杭打込 1日(本)当り 注) 8. 1日当り扱い砂量は、次式により算出する。 $V : 1日当り扱い砂量 (m^3/日)$ $D : 造成砂杭径 (m)$ $L : 造成杭長 (m)$ 8-4 盛上土砂撤去 「本節 2. 床掘工」、「1節 浚渫・土捨工、 <u>7</u> 排砂管設備工」、「同、 <u>8</u> 土運船運搬工」、「同、 <u>9</u> 揚土土捨工」を適用する。 8-5 敷砂 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-2</u> 敷砂」を適用する。 8-6 敷砂均し 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-3</u> 敷砂均し」を適用する。	2) 代価表 (1) 締固砂杭打込 1日(本)当り 注) 8. 1日当り扱い砂量は、次式により算出する。 $V : 1日当り扱い砂量 (m^3/日)$ $\pi : 円周率 (3.14)$ $D : 造成砂杭径 (m)$ $L : 造成杭長 (m)$ 8-4 盛上土砂撤去 「本節 2. 床掘工」、「1節 浚渫・土捨工、 <u>6</u> 排砂管設備工」、「同、 <u>7</u> 土運船運搬工」、「同、 <u>8</u> 揚土土捨工」を適用する。 8-5 敷砂 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-1</u> 敷砂」を適用する。 8-6 敷砂均し 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-2</u> 敷砂均し」を適用する。	記載内容の追加  字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-43	9-4 盛上土砂撤去 「本節 2. 床掘工」、「1節 浚渫・土捨工、 <u>7</u> 排砂管設備工」、「同、 <u>8</u> 土運船運搬工」、「同、 <u>9</u> 揚土土捨工」を適用する。 9-5 敷砂 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-2</u> 敷砂」を適用する。 9-6 敷砂均し 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-3</u> 敷砂均し」を適用する。	9-4 盛上土砂撤去 「本節 2. 床掘工」、「1節 浚渫・土捨工、 <u>6</u> 排砂管設備工」、「同、 <u>7</u> 土運船運搬工」、「同、 <u>8</u> 揚土土捨工」を適用する。 9-5 敷砂 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-1</u> 敷砂」を適用する。 9-6 敷砂均し 「本節 7. 圧密・排水工、 <u>7-2</u> 敷砂均し」を適用する。	字句の修正
第3章2節 海上地盤改良工 3-2-(4)	2) 代価表 (1) 砂杭打込 1日(本)当り 注) 8. 1日当り扱い砂量は、次式により算出する。 $V : 1日当り扱い砂量 (m^3/日)$ $D : 砂杭径 (m)$ $L : 造成杭長 (m)$	2) 代価表 (1) 砂杭打込 1日(本)当り 注) 8. 1日当り扱い砂量は、次式により算出する。 $V : 1日当り扱い砂量 (m^3/日)$ $\pi : 円周率 (3.14)$ $D : 砂杭径 (m)$ $L : 造成杭長 (m)$	記載内容の追加

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																												
3章3節 基礎工 目次	<p>1-3 基礎工の一般的な形式</p> <p>1-3-1 基礎捨石 ..... 3-3-2</p> <p>1-3-2 基礎盛砂+基礎捨石 ..... 3-3-2</p> <p>1-3-3 水中コンクリート ..... 3-3-2</p> <p>1-3-4 袋詰コンクリート ..... 3-3-2</p> <p>5. 袋詰コンクリート工</p> <p>5-1 適用範囲 ..... 3-3-23</p> <p>5-2 施工フロー ..... 3-3-23</p> <p>5-3 代価表作成手順 ..... 3-3-23</p> <p>5-4 施工方式 ..... 3-3-23</p> <p>5-5 施工歩掛 ..... 3-3-23</p> <p>6. 基礎ブロック工</p> <p>6-1 基礎ブロック製作 ..... 3-3-23</p> <p>6-2 基礎ブロック据付 ..... 3-3-23</p> <p>7. 水中コンクリート工 ..... 3-3-23</p> <p>8. 水中不分離性コンクリート工 ..... 3-3-23</p> <p>参考資料</p> <p>参考資料-1 機械均し ..... 3-3-(1)</p> <p>参考資料-2 バックホウ均し ..... 3-3-(4)</p> <p>補足資料</p> <p>補足資料-1 基礎工(被覆・根固工共通) ..... 3-3-(7)</p>	<p>1-3 基礎工の一般的な形式</p> <p>1-3-1 基礎捨石 ..... 3-3-2</p> <p>1-3-2 基礎盛砂+基礎捨石 ..... 3-3-2</p> <p>1-3-3 水中コンクリート ..... 3-3-2</p> <p><del>削除</del></p> <p><del>削除</del></p> <p>5. 基礎ブロック工</p> <p>5-1 基礎ブロック製作 ..... 3-3-23</p> <p>5-2 基礎ブロック据付 ..... 3-3-23</p> <p>6. 水中コンクリート工 ..... 3-3-23</p> <p>7. 水中不分離性コンクリート工 ..... 3-3-23</p> <p>参考資料</p> <p>参考資料-1 機械均し ..... 3-3-(1)</p> <p>参考資料-2 バックホウ均し ..... 3-3-(4)</p> <p>参考資料-3 袋詰コンクリート工 ..... 3-3-(7)</p> <p>補足資料</p> <p>補足資料-1 基礎工(被覆・根固工共通) ..... 3-3-(8)</p>	<p>改定による削除</p> <p>改定による追加</p>																																												
第3章3節 基礎工 3-3-1	<p>1-1 適用範囲 防波堤、護岸などの外郭施設および岸壁などの係留施設の構造物のうち、本体部分の荷重を基礎地盤に伝達する役割を果たす基礎工事の施工に適用する。なお、基礎工に先立って施工される床掘については、「2節 海上地盤改良工、2. 床掘工」、「同、3. 床掘土工」による。</p> <p>1-2 積算ツリー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工種(レベル2)</th> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">基礎工</td> <td rowspan="2">基礎盛砂工</td> <td>盛砂</td> </tr> <tr> <td>盛砂均し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洗掘防止工</td> <td>洗掘防止</td> </tr> <tr> <td>基礎捨石工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基礎捨石工</td> <td>基礎捨石</td> </tr> <tr> <td>捨石本均し</td> </tr> <tr> <td>捨石荒均し</td> </tr> <tr> <td>捨石本均し(海岸)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">捨石荒均し(海岸)</td> <td>捨石荒均し</td> </tr> <tr> <td>捨石本均し(海岸)</td> </tr> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎ブロック工</td> <td>基礎ブロック製作</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p>注) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 本節で取扱う施工歩掛</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 他節を適用する施工歩掛</p> </div> </div>	工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	基礎工	基礎盛砂工	盛砂	盛砂均し	洗掘防止工	洗掘防止	基礎捨石工	基礎捨石工	基礎捨石	捨石本均し	捨石荒均し	捨石本均し(海岸)	捨石荒均し(海岸)	捨石荒均し	捨石本均し(海岸)	袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	基礎ブロック工	基礎ブロック製作	<p>1-1 適用範囲 防波堤、護岸などの外郭施設および岸壁などの係留施設の構造物のうち、本体部分の荷重を基礎地盤に伝達する役割を果たす基礎工事の施工に適用する。なお、基礎工に先立って施工される床掘については、「2節 海上地盤改良工、2. 床掘工」、「同、3. 排砂管設備工」、「同、4. 土運船運搬工」、「同、5. 揚土工捨工」による。</p> <p>1-2 積算ツリー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>工種(レベル2)</th> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">基礎工</td> <td rowspan="2">基礎盛砂工</td> <td>盛砂</td> </tr> <tr> <td>盛砂均し</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洗掘防止工</td> <td>洗掘防止</td> </tr> <tr> <td>基礎捨石工</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基礎捨石工</td> <td>基礎捨石</td> </tr> <tr> <td>捨石本均し</td> </tr> <tr> <td>捨石荒均し</td> </tr> <tr> <td>捨石本均し(海岸)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">捨石荒均し(海岸)</td> <td>捨石荒均し</td> </tr> <tr> <td>捨石本均し(海岸)</td> </tr> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> </tr> <tr> <td>基礎ブロック工</td> <td>基礎ブロック製作</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-top: 10px;"> <p>注) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 本節で取扱う施工歩掛</p> <p><span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span> : 暫定的に定められた施工歩掛等</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 他節を適用する施工歩掛</p> </div> </div>	工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	基礎工	基礎盛砂工	盛砂	盛砂均し	洗掘防止工	洗掘防止	基礎捨石工	基礎捨石工	基礎捨石	捨石本均し	捨石荒均し	捨石本均し(海岸)	捨石荒均し(海岸)	捨石荒均し	捨石本均し(海岸)	袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	基礎ブロック工	基礎ブロック製作	<p>字句の修正</p> <p>改定による変更</p>
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)																																													
基礎工	基礎盛砂工	盛砂																																													
		盛砂均し																																													
	洗掘防止工	洗掘防止																																													
		基礎捨石工																																													
	基礎捨石工	基礎捨石																																													
		捨石本均し																																													
		捨石荒均し																																													
		捨石本均し(海岸)																																													
	捨石荒均し(海岸)	捨石荒均し																																													
		捨石本均し(海岸)																																													
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート																																														
基礎ブロック工	基礎ブロック製作																																														
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)																																													
基礎工	基礎盛砂工	盛砂																																													
		盛砂均し																																													
	洗掘防止工	洗掘防止																																													
		基礎捨石工																																													
	基礎捨石工	基礎捨石																																													
		捨石本均し																																													
		捨石荒均し																																													
		捨石本均し(海岸)																																													
	捨石荒均し(海岸)	捨石荒均し																																													
		捨石本均し(海岸)																																													
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート																																														
基礎ブロック工	基礎ブロック製作																																														

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
<p>3章3節 基礎工 3-3-2</p>	<p><u>1-3-4 袋詰コンクリート</u> 袋詰コンクリートは捨石の一部、または水中コンクリートの型枠部分に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>基礎捨石</u> + <u>袋詰コンクリート</u></li> <li>・ <u>袋詰コンクリート</u> + <u>水中コンクリート</u></li> </ul> <p>1-4 積算フロー</p>	<p>削除</p> <p>1-4 積算フロー</p> <p>注) 本項の歩掛は [ ] の部分である。</p>	<p>改定による削除</p> <p>表記の修正</p>
<p>3章3節 基礎工 3-3-3</p>	<p>1-5 標準的な積算手順</p> <p>5. <u>袋詰コンクリート工</u> 袋詰コンクリート工の積算 → 袋詰コンクリート代価表</p> <p>水中コンクリート工の積算 「4節 本體工、4.3 場所打式」参照</p>	<p>削除</p> <p>1-5 標準的な積算手順</p>	<p>改定による削除</p>

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																																																															
3章3節 基礎工 3-3-3	<p>1-6-1 集計数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°#3)</th> <th>細別(レハ°#4)</th> <th colspan="2">内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基礎盛砂工</td> <td>盛 砂</td> <td>盛 砂 投 入</td> <td>盛 砂 量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td rowspan="6">1位止を原則とする。</td> <td rowspan="6">四捨五入</td> </tr> <tr> <td>盛 砂 均 し</td> <td>盛 砂 均 し</td> <td>水中均し面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">洗掘防止工</td> <td rowspan="3">洗 掘 防 止</td> <td>アスファルトマット</td> <td>マット敷設枚数</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>帆 布</td> <td>帆布敷設面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>合成樹脂系マット</td> <td>マット敷設面積</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎捨石工</td> <td rowspan="3">基礎 捨 石</td> <td>捨 石 投 入</td> <td>捨 石 量</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>捨石本均し・捨石荒均し</td> <td>均し面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>捨石本均し・捨石荒均し(海岸)</td> <td>均し面積</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>コンクリート量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎ブロック工</td> <td rowspan="2">基礎ブロック製作</td> <td>底 面</td> <td>ルーフィング面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>足 場</td> <td>足場面積</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レハ°#3)	細別(レハ°#4)	内 容		単 位	数 位	摘 要	基礎盛砂工	盛 砂	盛 砂 投 入	盛 砂 量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入	盛 砂 均 し	盛 砂 均 し	水中均し面積	m <sup>2</sup>	洗掘防止工	洗 掘 防 止	アスファルトマット	マット敷設枚数	枚	帆 布	帆布敷設面積	m <sup>2</sup>	合成樹脂系マット	マット敷設面積	〃	基礎捨石工	基礎 捨 石	捨 石 投 入	捨 石 量	m <sup>3</sup>	捨石本均し・捨石荒均し	均し面積	m <sup>2</sup>	捨石本均し・捨石荒均し(海岸)	均し面積	〃	袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>			基礎ブロック工	基礎ブロック製作	底 面	ルーフィング面積	m <sup>2</sup>			足 場	足場面積	〃			<p>1-6-1 集計数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°#3)</th> <th>細別(レハ°#4)</th> <th colspan="2">内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基礎盛砂工</td> <td>盛 砂</td> <td>盛 砂 投 入</td> <td>盛 砂 量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td rowspan="6">1位止を原則とする。</td> <td rowspan="6">四捨五入</td> </tr> <tr> <td>盛 砂 均 し</td> <td>盛 砂 均 し</td> <td>水中均し面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">洗掘防止工</td> <td rowspan="3">洗 掘 防 止</td> <td>アスファルトマット</td> <td>マット敷設枚数</td> <td>枚</td> </tr> <tr> <td>帆 布</td> <td>帆布敷設面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>合成樹脂系マット</td> <td>マット敷設面積</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基礎捨石工</td> <td rowspan="3">基礎 捨 石</td> <td>捨 石 投 入</td> <td>捨 石 量</td> <td>m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>捨石本均し・捨石荒均し</td> <td>均し面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>捨石本均し・捨石荒均し(海岸)</td> <td>均し面積</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎ブロック工</td> <td rowspan="2">基礎ブロック製作</td> <td>底 面</td> <td>ルーフィング面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>足 場</td> <td>足場面積</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レハ°#3)	細別(レハ°#4)	内 容		単 位	数 位	摘 要	基礎盛砂工	盛 砂	盛 砂 投 入	盛 砂 量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入	盛 砂 均 し	盛 砂 均 し	水中均し面積	m <sup>2</sup>	洗掘防止工	洗 掘 防 止	アスファルトマット	マット敷設枚数	枚	帆 布	帆布敷設面積	m <sup>2</sup>	合成樹脂系マット	マット敷設面積	〃	基礎捨石工	基礎 捨 石	捨 石 投 入	捨 石 量	m <sup>3</sup>	捨石本均し・捨石荒均し	均し面積	m <sup>2</sup>	捨石本均し・捨石荒均し(海岸)	均し面積	〃	基礎ブロック工	基礎ブロック製作	底 面	ルーフィング面積	m <sup>2</sup>			足 場	足場面積	〃			改定による削除
種別(レハ°#3)	細別(レハ°#4)	内 容		単 位	数 位	摘 要																																																																																																												
基礎盛砂工	盛 砂	盛 砂 投 入	盛 砂 量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入																																																																																																												
	盛 砂 均 し	盛 砂 均 し	水中均し面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
洗掘防止工	洗 掘 防 止	アスファルトマット	マット敷設枚数	枚																																																																																																														
		帆 布	帆布敷設面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
		合成樹脂系マット	マット敷設面積	〃																																																																																																														
基礎捨石工	基礎 捨 石	捨 石 投 入	捨 石 量	m <sup>3</sup>																																																																																																														
		捨石本均し・捨石荒均し	均し面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
		捨石本均し・捨石荒均し(海岸)	均し面積	〃																																																																																																														
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>																																																																																																														
基礎ブロック工	基礎ブロック製作	底 面	ルーフィング面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
		足 場	足場面積	〃																																																																																																														
種別(レハ°#3)	細別(レハ°#4)	内 容		単 位	数 位	摘 要																																																																																																												
基礎盛砂工	盛 砂	盛 砂 投 入	盛 砂 量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入																																																																																																												
	盛 砂 均 し	盛 砂 均 し	水中均し面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
洗掘防止工	洗 掘 防 止	アスファルトマット	マット敷設枚数	枚																																																																																																														
		帆 布	帆布敷設面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
		合成樹脂系マット	マット敷設面積	〃																																																																																																														
基礎捨石工	基礎 捨 石	捨 石 投 入	捨 石 量	m <sup>3</sup>																																																																																																														
		捨石本均し・捨石荒均し	均し面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
		捨石本均し・捨石荒均し(海岸)	均し面積	〃																																																																																																														
基礎ブロック工	基礎ブロック製作	底 面	ルーフィング面積	m <sup>2</sup>																																																																																																														
		足 場	足場面積	〃																																																																																																														
3章3節 基礎工 3-3-4	<p>1-6-2 材料割増率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°#3)</th> <th>材 料</th> <th>割増率 (%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎盛砂工</td> <td>盛 砂</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">洗掘防止工</td> <td>アスファルトマット</td> <td>5</td> <td rowspan="3">屈曲部分が多いなど複雑な敷設形態の場合は、別途割増しを考慮できる。</td> </tr> <tr> <td>帆 布</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂系マット</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基礎捨石工</td> <td rowspan="2">基 礎 置換地盤、盛砂地盤</td> <td>普通地盤、床掘地盤</td> <td rowspan="4">30</td> </tr> <tr> <td>捨 石</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟弱地盤</td> <td>捨石層厚3m以上</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>捨石層厚3m未満</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>コンクリート</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎ブロック工</td> <td>鉄筋(異形棒鋼)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中コンクリート工</td> <td>漏えい防止シート</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レハ°#3)	材 料	割増率 (%)	摘 要	基礎盛砂工	盛 砂	30		洗掘防止工	アスファルトマット	5	屈曲部分が多いなど複雑な敷設形態の場合は、別途割増しを考慮できる。	帆 布	10	合成樹脂系マット	10	基礎捨石工	基 礎 置換地盤、盛砂地盤	普通地盤、床掘地盤	30	捨 石	軟弱地盤	捨石層厚3m以上	40	捨石層厚3m未満	50	袋詰コンクリート工	コンクリート	2		基礎ブロック工	鉄筋(異形棒鋼)	2		コンクリート	1		水中コンクリート工	漏えい防止シート	30		コンクリート	6		<p>1-6-2 材料割増率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°#3)</th> <th>材 料</th> <th>割増率 (%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎盛砂工</td> <td>盛 砂</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">洗掘防止工</td> <td>アスファルトマット</td> <td>5</td> <td rowspan="3">屈曲部分が多いなど複雑な敷設形態の場合は、別途割増しを考慮できる。</td> </tr> <tr> <td>帆 布</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂系マット</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">基礎捨石工</td> <td rowspan="2">基 礎 置換地盤、盛砂地盤</td> <td>普通地盤、床掘地盤</td> <td rowspan="4">30</td> </tr> <tr> <td>捨 石</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軟弱地盤</td> <td>捨石層厚3m以上</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>捨石層厚3m未満</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基礎ブロック工</td> <td>鉄筋(異形棒鋼)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水中コンクリート工</td> <td>漏えい防止シート</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レハ°#3)	材 料	割増率 (%)	摘 要	基礎盛砂工	盛 砂	30		洗掘防止工	アスファルトマット	5	屈曲部分が多いなど複雑な敷設形態の場合は、別途割増しを考慮できる。	帆 布	10	合成樹脂系マット	10	基礎捨石工	基 礎 置換地盤、盛砂地盤	普通地盤、床掘地盤	30	捨 石	軟弱地盤	捨石層厚3m以上	40	捨石層厚3m未満	50	基礎ブロック工	鉄筋(異形棒鋼)	2		コンクリート	1		水中コンクリート工	漏えい防止シート	30		コンクリート	6		改定による削除																											
種別(レハ°#3)	材 料	割増率 (%)	摘 要																																																																																																															
基礎盛砂工	盛 砂	30																																																																																																																
洗掘防止工	アスファルトマット	5	屈曲部分が多いなど複雑な敷設形態の場合は、別途割増しを考慮できる。																																																																																																															
	帆 布	10																																																																																																																
	合成樹脂系マット	10																																																																																																																
基礎捨石工	基 礎 置換地盤、盛砂地盤	普通地盤、床掘地盤	30																																																																																																															
		捨 石																																																																																																																
	軟弱地盤	捨石層厚3m以上		40																																																																																																														
		捨石層厚3m未満		50																																																																																																														
袋詰コンクリート工	コンクリート	2																																																																																																																
基礎ブロック工	鉄筋(異形棒鋼)	2																																																																																																																
	コンクリート	1																																																																																																																
水中コンクリート工	漏えい防止シート	30																																																																																																																
	コンクリート	6																																																																																																																
種別(レハ°#3)	材 料	割増率 (%)	摘 要																																																																																																															
基礎盛砂工	盛 砂	30																																																																																																																
洗掘防止工	アスファルトマット	5	屈曲部分が多いなど複雑な敷設形態の場合は、別途割増しを考慮できる。																																																																																																															
	帆 布	10																																																																																																																
	合成樹脂系マット	10																																																																																																																
基礎捨石工	基 礎 置換地盤、盛砂地盤	普通地盤、床掘地盤	30																																																																																																															
		捨 石																																																																																																																
	軟弱地盤	捨石層厚3m以上		40																																																																																																														
		捨石層厚3m未満		50																																																																																																														
基礎ブロック工	鉄筋(異形棒鋼)	2																																																																																																																
	コンクリート	1																																																																																																																
水中コンクリート工	漏えい防止シート	30																																																																																																																
	コンクリート	6																																																																																																																
第3章3節 基礎工 3-3-14	<p>4-3-3 施工歩掛 1) 作業能力</p> <p>なお、搬入経路や施工現場の水深が浅かったり、平面形状により瀬取り投入が必要な場合で、上式によることが不適当と認められる場合は、施工条件を勘案し潜水士船1日当たり投入指示量を補正しなければならない。「9節 裏込・裏埋工、瀬取り 2-7-3 施工歩掛1) 作業能力」を準用。</p>	<p>4-3-3 施工歩掛 1) 作業能力</p> <p>なお、搬入経路や施工現場の水深が浅かったり、平面形状により瀬取り投入が必要な場合で、<u>施工実態と上式の能力に乖離がある場合など</u>上式によることが不適当と認められる場合は、<u>施工条件を勘案し潜水士船1日当たり投入指示量を補正しなければならない</u>。「9節 裏込・裏埋工、瀬取り 2-7-3 施工歩掛1) 作業能力」を準用。</p>	記載内容の追加																																																																																																															

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																
3章3節 基礎工 3-3-23	<p><b>5. 袋詰コンクリート工</b> 袋詰コンクリート工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="409 331 1299 409"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>袋詰コンクリート設置</td> <td>袋詰コンクリート 10m<sup>3</sup>当り</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>5-1 適用範囲</b> 本項は、港湾構造物の基礎工のうち、基礎捨石、水中コンクリートと併用されることの多い袋詰コンクリート工の施工に適用する。</p> <p><b>5-2 施工フロー</b></p> <pre>     graph TD       A[袋詰コンクリート設置 (コンクリート運搬)] --&gt; B[袋詰コンクリート設置 (袋詰め)]       B --&gt; C[袋詰コンクリート設置 (設置)]     </pre> <p>注) 本項の歩掛は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">        </span>の部分である。</p> <p><b>5-3 代価表作成手順</b></p> <p>・現場条件 → <b>5-4 施工方式の決定</b> → ・原則としてレディーミクストコンクリートを使用 ・その他の場合は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・供用係数 → <b>5-5 代価表の作成</b> → ・袋詰コンクリート 10m<sup>3</sup>当り代価表</p> <p><b>5-4 施工方式</b> 袋詰コンクリートに用いるコンクリートは、原則としてレディーミクストコンクリートを使用する。袋詰コンクリートの施工は、クレーン付台船による。</p> <p><b>5-5 施工歩掛</b> 1) 代価表 (1) 袋詰コンクリート 10m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1312 1261 1585"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>10.2</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>麻袋</td> <td></td> <td>枚</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 運転</td> <td>35~40 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D300PS型</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td>4</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) レディーミクストコンクリートは、雑材料の対象としない。</p> <p><b>6. 基礎ブロック工</b> <b>6-1 基礎ブロック製作</b> 「5節 被覆・根固工、6. 根固ブロック工 6-1 根固ブロック製作」を適用する。</p> <p><b>6-2 基礎ブロック据付</b> 「5節 被覆・根固工、6. 根固ブロック工 6-2 根固ブロック据付」を適用する。</p> <p><b>7. 水中コンクリート工</b> 「4節 本体工、4. 3 場所打式、3. 水中コンクリート工」を適用する。</p> <p><b>8. 水中不分離性コンクリート工</b> 「4節 本体工、4. 3 場所打式、4. 水中不分離性コンクリート工」を適用する。</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート設置	袋詰コンクリート 10m <sup>3</sup> 当り	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディーミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	10.2	割増しを含む	麻袋		枚	300		クレーン付台船 運転	35~40 t 吊	日	1.5	運6H/就8H	引船	鋼D300PS型	日	1.5	運2H/就8H	潜水士船	D180PS型 3~5t吊	日	4	就業8H	普通作業員		人	6		雑材料					<p>削除</p> <p>5. 基礎ブロック工 5-1 基礎ブロック製作 「5節 被覆・根固工、5. 根固ブロック工 5-1 根固ブロック製作(施工パッケージ)」、「同 5-2 根固ブロック製作」を適用する。</p> <p>5-2 基礎ブロック据付 「5節 被覆・根固工、5. 根固ブロック工 5-3 根固ブロック据付」を適用する。</p> <p>6. 水中コンクリート工 「4節 本体工、4. 3 場所打式、3. 水中コンクリート工」を適用する。</p> <p>7. 水中不分離性コンクリート工 「4節 本体工、4. 3 場所打式、4. 水中不分離性コンクリート工」を適用する。</p>	<p>改定による削除</p> <p>字句の修正</p>
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																																																	
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート設置	袋詰コンクリート 10m <sup>3</sup> 当り																																																
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																															
レディーミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	10.2	割増しを含む																																															
麻袋		枚	300																																																
クレーン付台船 運転	35~40 t 吊	日	1.5	運6H/就8H																																															
引船	鋼D300PS型	日	1.5	運2H/就8H																																															
潜水士船	D180PS型 3~5t吊	日	4	就業8H																																															
普通作業員		人	6																																																
雑材料																																																			



掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
3章3節 基礎工 3-3-(7)		<p><u>参考資料-3 袋詰コンクリート工</u></p> <p><u>1. 総則</u></p> <p><u>1-1 適用範囲</u> 本項は、港湾構造物の基礎工のうち、基礎捨石、水中コンクリートと併用されることの多い袋詰コンクリート工の施工に適用する。</p> <p><u>1-2 袋詰コンクリートの一般的な形式</u> 袋詰コンクリートは捨石の一部、または水中コンクリートの型枠部分に使用する。</p> <p>： <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">基礎捨石</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">袋詰コンクリート</span></p> <p>： <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">袋詰コンクリート</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水中コンクリート</span></p> <p><u>1-3 積算フロー</u></p> <p><u>1-4 標準的な積算手順</u></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">袋詰コンクリート工の積算</span> → 袋詰コンクリート代価表</p> <p>水中コンクリート工の積算 「4節 本土工、4.3 場所打式」参照</p>	改定による追加

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																						
3章3節 基礎工 3-3-(8)		<p>1-5 数量計算等 1-5-1 集計数値</p> <table border="1" data-bbox="1567 331 2576 445"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>コンクリート量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1位止を原則とする</td> <td>四捨五入</td> </tr> </tbody> </table> <p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1" data-bbox="1596 508 2463 609"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>材 料</th> <th>割増率 (%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>コンクリート</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 袋詰コンクリート工 袋詰コンクリート工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1596 682 2487 760"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>袋詰コンクリート設置</td> <td>袋詰コンクリート 10m<sup>3</sup>当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-1 施工フロー</p> <pre>                     graph TD                     A[袋詰コンクリート設置 (コンクリート運搬)] --&gt; B[袋詰コンクリート設置 (袋詰め)]                     B --&gt; C[袋詰コンクリート設置 (設置)]                     </pre> <p>注) 本項の歩掛は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">        </span>の部分である。</p> <p>2-2 代価表作成手順</p> <p>・現場条件 → 1-4 施工方式の決定 → ・原則としてレディーミクストコンクリートを使用 ・その他の場合は別途積算</p> <p>↓</p> <p>・供用係数 → 1-5 代価表の作成 → ・袋詰コンクリート 10m<sup>3</sup>当り代価表</p> <p>2-3 施工方式 袋詰コンクリートに用いるコンクリートは、原則としてレディーミクストコンクリートを使用する。袋詰コンクリートの施工は、クレーン付台船による。</p> <p>2-4 施工歩掛 1) 代価表 (1) 袋詰コンクリート 10m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 1591 2445 1869"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>10.2</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>麻 袋</td> <td></td> <td>枚</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 運転</td> <td>35~40 t 吊</td> <td>日</td> <td>1.5</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 //</td> <td>鋼D300PS型</td> <td>//</td> <td>1.5</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士 船 //</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>//</td> <td>4</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) レディーミクストコンクリートは、雑材料の対象としない。</p>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容		単 位	数 位	摘 要	袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする	四捨五入	種別(レベル3)	材 料	割増率 (%)	摘 要	袋詰コンクリート工	コンクリート	2		種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート設置	袋詰コンクリート 10m <sup>3</sup> 当り	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	レディーミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	10.2	割増しを含む	麻 袋		枚	300		クレーン付台船 運転	35~40 t 吊	日	1.5	運6H/就8H	引 船 //	鋼D300PS型	//	1.5	運2H/就8H	潜水士 船 //	D180PS型 3~5t吊	//	4	就業8H	普通作業員		人	6		雑 材 料					改定による追加
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容		単 位	数 位	摘 要																																																																			
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする	四捨五入																																																																			
種別(レベル3)	材 料	割増率 (%)	摘 要																																																																						
袋詰コンクリート工	コンクリート	2																																																																							
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																																																																							
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	袋詰コンクリート設置	袋詰コンクリート 10m <sup>3</sup> 当り																																																																						
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																					
レディーミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	10.2	割増しを含む																																																																					
麻 袋		枚	300																																																																						
クレーン付台船 運転	35~40 t 吊	日	1.5	運6H/就8H																																																																					
引 船 //	鋼D300PS型	//	1.5	運2H/就8H																																																																					
潜水士 船 //	D180PS型 3~5t吊	//	4	就業8H																																																																					
普通作業員		人	6																																																																						
雑 材 料																																																																									

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																									
第3章4.1節 ケーソン式 目次	<p>4-1-4 中詰均し ----- 3-4.1-61                      4-1-4-1 代価表作成手順 ----- 3-4.1-61                      4-1-4-2 施工歩掛 ----- 3-4.1-61                      4-2 コンクリート中詰 ----- 3-4.1-61                      4-3 プレパックドコンクリート中詰 ----- 3-4.1-61</p>	<p>4-1-4 中詰均し ----- 3-4.1-61                      4-1-4-1 代価表作成手順 ----- 3-4.1-61                      4-1-4-2 施工歩掛 ----- 3-4.1-61                      4-2 コンクリート中詰 ----- 3-4.1-61</p>	改定による削除																																																									
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-1	<p>1-2 積算ツリー</p>	<p>1-2 積算ツリー</p>	改定による削除																																																									
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-3	<p>1-3-2 積算フロー</p>	<p>1-3-2 積算フロー</p>	改定による削除																																																									
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-5	<p>1-4 標準的な積算手順 [ケーソン進水据付工]</p> <p>[中詰工] ・中詰材料の種類</p> <p>4. 中詰工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 砂・石材中詰の積算 → 中詰材投入代価表</li> <li>→ コンクリート中詰の積算 → 中詰均し代価表</li> <li>→ プレパックドコンクリート中詰の積算 → 中詰均し代価表</li> </ul> <p>「4節 本体内、4.3 場所打式」または「6節 上部工」を参照</p>	<p>1-4 標準的な積算手順 [ケーソン進水据付工]</p> <p>[中詰工] ・中詰材料の種類</p> <p>4. 中詰工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 砂・石材中詰の積算 → 中詰材投入代価表</li> <li>→ コンクリート中詰の積算 → 中詰均し代価表</li> </ul> <p>「4節 本体内、4.3 場所打式」または「6節 上部工」を参照</p>	改定による削除																																																									
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-6	<p>1-5-1 集計数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">中 詰 工</td> <td rowspan="2">砂・石材中詰</td> <td>中 詰 材 量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>均 し 面 積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>コンクリート量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレパックド コンクリート中詰</td> <td>骨 材 量</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モ ル タ ル 量</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>天端処理面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要	中 詰 工	砂・石材中詰	中 詰 材 量	m <sup>3</sup>			均 し 面 積	m <sup>2</sup>			コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>			プレパックド コンクリート中詰	骨 材 量	〃			モ ル タ ル 量	〃					天端処理面積	m <sup>2</sup>			<p>1-5-1 集計数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内 容</th> <th>単 位</th> <th>数 位</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">中 詰 工</td> <td rowspan="2">砂・石材中詰</td> <td>中 詰 材 量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>均 し 面 積</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>コンクリート量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要	中 詰 工	砂・石材中詰	中 詰 材 量	m <sup>3</sup>			均 し 面 積	m <sup>2</sup>			コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>			改定による削除
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要																																																							
中 詰 工	砂・石材中詰	中 詰 材 量	m <sup>3</sup>																																																									
		均 し 面 積	m <sup>2</sup>																																																									
	コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>																																																									
	プレパックド コンクリート中詰	骨 材 量	〃																																																									
		モ ル タ ル 量	〃																																																									
		天端処理面積	m <sup>2</sup>																																																									
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	単 位	数 位	摘 要																																																							
中 詰 工	砂・石材中詰	中 詰 材 量	m <sup>3</sup>																																																									
		均 し 面 積	m <sup>2</sup>																																																									
	コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>																																																									

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																										
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-7	<p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内 容</th> <th>割増率(%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">中 詰 工</td> <td rowspan="3">砂・石材中詰</td> <td>砂</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂利・碎石・鉱さい</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>割 石</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート中詰</td> <td>陸上コンクリート</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレキャストコンクリート中詰</td> <td>砂 利、碎 石</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モ ル タ ル</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	割増率(%)	摘 要	中 詰 工	砂・石材中詰	砂	20		砂利・碎石・鉱さい	10		割 石	10		コンクリート中詰	陸上コンクリート	3		水中コンクリート	6		プレキャストコンクリート中詰	砂 利、碎 石	6		モ ル タ ル	9		<p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内 容</th> <th>割増率(%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">中 詰 工</td> <td rowspan="3">砂・石材中詰</td> <td>砂</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>砂利・碎石・鉱さい</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>割 石</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート中詰</td> <td>陸上コンクリート</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水中コンクリート</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	割増率(%)	摘 要	中 詰 工	砂・石材中詰	砂	20		砂利・碎石・鉱さい	10		割 石	10		コンクリート中詰	陸上コンクリート	3		水中コンクリート	6		水中コンクリート	6		改定による削除																		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	割増率(%)	摘 要																																																																									
中 詰 工	砂・石材中詰	砂	20																																																																										
		砂利・碎石・鉱さい	10																																																																										
		割 石	10																																																																										
	コンクリート中詰	陸上コンクリート	3																																																																										
		水中コンクリート	6																																																																										
	プレキャストコンクリート中詰	砂 利、碎 石	6																																																																										
		モ ル タ ル	9																																																																										
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	割増率(%)	摘 要																																																																									
中 詰 工	砂・石材中詰	砂	20																																																																										
		砂利・碎石・鉱さい	10																																																																										
		割 石	10																																																																										
	コンクリート中詰	陸上コンクリート	3																																																																										
		水中コンクリート	6																																																																										
		水中コンクリート	6																																																																										
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-8	<p>1-5-4 数量計算の非控除</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内 容</th> <th>控除しないもの</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 詰 工</td> <td>コンクリート中詰</td> <td>中 詰 材 コンクリート</td> <td>外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。 鋼材(形鋼、ボルト、プレキャスト・鉄筋・鉄線等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャストコンクリート中詰</td> <td>砂 利 碎 石 モ ル タ ル</td> <td>外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	控除しないもの	摘 要	中 詰 工	コンクリート中詰	中 詰 材 コンクリート	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。 鋼材(形鋼、ボルト、プレキャスト・鉄筋・鉄線等)		プレキャストコンクリート中詰	砂 利 碎 石 モ ル タ ル	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。		<p>1-5-4 数量計算の非控除</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内 容</th> <th>控除しないもの</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中 詰 工</td> <td>コンクリート中詰</td> <td>中 詰 材 コンクリート</td> <td>外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。 鋼材(形鋼、ボルト、プレキャスト・鉄筋・鉄線等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャストコンクリート中詰</td> <td>砂 利 碎 石 モ ル タ ル</td> <td>外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	控除しないもの	摘 要	中 詰 工	コンクリート中詰	中 詰 材 コンクリート	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。 鋼材(形鋼、ボルト、プレキャスト・鉄筋・鉄線等)		プレキャストコンクリート中詰	砂 利 碎 石 モ ル タ ル	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。		改定による削除																																														
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	控除しないもの	摘 要																																																																									
中 詰 工	コンクリート中詰	中 詰 材 コンクリート	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。 鋼材(形鋼、ボルト、プレキャスト・鉄筋・鉄線等)																																																																										
	プレキャストコンクリート中詰	砂 利 碎 石 モ ル タ ル	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。																																																																										
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内 容	控除しないもの	摘 要																																																																									
中 詰 工	コンクリート中詰	中 詰 材 コンクリート	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。 鋼材(形鋼、ボルト、プレキャスト・鉄筋・鉄線等)																																																																										
	プレキャストコンクリート中詰	砂 利 碎 石 モ ル タ ル	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの。																																																																										
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-18	<p>2-4-2-2 代価表作成手順 (海上打継方式(陸上クレーン)の場合)</p> <p style="text-align: center;"><u>2-4-2-3</u></p> <p>・製作日数「2-3-1」 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">台船の運転日数の算</span> → ①台船の運転日数</p> <p>・サイクル数</p> <p>・供用係数</p>	<p>2-4-2-2 代価表作成手順 (海上打継方式(陸上クレーン)の場合)</p> <p style="text-align: center;"><u>2-4-2-4</u></p> <p>・製作日数「2-3-1」 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">台船の運転日数の算</span> → ①台船の運転日数</p> <p>・サイクル数</p> <p>・供用係数</p>	字句の修正																																																																										
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-46	<p>4) えい航用引船の選定 (1) えい航用引船とケーソンの組合せ えい航用引船とケーソンの組合せは、「えい航用引船とケーソンの組合せ表」を標準とする。 ただし、気象、海象等現場条件により、標準組合せが不適当な場合は、引船の規格、隻数を別途考慮することができる。</p> <p style="text-align: center;">えい航用引船とケーソンの組合せ表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン質量</th> <th>400t 未 満</th> <th>400t ~ 1,000t 未 満</th> <th>1,000t ~ 1,600t 未 満</th> <th>1,600t ~ 2,500t 未 満</th> <th>2,500t ~ 4,500t 未 満</th> <th>4,500t ~ 5,500t 未 満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>えい航用引船</td> <td>鋼D 500PS型</td> <td>鋼D 800PS型</td> <td>鋼D 1,200PS型</td> <td>鋼D 1,500PS型</td> <td>鋼D 2,000PS型</td> <td>鋼D 3,000PS型</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ケーソン質量5,500t以上の場合、別途考慮する。</p>	ケーソン質量	400t 未 満	400t ~ 1,000t 未 満	1,000t ~ 1,600t 未 満	1,600t ~ 2,500t 未 満	2,500t ~ 4,500t 未 満	4,500t ~ 5,500t 未 満	えい航用引船	鋼D 500PS型	鋼D 800PS型	鋼D 1,200PS型	鋼D 1,500PS型	鋼D 2,000PS型	鋼D 3,000PS型	<p>4) えい航用引船の選定 (1) えい航用引船とケーソンの組合せ えい航用引船とケーソンの組合せは、「えい航用引船とケーソンの組合せ表」を標準とする。 ただし、気象、海象等現場条件および施工条件等により、標準組合せが不適当な場合は、引船の規格、隻数を別途考慮することができる。</p> <p style="text-align: center;">えい航用引船とケーソンの組合せ表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ケーソン質量</th> <th>400t 未 満</th> <th>400t ~ 1,000t 未 満</th> <th>1,000t ~ 1,600t 未 満</th> <th>1,600t ~ 2,500t 未 満</th> <th>2,500t ~ 4,500t 未 満</th> <th>4,500t ~ 5,500t 未 満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>えい航用引船</td> <td>鋼D 1,000PS型</td> <td>鋼D 1,200PS型</td> <td>鋼D 1,500PS型</td> <td>鋼D 2,000PS型</td> <td>鋼D 2,500PS型</td> <td>鋼D 3,000PS型</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ケーソン質量5,500t以上の場合、別途考慮する。</p>	ケーソン質量	400t 未 満	400t ~ 1,000t 未 満	1,000t ~ 1,600t 未 満	1,600t ~ 2,500t 未 満	2,500t ~ 4,500t 未 満	4,500t ~ 5,500t 未 満	えい航用引船	鋼D 1,000PS型	鋼D 1,200PS型	鋼D 1,500PS型	鋼D 2,000PS型	鋼D 2,500PS型	鋼D 3,000PS型	記載内容の追加  規格の改定																																														
ケーソン質量	400t 未 満	400t ~ 1,000t 未 満	1,000t ~ 1,600t 未 満	1,600t ~ 2,500t 未 満	2,500t ~ 4,500t 未 満	4,500t ~ 5,500t 未 満																																																																							
えい航用引船	鋼D 500PS型	鋼D 800PS型	鋼D 1,200PS型	鋼D 1,500PS型	鋼D 2,000PS型	鋼D 3,000PS型																																																																							
ケーソン質量	400t 未 満	400t ~ 1,000t 未 満	1,000t ~ 1,600t 未 満	1,600t ~ 2,500t 未 満	2,500t ~ 4,500t 未 満	4,500t ~ 5,500t 未 満																																																																							
えい航用引船	鋼D 1,000PS型	鋼D 1,200PS型	鋼D 1,500PS型	鋼D 2,000PS型	鋼D 2,500PS型	鋼D 3,000PS型																																																																							
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-47	<p>3-8-4-2 えい航費の積算 2) 運転費の算出 (3) えい航用引船の歩掛</p> <p style="text-align: center;">えい航用引船歩掛表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">燃料消費量 (雑品含む) L/h</th> <th colspan="2">乗 組 員 (人)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>高級船員</th> <th>普通船員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼D 500PS型</td> <td>57.0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 800 "</td> <td>91.1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 1,200 "</td> <td>136.9</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 1,500 "</td> <td>171.0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 2,000 "</td> <td>228.0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 3,000 "</td> <td>342.1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規 格	燃料消費量 (雑品含む) L/h	乗 組 員 (人)		摘 要	高級船員	普通船員	鋼D 500PS型	57.0	2	1		" 800 "	91.1	2	1		" 1,200 "	136.9	3	1		" 1,500 "	171.0	3	1		" 2,000 "	228.0	3	1		" 3,000 "	342.1	4	2		<p>3-8-4-2 えい航費の積算 2) 運転費の算出 (3) えい航用引船の歩掛</p> <p style="text-align: center;">えい航用引船歩掛表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規 格</th> <th rowspan="2">燃料消費量 (雑品含む) L/h</th> <th colspan="2">乗 組 員 (人)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>高級船員</th> <th>普通船員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼D 1,000PS型</td> <td>114.1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 1,200 "</td> <td>136.9</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 1,500 "</td> <td>171.0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 2,000 "</td> <td>228.0</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 2,500 "</td> <td>285.0</td> <td>3</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>" 3,000 "</td> <td>342.1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	規 格	燃料消費量 (雑品含む) L/h	乗 組 員 (人)		摘 要	高級船員	普通船員	鋼D 1,000PS型	114.1	2	1		" 1,200 "	136.9	3	1		" 1,500 "	171.0	3	1		" 2,000 "	228.0	3	1		" 2,500 "	285.0	3	2		" 3,000 "	342.1	4	2		字句の修正
規 格	燃料消費量 (雑品含む) L/h			乗 組 員 (人)			摘 要																																																																						
		高級船員	普通船員																																																																										
鋼D 500PS型	57.0	2	1																																																																										
" 800 "	91.1	2	1																																																																										
" 1,200 "	136.9	3	1																																																																										
" 1,500 "	171.0	3	1																																																																										
" 2,000 "	228.0	3	1																																																																										
" 3,000 "	342.1	4	2																																																																										
規 格	燃料消費量 (雑品含む) L/h	乗 組 員 (人)		摘 要																																																																									
		高級船員	普通船員																																																																										
鋼D 1,000PS型	114.1	2	1																																																																										
" 1,200 "	136.9	3	1																																																																										
" 1,500 "	171.0	3	1																																																																										
" 2,000 "	228.0	3	1																																																																										
" 2,500 "	285.0	3	2																																																																										
" 3,000 "	342.1	4	2																																																																										

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント														
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-61	4-3 プレバッドコンクリート中詰 「4節 本土工、4.3 場所打式、4. プレバッドコンクリート工」を適用する。	削除	改定による削除														
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-(10)	3. 作業船の組合せ 1) ケーソンえい航, 回航上蓋取付取外  注) 回航仮置の場合、取外のクレーン規格は、 <u>仮置き</u> に使用する <u>クレーン付台船</u> および引船を計上する。	3. 作業船の組合せ 1) ケーソンえい航, 回航上蓋取付取外  注) 回航仮置の場合、取外のクレーン規格は、 <u>仮置</u> に使用する <u>起重機船</u> および引船を計上する。	字句の修正														
第3章4.1節 ケーソン式 3-4.1-(11)	(3) ケーソンえい航, 回航用上蓋取外 1 函当り <table border="1" data-bbox="409 520 1389 562"> <tr> <td>雑</td> <td>材</td> <td>料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 注) 1. 回航仮置の場合、クレーン規格は、 <u>仮置き</u> に使用する <u>クレーン付台船</u> および引船を計上する。	雑	材	料					(3) ケーソンえい航, 回航用上蓋取外 1 函当り <table border="1" data-bbox="1596 520 2576 562"> <tr> <td>雑</td> <td>材</td> <td>料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 注) 1. 回航仮置の場合、クレーン規格は、 <u>仮置</u> に使用する <u>起重機船</u> および引船を計上する。	雑	材	料					字句の修正
雑	材	料															
雑	材	料															
第3章4.2節 ブロック式 3-4.2-25	<p>3-1-7-5-1 代価表作成手順 (陸上作業)</p> <p>・ブロック質量 ・現場条件 → <b>3-1-4-1 クレーンの決定</b> → ①' クレーンの機種・規格 ②' クレーン標準運転時間</p> <p>↓</p> <p>・作業種類 ・ブロック種類 ・ブロック質量 → <b>3-1-7-5-2 能力係数の選定</b> → ⑧' 能力係数(積込、陸上) 作業種類能力係数(E<sub>1</sub>) ブロック種類能力係数(E<sub>2</sub>) 施工区分能力係数(E<sub>3</sub>) ブロック質量能力係数(E<sub>4</sub>)</p> <p>↓</p> <p>⑧' 能力係数(積込、陸上) → <b>1 個当り積込時間(陸上)の算定</b> → ⑨' 1 個当り積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>)</p> <p>↓</p> <p>⑨ 1 日当り施工量(N<sub>s</sub>) ⑨' 積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>) → <b>1 日当り積込時間の算定</b> → ③' 積込時間(T<sub>1</sub>)</p> <p>↓</p> <p>③' 積込時間(T<sub>1</sub>) ②' クレーン標準運転時間 → <b>クレーン運転日数の算定</b> → ④' クレーン運転日数(D<sub>1</sub>)</p> <p>↓</p> <p>・ブロック質量 → <b>運搬車両の選定</b> → ⑤' 運搬車両の機種・規格 ⑥' 運搬車両標準運転時間</p> <p>↓</p> <p>・ブロック質量・形状 ⑤' 運搬車両の機種・規格 → <b>積載個数の算定</b> → ⑦' 積載個数(n<sub>0</sub>)</p> <p>↓</p> <p>⑨ 1 日当り施工量(N<sub>s</sub>) ⑦' 積載個数(n<sub>0</sub>) ・往復平均運搬距離(d<sub>2</sub>) → <b>運搬車両所要台数の算定</b> → ⑩' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>) ⑥ 積込時間(海上)(C<sub>m1</sub>) ⑨' 積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>) ⑥' 運搬車両標準運転時間</p> <p>↓</p> <p>・水中、陸上工事区分 ・ブロック種類、質量 → <b>労務編成の選択</b> → ⑪' 労務編成</p> <p>↓</p> <p>⑨ 1 日当り施工量(N<sub>s</sub>) ①' クレーンの機種・規格 ④' クレーン運転日数(D<sub>1</sub>) ⑤' 運搬車両の機種・規格 ⑩' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>) ① 起重機船等船種・規格 ⑩ 起重機船等運転時間 ② 引船の規格 ⑪ 引船運転時間 ⑪' 労務編成 ・供用係数 → <b>代価表の作成</b> → ・ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1 日(個)当り代価表</p>	<p>3-1-7-5-1 代価表作成手順 (陸上作業)</p> <p>・ブロック質量 ・現場条件 → <b>3-1-4-1 クレーンの決定</b> → ①' クレーンの機種・規格</p> <p>↓</p> <p>・作業種類 ・ブロック種類 ・ブロック質量 → <b>3-1-7-5-2 能力係数の選定</b> → ⑤' 能力係数(積込、陸上) 作業種類能力係数(E<sub>1</sub>) ブロック種類能力係数(E<sub>2</sub>) 施工区分能力係数(E<sub>3</sub>) ブロック質量能力係数(E<sub>4</sub>)</p> <p>↓</p> <p>⑤' 能力係数(積込、陸上) → <b>1 個当り積込時間(陸上)の算定</b> → ⑥' 1 個当り積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>)</p> <p>↓</p> <p>・ブロック質量 → <b>運搬車両の選定</b> → ②' 運搬車両の機種・規格 ③' 運搬車両標準運転時間</p> <p>↓</p> <p>・ブロック質量・形状 ③' 運搬車両の機種・規格 → <b>積載個数の算定</b> → ④' 積載個数(n<sub>0</sub>)</p> <p>↓</p> <p>⑨ 1 日当り施工量(N<sub>s</sub>) ④' 積載個数(n<sub>0</sub>) ・往復平均運搬距離(d<sub>2</sub>) → <b>運搬車両所要台数の算定</b> → ⑦' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>) ⑥ 積込時間(海上)(C<sub>m1</sub>) ⑥' 積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>) ③' 運搬車両標準運転時間</p> <p>↓</p> <p>・水中、陸上工事区分 ・ブロック種類、質量 → <b>労務編成の選択</b> → ⑧' 労務編成</p> <p>↓</p> <p>⑨ 1 日当り施工量(N<sub>s</sub>) ①' クレーンの機種・規格 ②' 運搬車両の機種・規格 ⑦' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>) ① 起重機船等船種・規格 ⑩ 起重機船等運転時間 ② 引船の規格 ⑪ 引船運転時間 ⑧' 労務編成 ・供用係数 → <b>代価表の作成</b> → ・ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1 日(個)当り代価表</p>	<p>改定による修正</p> <p>改定による削除</p> <p>改定による修正</p>														



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

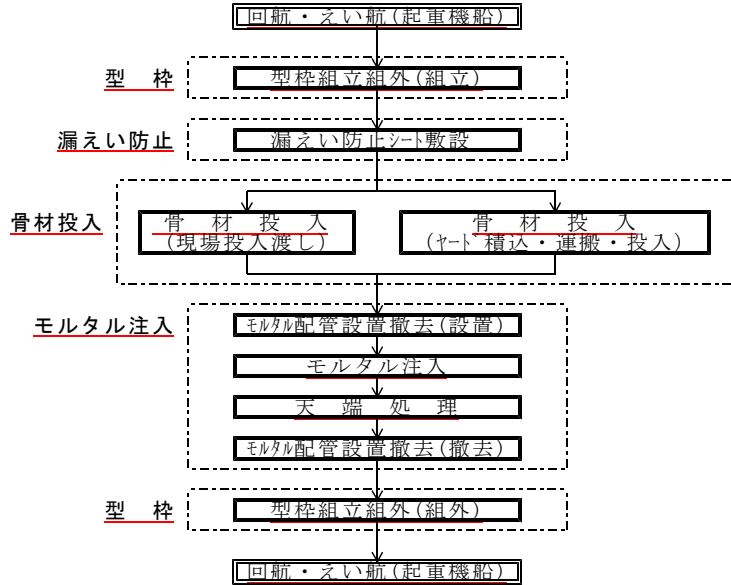
掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																														
第3章4.2節 ブロック式 3-4.2-26	3-1-7-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 (5) 積込クレーン運転時間の算定 $T_L = N_s \times \frac{C_{m3}}{60}$ (小数2位四捨五入) $T_L$ : 1日当り積込時間(h/日) $C_{m3}$ : 1個当り積込時間(陸上)(分) (6) 積込クレーン運転日数の算定 $D_i = \frac{T_L}{(\text{クレーン標準運転時間})}$ (小数2位切上げ) $D_i$ : 積込クレーン運転日数(日) $T_L$ : 1日当り積込時間(h/日) (7) 運搬車両のブロック積載個数(n <sub>o</sub> )	3-1-7-5-2 施工歩掛 1) 作業能力 削除 (5) 運搬車両のブロック積載個数(n <sub>o</sub> )	改定による削除																														
第3章4.2節 ブロック式 3-4.2-27	(8) 運搬車両台数の算定 3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="409 720 1320 919"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トラクタ</td> <td>t積</td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		標準運転時間	トラック または トラクタ	t積	"		"	(6) 運搬車両台数の算定 3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り <table border="1" data-bbox="1596 720 2507 919"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>↓</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>トラック または トラクタ</td> <td>t積</td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	↓	標準運転時間	トラック または トラクタ	t積	"		"	改定による修正 改定による修正 改定による追加
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																													
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		標準運転時間																													
トラック または トラクタ	t積	"		"																													
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																													
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	↓	標準運転時間																													
トラック または トラクタ	t積	"		"																													
第3章4.2節 ブロック式 3-4.2-28	6. 蓋ブロック工 6-1 蓋ブロック製作 「5節 被覆・根固工、6. 根固ブロック工 6-1 根固ブロック製作」を適用する。	6. 蓋ブロック工 6-1 蓋ブロック製作 「5節 被覆・根固工、5. 根固ブロック工 5-1 根固ブロック製作(施工パッケージ)」「同 5-2 根固ブロック製作」を適用する。	字句の修正																														
第3章4.2節 ブロック式 3-4.2-(4)	4. ブロック陸上運搬方法 【平面モデル】(クレーンのみによる陸上運搬) <table border="1" data-bbox="587 1087 1380 1276"> <tr> <td>1スイング内</td> <td>横持歩掛(E5=4)</td> <td rowspan="2">50m</td> <td rowspan="4">現場条件による (横持不可の場合は別途考慮する)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横持歩掛(E5=3)</td> </tr> <tr> <td>1スイング内</td> <td>横持歩掛(E5=2)</td> <td rowspan="2">50m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横持歩掛(E5=1)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">起重機船等直取範囲</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1スイング内	横持歩掛(E5=4)	50m	現場条件による (横持不可の場合は別途考慮する)		横持歩掛(E5=3)	1スイング内	横持歩掛(E5=2)	50m		横持歩掛(E5=1)	起重機船等直取範囲				4. ブロック陸上運搬方法 【平面モデル】(クレーンのみによる陸上運搬) <table border="1" data-bbox="1774 1087 2567 1276"> <tr> <td>1スイング内</td> <td>横持歩掛(E5=3.2)</td> <td rowspan="2">50m</td> <td rowspan="4">現場条件による (横持不可の場合は別途考慮する)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横持歩掛(E5=2.6)</td> </tr> <tr> <td>1スイング内</td> <td>横持歩掛(E5=1.6)</td> <td rowspan="2">50m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横持歩掛(E5=1.0)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">起重機船等直取範囲</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1スイング内	横持歩掛(E5=3.2)	50m	現場条件による (横持不可の場合は別途考慮する)		横持歩掛(E5=2.6)	1スイング内	横持歩掛(E5=1.6)	50m		横持歩掛(E5=1.0)	起重機船等直取範囲				係数の改訂
1スイング内	横持歩掛(E5=4)	50m	現場条件による (横持不可の場合は別途考慮する)																														
	横持歩掛(E5=3)																																
1スイング内	横持歩掛(E5=2)	50m																															
	横持歩掛(E5=1)																																
起重機船等直取範囲																																	
1スイング内	横持歩掛(E5=3.2)	50m	現場条件による (横持不可の場合は別途考慮する)																														
	横持歩掛(E5=2.6)																																
1スイング内	横持歩掛(E5=1.6)	50m																															
	横持歩掛(E5=1.0)																																
起重機船等直取範囲																																	
3章4.3節 場所打式 目次	参考資料 参考資料-1 プレパックドコンクリート工 ..... 3-4.3-(1)	削除	改定による削除																														
3章4.3節 場所打式 3-4.3-1	1-2 積算ツリー <table border="1" data-bbox="557 1423 1172 1759"> <thead> <tr> <th>工種(レベル2)</th> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水中不分離性 コンクリート工</td> <td rowspan="2">型枠</td> <td>水中不分離性 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>プレキャスト コンクリート工</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">プレキャスト コンクリート工</td> <td rowspan="5">型枠</td> <td>漏水防止</td> </tr> <tr> <td>注入管</td> </tr> <tr> <td>骨材投入</td> </tr> <tr> <td>モルタル注入</td> </tr> <tr> <td>モルタル注入</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span>: 本節で取扱う施工歩掛  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span>: 暫定的に定められた施工歩掛等  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span>: 他節を適用する施工歩掛  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span>: 施工条件を勘案し別途積算する施工歩掛(未制定歩掛)</p>	工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	水中不分離性 コンクリート工	型枠	水中不分離性 コンクリート	プレキャスト コンクリート工	プレキャスト コンクリート工	型枠	漏水防止	注入管	骨材投入	モルタル注入	モルタル注入	1-2 積算ツリー <table border="1" data-bbox="1745 1423 2359 1570"> <thead> <tr> <th>工種(レベル2)</th> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水中不分離性 コンクリート工</td> <td rowspan="2">型枠</td> <td>水中不分離性 コンクリート</td> </tr> <tr> <td>水中不分離性 コンクリート</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span>: 本節で取扱う施工歩掛  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span>: 他節を適用する施工歩掛  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span>: 施工条件を勘案し別途積算する施工歩掛(未制定歩掛)</p>	工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)	水中不分離性 コンクリート工	型枠	水中不分離性 コンクリート	水中不分離性 コンクリート	改定による削除									
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)																															
水中不分離性 コンクリート工	型枠	水中不分離性 コンクリート																															
		プレキャスト コンクリート工																															
プレキャスト コンクリート工	型枠	漏水防止																															
		注入管																															
		骨材投入																															
		モルタル注入																															
		モルタル注入																															
工種(レベル2)	種別(レベル3)	細別(レベル4)																															
水中不分離性 コンクリート工	型枠	水中不分離性 コンクリート																															
		水中不分離性 コンクリート																															



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント								
<p>3章4.3節 場所打式 3-4.3-(2)</p>	<p><b>1-4-3 数量の算出</b>  <u>1) プレバックドコンクリート工</u>  <u>(1) 漏えい防止シートの面積</u>  <u>12) 水中コンクリート工、(1)漏えい防止シートの面積」を適用する。</u>    <u>(2) 骨材投入</u>  <u>鋼製型枠内への骨材投入量は、純数量を対象とする。</u>    <u>(3) モルタル注入</u>  <u>モルタル注入量は、下式により算出する。</u>  <u>・モルタル注入量=(プレバックドコンクリート容量)×空隙率</u>  <u>なお、空隙率は、砂利 0.40、碎石 0.48とする。</u>    <u>(4) モルタル輸送管設置撤去</u>  <u>モルタル輸送管延長は、下式により算出する。</u>  <u>・モルタル輸送管設置撤去延長=(1回当り平均の輸送管延長)×(モルタル注入回数)</u></p> <p><b>1-4-4 数量計算の非控除</b></p> <table border="1" data-bbox="409 638 1389 772"> <thead> <tr> <th>種別(レハ°ル3)</th> <th>細別(レハ°ル4)</th> <th>内 容</th> <th>控除しないもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレバクト コンクリート工</td> <td>骨材投入 モルタル注入</td> <td>骨 材 モ ル タ ル</td> <td>外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの 杭類(コンクリート杭、鋼杭、木杭、鋼矢板等)鋼 材(形鋼・ホルト・ブラケット・鉄筋・鉄線等)面 取、伸縮目地の間隔</td> </tr> </tbody> </table>	種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	控除しないもの	プレバクト コンクリート工	骨材投入 モルタル注入	骨 材 モ ル タ ル	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの 杭類(コンクリート杭、鋼杭、木杭、鋼矢板等)鋼 材(形鋼・ホルト・ブラケット・鉄筋・鉄線等)面 取、伸縮目地の間隔	<p>削除</p>	<p>改定による削除</p>
種別(レハ°ル3)	細別(レハ°ル4)	内 容	控除しないもの								
プレバクト コンクリート工	骨材投入 モルタル注入	骨 材 モ ル タ ル	外径0.5m未満の管類およびこれに相当するもの 杭類(コンクリート杭、鋼杭、木杭、鋼矢板等)鋼 材(形鋼・ホルト・ブラケット・鉄筋・鉄線等)面 取、伸縮目地の間隔								

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																									
3章4.3節 場所打式 3-4.3-(3)	<p><b>2. プレバックドコンクリート工</b>                      プレバックドコンクリート工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="409 331 1279 657"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">プレバクト コンクリート工</td> <td>型 枠</td> <td>型枠組立組外</td> <td>鋼製型枠組立組外 100m<sup>2</sup>当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">漏えい防止</td> <td>漏えい防止シート敷設</td> <td>漏えい防止シート敷設 100m<sup>2</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>骨材投入</td> <td>骨材投入(現場投入渡し)</td> <td>100m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モルタル注入</td> <td rowspan="2">モルタル注入</td> <td>骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)</td> <td>100m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>モルタル注入</td> <td>10m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>モルタル配管設置撤去</td> <td>100m 当り</td> </tr> <tr> <td>天端処理</td> <td>天端処理</td> <td>100m<sup>2</sup>当り</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2-1 施工フロー</b></p>  <p>注) 本項の施工歩掛は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">        </span>の部分である。</p> <p><b>2-2 型 枠</b>  <b>2-2-1 代価表作成手順</b></p> <pre>     graph TD         A["型枠設置・撤去クレーン類の設置場所"] --&gt; B["施工区分の選定 (陸上、海上施工)"]         B --&gt; C["2-2-2 供用日数の算定"]         C --&gt; D["型枠賃料の算定"]         D --&gt; E["クレーン類の決定"]         F["①施工区分・供用係数"] --&gt; C         G["②型枠供用日数・搬入型枠面積・型枠全面積・1日当り型枠使用料"] --&gt; D         H["現場条件・型枠質量、アトリチ等"] --&gt; E     </pre>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		プレバクト コンクリート工	型 枠	型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m <sup>2</sup> 当り	漏えい防止	漏えい防止シート敷設	漏えい防止シート敷設 100m <sup>2</sup> 当り	骨材投入	骨材投入(現場投入渡し)	100m <sup>3</sup> 当り	モルタル注入	モルタル注入	骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)	100m <sup>3</sup> 当り	モルタル注入	10m <sup>3</sup> 当り	モルタル配管設置撤去	100m 当り	天端処理	天端処理	100m <sup>2</sup> 当り	<p>削除</p>	<p>改定による削除</p>
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																										
プレバクト コンクリート工	型 枠	型枠組立組外	鋼製型枠組立組外 100m <sup>2</sup> 当り																									
	漏えい防止	漏えい防止シート敷設	漏えい防止シート敷設 100m <sup>2</sup> 当り																									
		骨材投入	骨材投入(現場投入渡し)	100m <sup>3</sup> 当り																								
	モルタル注入	モルタル注入	骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)	100m <sup>3</sup> 当り																								
			モルタル注入	10m <sup>3</sup> 当り																								
		モルタル配管設置撤去	100m 当り																									
天端処理	天端処理	100m <sup>2</sup> 当り																										

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント														
<p>3章4.3節 場所打式 3-4.3-(4)</p>	<p>(陸上施工の場合) ・材料置場の有無 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">台船の計上の検討</span> → ⑤必要な場合は、<u>台船、引船を計上</u></p> <p>(海上施工の場合) ④起重機船等船種・規格 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">引船規格の決定</span> → ⑥引船の規格</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>①施工区分 ③鋼製型枠賃料単価 ④ルーフ類の種類・規格 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">代価表の作成</span> → ・鋼製型枠組立組外 ⑤台船、引船の有無 ⑥引船の規格 ・供用係数</p> <p><u>2-2-2 施工歩掛</u> <u>1) 型枠賃料の算定</u></p> <p>鋼製型枠賃料単価 = <math>\frac{a \times P}{A}</math> (円/m<sup>2</sup>) (小数3位切捨て)</p> <p>a : 搬入型枠面積(m<sup>2</sup>) P : 1現場当り型枠賃料(円/m<sup>2</sup>) <math>P = \frac{\text{型枠1枚1日当り賃料} \times d + \text{型枠1枚当り基本料}}{\text{型枠1枚当り面積}}</math> (小数3位切捨て)</p> <p>d : 型枠供用日数(日) ※供用日数が30日未満の場合は30日とする。 <math>d = C_m \times \text{サイクル数} + \text{搬入・搬出日数}(2日)</math> (小数1位切上げ)</p> <p>A : 型枠全面積(m<sup>2</sup>) ・1サイクル当り供用日数の算定 <math>C_m = (C_m' - K) \times M + K</math> (小数2位四捨五入)</p> <p>C<sub>m</sub>' : 1サイクル当り供用日数(日) K : 養生日数(4日) M : 陸上施工の場合 ; 1.65 海上施工の場合 ; α(供用係数)</p> <p>う</p> <table border="1" data-bbox="433 1100 1234 1178"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>型枠組立</th> <th>骨材組立</th> <th>モルタル注入</th> <th>養 生</th> <th>型枠外し</th> <th>C<sub>m</sub>'</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 数</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>10.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 消耗費 消費費は労務費の20%とする。</p> <p>3) クレーン類の規格の選定 クレーン類の規格は、型枠質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」による。</p> <p>4) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 「本節 4.3 場所打式、3. 水中コンクリート、3-4-2 施工歩掛、4) 代価表、(1) 鋼製型枠組立組外」を適用する。</p> <p><u>2-3 漏えい防止</u> 「本節 4.3 場所打式、3. 水中コンクリート、3-5 漏えい防止」を適用する。</p> <p><u>2-4 骨材投入</u> <u>2-4-1 代価表作成手順</u> 〔骨材投入(現場投入渡し)〕</p> <p>・供用係数 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2-4-4 代価表の作成</span> → ・骨材投入(現場投入渡し) 100m<sup>3</sup>当り代価表</p>	内 容	型枠組立	骨材組立	モルタル注入	養 生	型枠外し	C <sub>m</sub> '	日 数	3.0	1.0	1.0	4.0	1.0	10.0	<p>削除</p>	<p>改定による削除</p>
内 容	型枠組立	骨材組立	モルタル注入	養 生	型枠外し	C <sub>m</sub> '											
日 数	3.0	1.0	1.0	4.0	1.0	10.0											



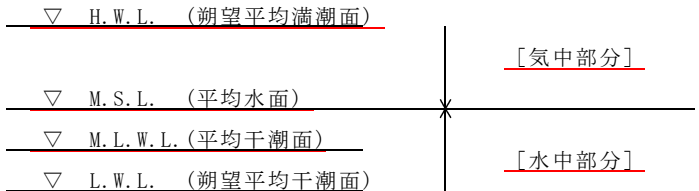
平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																															
3章4.3節 場所打式 3-4.3-(5)	<p><u>[骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)]</u> <u>(陸上施工)</u></p> <p style="text-align: center;"><u>2-4-4</u></p> <p>・供用係数 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">代 価 表 の 作 成</span> → <u>骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)</u> <u>100m<sup>3</sup>当り代価表</u></p> <p><u>(海上施工)</u></p> <p>・往復の運搬距離 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">引船運転時間の算定</span> → <u>①引船1日当り運転時間</u></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>・1日当り施工規模 ①引船1日当り運転時間 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">代 価 表 の 作 成</span> → <u>骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)</u> ・供用係数 <u>100m<sup>3</sup>当り代価表</u></p> <p><u>2-4-2 施工方法</u> 1) 粗骨材投入は、原則として現場投入渡しとする。 2) 現場投入渡しにより難い場合で、ストックヤードより積込・運搬・投入を行う場合は、以下による。</p> <p>陸上施工： <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホイールローダ骨材投入</span> 海上施工： <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ホイールローダ台船積込</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海上運搬</span> → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クレーン付台船骨材投入</span></p> <p><u>2-4-3 作業船・機械の組合せ</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工方法</th> <th>作業種類</th> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場投入渡し</td> <td>投 入</td> <td>潜 水 士 船</td> <td>D180PS型 3～5t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ヤード積込・ 運搬・投入</td> <td>岸壁積込</td> <td>ホイールローダ</td> <td>1.9～2.1m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海上運搬</td> <td>台 船</td> <td>鋼400t積</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D300PS型</td> <td></td> </tr> <tr> <td>投 入</td> <td>クレーン付台船</td> <td>35～40t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>潜 水 士 船</td> <td>D180PS型 3～5t吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>2-4-4 施工歩掛</u> 1) 骨材投入(ヤード積込・運搬・投入)の場合 (1) 1日当り骨材標準投入量 1日当り骨材標準投入量は、1日当り投入規模により下表に示す量とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施工方式</th> <th>1日当り投入規模</th> <th>1日当り骨材標準投入量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">陸上施工</td> <td>100m<sup>3</sup>未満</td> <td>60m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>100 "</td> <td>60 "</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">海上施工</td> <td>100～150 "</td> <td>130 "</td> <td></td> </tr> <tr> <td>150～200 "</td> <td>170 "</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 1日当り投入規模とは、1日当り投入計画から定まる投入量であり、割増しを含む。 2. 上記の1日当り投入規模を超える場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) 引船運転時間の算定(施工方式が海上施工の場合) 引船運転時間(h/日) = <math>\frac{1}{7.5} + \frac{2 \times d}{v}</math> (小数1位切上げ、偶数止め) d : 往復平均えい航距離(km) v : 往復平均えい航速度(6.9km/h)</p> <p>2) 代価表 (1) 骨材投入(現場投入渡し) 100m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形 状 寸 法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粗 骨 材</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>106</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D180PS型 3～5t吊</td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世 話 役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普 通 作 業 員</td> <td></td> <td>"</td> <td>2.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 本表には骨材の天端均しを含む。</p>	施工方法	作業種類	名 称	規 格	摘 要	現場投入渡し	投 入	潜 水 士 船	D180PS型 3～5t吊		ヤード積込・ 運搬・投入	岸壁積込	ホイールローダ	1.9～2.1m <sup>3</sup>		海上運搬	台 船	鋼400t積		引 船	鋼D300PS型		投 入	クレーン付台船	35～40t吊				潜 水 士 船	D180PS型 3～5t吊		施工方式	1日当り投入規模	1日当り骨材標準投入量	摘 要	陸上施工	100m <sup>3</sup> 未満	60m <sup>3</sup>		100 "	60 "		海上施工	100～150 "	130 "		150～200 "	170 "		名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要	粗 骨 材		m <sup>3</sup>	106	割増しを含む	潜水士船 運転	D180PS型 3～5t吊	日	0.5	就業8H	世 話 役		人	0.7		普 通 作 業 員		"	2.7		雑 材 料					<p>削除</p>	<p>改定による削除</p>
施工方法	作業種類	名 称	規 格	摘 要																																																																														
現場投入渡し	投 入	潜 水 士 船	D180PS型 3～5t吊																																																																															
ヤード積込・ 運搬・投入	岸壁積込	ホイールローダ	1.9～2.1m <sup>3</sup>																																																																															
	海上運搬	台 船	鋼400t積																																																																															
		引 船	鋼D300PS型																																																																															
	投 入	クレーン付台船	35～40t吊																																																																															
		潜 水 士 船	D180PS型 3～5t吊																																																																															
施工方式	1日当り投入規模	1日当り骨材標準投入量	摘 要																																																																															
陸上施工	100m <sup>3</sup> 未満	60m <sup>3</sup>																																																																																
	100 "	60 "																																																																																
海上施工	100～150 "	130 "																																																																																
	150～200 "	170 "																																																																																
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	摘 要																																																																														
粗 骨 材		m <sup>3</sup>	106	割増しを含む																																																																														
潜水士船 運転	D180PS型 3～5t吊	日	0.5	就業8H																																																																														
世 話 役		人	0.7																																																																															
普 通 作 業 員		"	2.7																																																																															
雑 材 料																																																																																		

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント																																																																																								
3章4.3節 場所打式 3-4.3-(6)	<p>(2) 骨材投入(ヤード積込・運搬・投入) 100m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="409 310 1389 772"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名称</th> <th rowspan="3">形状寸法</th> <th rowspan="3">単位</th> <th colspan="4">数量</th> <th rowspan="3">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上施工</th> <th colspan="3">海上施工</th> </tr> <tr> <th>100 m<sup>3</sup>/日未満</th> <th>100 m<sup>3</sup>/日未満</th> <th>100~150 m<sup>3</sup>/日未満</th> <th>150~200 m<sup>3</sup>/日未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粗骨材</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td colspan="4">106</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>ホイールローダ</td> <td>1.9~2.1m<sup>3</sup></td> <td>日</td> <td>0.9</td> <td colspan="3">0.2</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 運転</td> <td>35~40t吊</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.8</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船 運転</td> <td>鋼D 300PS型</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.8</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>運:作能力/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船 運転</td> <td>鋼400t積</td> <td>〃</td> <td>—</td> <td>1.8</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>〃</td> <td colspan="3">0.5</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td colspan="3">0.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>〃</td> <td colspan="3">2.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 本表には骨材の天端均しを含む。</p> <p>2-5 モルタル注入 2-5-1 代価表作成手順 [モルタル注入の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工数量 → 注入数量の確認 → ・100m<sup>3</sup>を超える場合は別途積算</li> <li>↓</li> <li>・圧送距離 → 中継ポンプ等の検討 → ・必要な場合は別途計上</li> <li>↓</li> <li>2-5-4</li> <li>・1日当りモルタル注入量 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・モルタル注入100m<sup>3</sup>当り代価表</li> <li>↓</li> <li>[モルタル配管設置撤去の積算]</li> <li>・海上施工の現場条件 → 配管受材の検討 → ・必要な場合は別途計上</li> <li>↓</li> <li>・施工区分 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・モルタル配管設置撤去100m当り代価表</li> <li>↓</li> <li>[天端処理の積算]</li> <li>2-5-3</li> <li>・天端高さ ・M.S.L. → 水中・気中の選択 → ①施工区分(水中、気中)</li> <li>↓</li> <li>2-5-4</li> <li>・現場条件 ・気中施工かつ海上施工 → 作業船計上の検討 → ②引船、台船の有無</li> <li>↓</li> <li>①施工区分 ②引船、台船の有無 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・天端処理100m<sup>3</sup>当り代価表</li> </ul> <p>2-5-2 施工方式 1) モルタル注入 (1) モルタルの種類 モルタル材料は、レディーミクストモルタルとする。</p> <p>(2) 施工方法 モルタル注入方法は、グラウトポンプにより圧送することを標準とする。</p>	名称	形状寸法	単位	数量				摘要	陸上施工	海上施工			100 m <sup>3</sup> /日未満	100 m <sup>3</sup> /日未満	100~150 m <sup>3</sup> /日未満	150~200 m <sup>3</sup> /日未満	粗骨材		m <sup>3</sup>	106				割増しを含む	ホイールローダ	1.9~2.1m <sup>3</sup>	日	0.9	0.2			標準運転時間	クレーン付台船 運転	35~40t吊	〃	—	1.8	0.8	0.6	運6H/就8H	引船 運転	鋼D 300PS型	〃	—	1.8	0.8	0.6	運:作能力/就8H	台船 運転	鋼400t積	〃	—	1.8	0.8	0.6	就業8H	潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	〃	0.5				就業8H	世話役		人	0.7					普通作業員		〃	2.7					雑材料								<p>削除</p>	<p>改定による削除</p>
名称	形状寸法				単位	数量				摘要																																																																																	
						陸上施工	海上施工																																																																																				
		100 m <sup>3</sup> /日未満	100 m <sup>3</sup> /日未満	100~150 m <sup>3</sup> /日未満		150~200 m <sup>3</sup> /日未満																																																																																					
粗骨材		m <sup>3</sup>	106				割増しを含む																																																																																				
ホイールローダ	1.9~2.1m <sup>3</sup>	日	0.9	0.2			標準運転時間																																																																																				
クレーン付台船 運転	35~40t吊	〃	—	1.8	0.8	0.6	運6H/就8H																																																																																				
引船 運転	鋼D 300PS型	〃	—	1.8	0.8	0.6	運:作能力/就8H																																																																																				
台船 運転	鋼400t積	〃	—	1.8	0.8	0.6	就業8H																																																																																				
潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	〃	0.5				就業8H																																																																																				
世話役		人	0.7																																																																																								
普通作業員		〃	2.7																																																																																								
雑材料																																																																																											

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																																																																																																															
3章4.3節 場所打式 3-4.3-(7)	<p><b>2-5-3 水中、気中の施工区分</b>                      天端処理における、水中と気中の施工区分は、以下に示すように平均水面(M.S.L.)を境界とする。</p>  <p><b>2-5-4 施工歩掛</b>                      1) 代価表                      (1) モルタル注入 10m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="409 619 1380 961"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>50 m<sup>3</sup>/日未満</th> <th>50~75 m<sup>3</sup>/日未満</th> <th>75~100 m<sup>3</sup>/日未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディーミクストモルタル</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td colspan="3">10.9</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>グラウトポンプ</td> <td>350~400ℓ/min</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発動発電機</td> <td>排出カ<sup>ス</sup>対策型 100kVA</td> <td>日</td> <td colspan="3">0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td>1</td> <td>0.8</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.レディーミクストモルタルは、雑材料の対象としない。                      2.施工規模が100m<sup>3</sup>/日を超える場合は、別途考慮する。                      3.圧送距離により中継ポンプが必要な場合は、別途考慮する。</p> <p>(2) モルタル配管設置撤去 100m当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1075 1261 1318"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>台船 運転</td> <td>鋼100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td>1</td> <td>2.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.現場条件により、海上配管の受台(台船、支柱、方塊、鋼材等)を別途計上することができる。                      2.配管損料は雑材料に含む。</p> <p>(3) 天端処理 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1432 1261 1843"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>水中</th> <th>気中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空気圧縮機</td> <td>排出カ<sup>ス</sup>対策型 3.5~3.7m<sup>3</sup>/min</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>さく岩機</td> <td>ハットトリル 15kg級</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>潜水士船 運転</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船 "</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船 "</td> <td>鋼100t積</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.1</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td>-</td> <td>1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>日</td> <td>1.2</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 気中施工で、かつ海上施工の場合は、引船・台船を各0.5日計上することができる。</p>	名称	形状寸法	単位	数量			摘要	50 m <sup>3</sup> /日未満	50~75 m <sup>3</sup> /日未満	75~100 m <sup>3</sup> /日未満	レディーミクストモルタル		m <sup>3</sup>	10.9			割増しを含む	グラウトポンプ	350~400ℓ/min	日	0.2				発動発電機	排出カ <sup>ス</sup> 対策型 100kVA	日	0.2				潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	日	0.4	0.3	0.3	就業8H	世話役		人	0.1	0.1	0.1		普通作業員		日	1	0.8	0.5		雑材料							名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	台船 運転	鋼100t積	日	-	1	就業8H	引船 "	鋼D200PS型	日	-	1	運2H/就8H	世話役		人	0.2	0.2		普通作業員		日	1	2.8		雑材料						名称	形状寸法	単位	数量		摘要	水中	気中	空気圧縮機	排出カ <sup>ス</sup> 対策型 3.5~3.7m <sup>3</sup> /min	日	-	0.5		さく岩機	ハットトリル 15kg級	日	-	0.5		潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	日	1	-	就業8H	引船 "	鋼D200PS型	日	-	-	運2H/就8H	台船 "	鋼100t積	日	-	-	就業8H	世話役		人	0.1	0.6		特殊作業員		日	-	1.8		普通作業員		日	1.2	4.5		雑材料						削除	改定による削除
名称	形状寸法				単位	数量			摘要																																																																																																																																																									
		50 m <sup>3</sup> /日未満	50~75 m <sup>3</sup> /日未満	75~100 m <sup>3</sup> /日未満																																																																																																																																																														
レディーミクストモルタル		m <sup>3</sup>	10.9			割増しを含む																																																																																																																																																												
グラウトポンプ	350~400ℓ/min	日	0.2																																																																																																																																																															
発動発電機	排出カ <sup>ス</sup> 対策型 100kVA	日	0.2																																																																																																																																																															
潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	日	0.4	0.3	0.3	就業8H																																																																																																																																																												
世話役		人	0.1	0.1	0.1																																																																																																																																																													
普通作業員		日	1	0.8	0.5																																																																																																																																																													
雑材料																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																													
			陸上	海上																																																																																																																																																														
台船 運転	鋼100t積	日	-	1	就業8H																																																																																																																																																													
引船 "	鋼D200PS型	日	-	1	運2H/就8H																																																																																																																																																													
世話役		人	0.2	0.2																																																																																																																																																														
普通作業員		日	1	2.8																																																																																																																																																														
雑材料																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																																																																													
			水中	気中																																																																																																																																																														
空気圧縮機	排出カ <sup>ス</sup> 対策型 3.5~3.7m <sup>3</sup> /min	日	-	0.5																																																																																																																																																														
さく岩機	ハットトリル 15kg級	日	-	0.5																																																																																																																																																														
潜水士船 運転	D180PS型 3~5t吊	日	1	-	就業8H																																																																																																																																																													
引船 "	鋼D200PS型	日	-	-	運2H/就8H																																																																																																																																																													
台船 "	鋼100t積	日	-	-	就業8H																																																																																																																																																													
世話役		人	0.1	0.6																																																																																																																																																														
特殊作業員		日	-	1.8																																																																																																																																																														
普通作業員		日	1.2	4.5																																																																																																																																																														
雑材料																																																																																																																																																																		

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
3章5節 被覆・根固工 目次	3. 袋詰コンクリート工 3-1 袋詰コンクリート ----- 3-5-14	<del>3. 被覆ブロック工</del> <del>3-1 被覆ブロック工製作 ----- 3-5-14</del>	改定による削除
	4. 被覆ブロック工 4-1 被覆ブロック製作 ----- 3-5-14 4-2 被覆ブロック据付 ----- 3-5-14 4-2-1 適用範囲 ----- 3-5-14 4-2-2 施工方法 ----- 3-5-14 4-2-3 施工フロ ----- 3-5-14 4-2-4 作業船・機械の組合せ ----- 3-5-14 4-2-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-5-14 4-2-6 水異形 ----- 3-5-14 4-2-6-1 代価表作成手順 ----- 3-5-14 4-2-6-2 施工歩掛 ----- 3-5-14 4-2-7 異形ブロック据付(1スイング) 4-2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-5-15 4-2-7-2 施工歩掛 ----- 3-5-15 4-2-8 異形ブロック横持ち 4-2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-5-15 4-2-8-2 施工歩掛 ----- 3-5-15 4-2-9 異形ブロック運搬据付(陸上連携方式) 4-2-9-1 代価表作成手順 ----- 3-5-16 4-2-9-2 施工歩掛 ----- 3-5-16 4-2-10 異形ブロック運搬据付(海上一連方式) 4-2-10-1 代価表作成手順 ----- 3-5-17 4-2-10-2 施工歩掛 ----- 3-5-17 4-2-11 異形ブロック運搬据付(陸海一貫方式) 4-2-11-1 代価表作成手順 ----- 3-5-18 4-2-11-2 施工歩掛 ----- 3-5-18	<del>3-2 被覆ブロック据付 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-1 適用範囲 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-2 施工方法 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-3 施工フロ ----- 3-5-14</del> <del>3-2-4 作業船・機械の組合せ ----- 3-5-14</del> <del>3-2-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-6 水異形 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-6-1 代価表作成手順 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-6-2 施工歩掛 ----- 3-5-14</del> <del>3-2-7 異形ブロック据付(1スイング)</del> <del>3-2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-5-15</del> <del>3-2-7-2 施工歩掛 ----- 3-5-15</del> <del>3-2-8 異形ブロック横持ち</del> <del>3-2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-5-15</del> <del>3-2-8-2 施工歩掛 ----- 3-5-15</del> <del>3-2-9 異形ブロック運搬据付(陸上連携方式)</del> <del>3-2-9-1 代価表作成手順 ----- 3-5-16</del> <del>3-2-9-2 施工歩掛 ----- 3-5-16</del> <del>3-2-10 異形ブロック運搬据付(海上一連方式)</del> <del>3-2-10-1 代価表作成手順 ----- 3-5-17</del> <del>3-2-10-2 施工歩掛 ----- 3-5-17</del> <del>3-2-11 異形ブロック運搬据付(陸海一貫方式)</del> <del>3-2-11-1 代価表作成手順 ----- 3-5-18</del> <del>3-2-11-2 施工歩掛 ----- 3-5-18</del>	改定による修正
	5. 被覆ブロック工(海岸) 5-1 適用範囲 ----- 3-5-19 5-2 施工概要 ----- 3-5-19 5-3 被覆ブロック据付 ----- 3-5-19	4. 被覆ブロック工(海岸) 4-1 適用範囲 ----- 3-5-19 4-2 施工概要 ----- 3-5-19 4-3 被覆ブロック据付 ----- 3-5-19	
	6. 根固ブロック工 6-1 根固ブロック製作(施工パッケージ) 6-1-1 適用範囲 ----- 3-5-20 6-1-1-1 適用できる範囲 ----- 3-5-20 6-1-2 施工フロ ----- 3-5-20 6-1-3 クレーン規格の選定 6-1-3-1 機種・規格選定手順 ----- 3-5-21 6-1-3-2 機種・規格の選定 ----- 3-5-21 6-1-4 施工パッケージ 6-1-4-1 代価表作成手順 ----- 3-5-21 6-1-4-2 条件区分 ----- 3-5-22 6-1-4-3 代表機材市規格 ----- 3-5-22 6-1-4-4 積算単価への補正 ----- 3-5-22 6-2 根固ブロック製作 6-2-1 適用範囲 ----- 3-5-23 6-2-2 施工フロ ----- 3-5-23 6-2-3 クレーン規格の選定 6-2-3-1 機種・規格選定手順 ----- 3-5-24 6-2-3-2 機種・規格の選定 ----- 3-5-24 6-2-4 ルーフィング敷設 6-2-4-1 代価表作成手順 ----- 3-5-24 6-2-4-2 施工歩掛 ----- 3-5-24 6-2-5 鋼製枠組足場架設 6-2-5-1 代価表作成手順 ----- 3-5-25 6-2-5-2 施工歩掛 ----- 3-5-25 6-2-6 鉄筋加工組立 6-2-6-1 代価表作成手順 ----- 3-5-26 6-2-6-2 施工歩掛 ----- 3-5-26 6-2-7 吊鉄筋・吊バ一組立 6-2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-5-26 6-2-7-2 施工歩掛 ----- 3-5-27 6-2-8 鋼製枠組立組外 6-2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-5-27 6-2-8-2 施工歩掛 ----- 3-5-27 6-2-9 コンクリート打設 6-2-9-1 代価表作成手順 ----- 3-5-28 6-2-9-2 施工方法の選定 ----- 3-5-28 6-2-9-3 施工歩掛 ----- 3-5-29 6-3 根固ブロック据付 6-3-1 適用範囲 ----- 3-5-30 6-3-2 施工方法 ----- 3-5-30 6-3-3 施工フロ ----- 3-5-30 6-3-4 作業船・機械の組合せ 6-3-4-1 陸上作業 ----- 3-5-30 6-3-4-2 海上作業 ----- 3-5-30 6-3-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-5-30	5. 根固ブロック工 5-1 根固ブロック製作(施工パッケージ) 5-1-1 適用範囲 ----- 3-5-20 5-1-1-1 適用できる範囲 ----- 3-5-20 5-1-2 施工フロ ----- 3-5-20 5-1-3 クレーン規格の選定 5-1-3-1 機種・規格選定手順 ----- 3-5-21 5-1-3-2 機種・規格の選定 ----- 3-5-21 5-1-4 施工パッケージ 5-1-4-1 代価表作成手順 ----- 3-5-21 5-1-4-2 条件区分 ----- 3-5-22 5-1-4-3 代表機材市規格 ----- 3-5-22 5-1-4-4 積算単価への補正 ----- 3-5-22 5-2 根固ブロック製作 5-2-1 適用範囲 ----- 3-5-23 5-2-2 施工フロ ----- 3-5-23 5-2-3 クレーン規格の選定 5-2-3-1 機種・規格選定手順 ----- 3-5-24 5-2-3-2 機種・規格の選定 ----- 3-5-24 5-2-4 ルーフィング敷設 5-2-4-1 代価表作成手順 ----- 3-5-24 5-2-4-2 施工歩掛 ----- 3-5-24 5-2-5 鋼製枠組足場架設 5-2-5-1 代価表作成手順 ----- 3-5-25 5-2-5-2 施工歩掛 ----- 3-5-25 5-2-6 鉄筋加工組立 5-2-6-1 代価表作成手順 ----- 3-5-26 5-2-6-2 施工歩掛 ----- 3-5-26 5-2-7 吊鉄筋・吊バ一組立 5-2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-5-26 5-2-7-2 施工歩掛 ----- 3-5-27 5-2-8 鋼製枠組立組外 5-2-8-1 代価表作成手順 ----- 3-5-27 5-2-8-2 施工歩掛 ----- 3-5-27 5-2-9 コンクリート打設 5-2-9-1 代価表作成手順 ----- 3-5-28 5-2-9-2 施工方法の選定 ----- 3-5-28 5-2-9-3 施工歩掛 ----- 3-5-29 5-3 根固ブロック据付 5-3-1 適用範囲 ----- 3-5-30 5-3-2 施工方法 ----- 3-5-30 5-3-3 施工フロ ----- 3-5-30 5-3-4 作業船・機械の組合せ 5-3-4-1 陸上作業 ----- 3-5-30 5-3-4-2 海上作業 ----- 3-5-30 5-3-5 水中と陸上の工事区分 ----- 3-5-30	

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
3章5節 被覆・根固工 目次	<p>6-3-6 ブロック転置 6-3-6-1 代価表作成手順 ----- 3-5-31 6-3-6-2 施工歩掛 ----- 3-5-31</p> <p>6-3-7 ブロック据付(1スイング) 6-3-7-1 代価表作成手順 ----- 3-5-32 6-3-7-2 施工歩掛 ----- 3-5-32</p> <p>6-3-8 ブロック横持ち 6-3-8-1 代価表作成手順 ----- 3-5-33 6-3-8-2 施工歩掛 ----- 3-5-33</p> <p>6-3-9 ブロック据付(陸上連携方式) 6-3-9-1 代価表作成手順 ----- 3-5-34 6-3-9-2 施工歩掛 ----- 3-5-34</p> <p>6-3-10 ブロック据付(海上一連方式) 6-3-10-1 代価表作成手順 ----- 3-5-35 6-3-10-2 施工歩掛 ----- 3-5-35</p> <p>6-3-11 ブロック据付(陸海一貫方式) 6-3-11-1 代価表作成手順 ----- 3-5-36 6-3-11-2 施工歩掛 ----- 3-5-36</p> <p>7. 水中コンクリート工 ----- 3-5-37</p> <p>8. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3-5-37</p>	<p>5-3-6 ブロック転置 5-3-6-1 代価表作成手順 ----- 3-5-31 5-3-6-2 施工歩掛 ----- 3-5-31</p> <p>5-3-7 ブロック据付(1スイング) 5-3-7-1 代価表作成手順 ----- 3-5-32 5-3-7-2 施工歩掛 ----- 3-5-32</p> <p>5-3-8 ブロック横持ち 5-3-8-1 代価表作成手順 ----- 3-5-33 5-3-8-2 施工歩掛 ----- 3-5-33</p> <p>5-3-9 ブロック据付(陸上連携方式) 5-3-9-1 代価表作成手順 ----- 3-5-34 5-3-9-2 施工歩掛 ----- 3-5-34</p> <p>5-3-10 ブロック据付(海上一連方式) 5-3-10-1 代価表作成手順 ----- 3-5-35 5-3-10-2 施工歩掛 ----- 3-5-35</p> <p>5-3-11 ブロック据付(陸海一貫方式) 5-3-11-1 代価表作成手順 ----- 3-5-36 5-3-11-2 施工歩掛 ----- 3-5-36</p> <p>6. 水中コンクリート工 ----- 3-5-37</p> <p>7. 水中不分離性コンクリート工 ----- 3-5-37</p> <p>参考資料-1 袋詰コンクリート工 ----- 3-5-(1)</p>	改定による修正
3章5節 被覆・根固工 3-5-1	<p>1-2 積算ツリー</p> <p>注) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 本節で取扱う施工歩掛  <span style="border: 3px double black; padding: 2px;"> </span> : 本節で取扱う施工歩掛 (施工パッケージ)  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 他節を適用する施工歩掛  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span> : 施工条件を勘案し別途積算する施工歩掛 (未制定歩掛)</p>	<p>1-2 積算ツリー</p> <p>注) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 本節で取扱う施工歩掛  <span style="border: 3px double black; padding: 2px;"> </span> : 本節で取扱う施工歩掛 (施工パッケージ)  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span> : 暫定的に定められた施工歩掛等  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> : 他節を適用する施工歩掛  <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span> : 施工条件を勘案し別途積算する施工歩掛 (未制定歩掛)</p>	改定による修正
3章5節 被覆・根固工 3-5-2	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>4-2 被覆ブロック据付の積算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工方式</li> <li>ブロック質量</li> <li>作業種類</li> </ul> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被覆ブロック</li> </ul> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック転置代価表</li> <li>ブロック運搬据付・仮置代価表</li> </ul>	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>削除</p> <p>3-2 被覆ブロック据付の積算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工方式</li> <li>ブロック質量</li> <li>作業種類</li> </ul> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被覆ブロック</li> </ul> <p>→</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック転置代価表</li> <li>ブロック運搬据付・仮置代価表</li> </ul>	改定による削除  改定による修正



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																
<p>3章5節 被覆・根固工 3-5-3</p>	<p><b>6-1 根固ブロック製作の積算(施工パッケージ)</b></p> <p><b>6-1-3</b> 現場条件・対象物質量とアトリチ・コンクリート打設方法 → <b>クレーン規格の選定</b> → クレーンの機種・規格 (ラフテレーンクレーン(油)20t吊)</p> <p><b>6-1-4 (施工パッケージ)</b> 標準単価(代価)・市場単価・クレーン賃料 → <b>補正式</b> → 根固ブロック製作積算単価(代価)</p> <p><b>6-2-5~6-2-8</b> クレーンの機種・規格・市場単価・現場条件 → <b>足場鉄筋荷卸</b> → 鋼製枠組足場架払代価表 鉄筋荷卸代価表 鉄筋加工組立代価表 吊鉄筋・吊ハール組立 → 吊鉄筋組立代価表</p> <p><b>6-2 根固ブロック製作の積算(積み上げ)</b></p> <p><b>6-2-3</b> 現場条件・対象物質量とアトリチ・コンクリート打設方法 → <b>クレーン規格の選定</b> → クレーンの機種・規格</p> <p><b>6-2-4~6-2-10</b> クレーンの機種・規格・市場単価・現場条件 → <b>底面</b> → ルーフィング敷設代価表 <b>足場</b> → 鋼製枠組足場架払代価表 <b>鉄筋</b> → 鉄筋荷卸代価表 鉄筋加工組立代価表 吊鉄筋組立代価表 <b>型枠</b> → 鋼製型枠組立組外代価表 <b>コンクリート</b> → コンクリート打設代価表</p> <p><b>6-3</b> 施工方式・ブロック質量・作業種類 → <b>根固ブロック据付の積算</b> → ブロック転置代価表 ブロック運搬据付・仮置代価表</p> <p style="text-align: center;">水中コンクリート工の積算 「4節 本體工、4.3 場所打式」参照</p>	<p><b>5-1 根固ブロック製作の積算(施工パッケージ)</b></p> <p><b>5-1-3</b> 現場条件・対象物質量とアトリチ・コンクリート打設方法 → <b>クレーン規格の選定</b> → クレーンの機種・規格 (ラフテレーンクレーン(油)20t吊)</p> <p><b>5-1-4 (施工パッケージ)</b> 標準単価(代価)・市場単価・クレーン賃料 → <b>補正式</b> → 根固ブロック製作積算単価(代価)</p> <p><b>5-2-5~5-2-8</b> クレーンの機種・規格・市場単価・現場条件 → <b>足場鉄筋荷卸</b> → 鋼製枠組足場架払代価表 鉄筋荷卸代価表 鉄筋加工組立代価表 吊鉄筋・吊ハール組立 → 吊鉄筋組立代価表</p> <p><b>5-2 根固ブロック製作の積算(積み上げ)</b></p> <p><b>5-2-3</b> 現場条件・対象物質量とアトリチ・コンクリート打設方法 → <b>クレーン規格の選定</b> → クレーンの機種・規格</p> <p><b>5-2-4~5-2-10</b> クレーンの機種・規格・市場単価・現場条件 → <b>底面</b> → ルーフィング敷設代価表 <b>足場</b> → 鋼製枠組足場架払代価表 <b>鉄筋</b> → 鉄筋荷卸代価表 鉄筋加工組立代価表 吊鉄筋組立代価表 <b>型枠</b> → 鋼製型枠組立組外代価表 <b>コンクリート</b> → コンクリート打設代価表</p> <p><b>5-3</b> 施工方式・ブロック質量・作業種類 → <b>根固ブロック据付の積算</b> → ブロック転置代価表 ブロック運搬据付・仮置代価表</p> <p style="text-align: center;">水中コンクリート工の積算 「4節 本體工、4.3 場所打式」参照</p>	<p>改定による修正</p>																																																																
<p>3章5節 被覆・根固工 3-5-4</p>	<p><b>1-5-1 集計数値</b></p> <table border="1" data-bbox="388 1560 1389 1879"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内容</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">被覆石工</td> <td>被覆石</td> <td>被覆石量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td rowspan="3">1位止を原則とする。</td> <td rowspan="3">四捨五入</td> </tr> <tr> <td>被覆均し</td> <td>均し面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>被覆均し(海岸)</td> <td>均し面積</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>コンクリート量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">被覆ブロック工</td> <td>被覆ブロック製作</td> <td>異形ブロック個数</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆ブロック据付</td> <td>異形ブロック個数</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容	単位	数値	摘要	被覆石工	被覆石	被覆石量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入	被覆均し	均し面積	m <sup>2</sup>	被覆均し(海岸)	均し面積	〃	袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>			被覆ブロック工	被覆ブロック製作	異形ブロック個数	個			被覆ブロック据付	異形ブロック個数	〃			<p><b>1-5-1 集計数値</b></p> <table border="1" data-bbox="1576 1560 2576 1812"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>内容</th> <th>単位</th> <th>数値</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">被覆石工</td> <td>被覆石</td> <td>被覆石量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td rowspan="3">1位止を原則とする。</td> <td rowspan="3">四捨五入</td> </tr> <tr> <td>被覆均し</td> <td>均し面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>被覆均し(海岸)</td> <td>均し面積</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">被覆ブロック工</td> <td>被覆ブロック製作</td> <td>異形ブロック個数</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆ブロック据付</td> <td>異形ブロック個数</td> <td>〃</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容	単位	数値	摘要	被覆石工	被覆石	被覆石量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入	被覆均し	均し面積	m <sup>2</sup>	被覆均し(海岸)	均し面積	〃	被覆ブロック工	被覆ブロック製作	異形ブロック個数	個			被覆ブロック据付	異形ブロック個数	〃			<p>改定による削除</p>
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容	単位	数値	摘要																																																														
被覆石工	被覆石	被覆石量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入																																																														
	被覆均し	均し面積	m <sup>2</sup>																																																																
	被覆均し(海岸)	均し面積	〃																																																																
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	コンクリート量	m <sup>3</sup>																																																																
被覆ブロック工	被覆ブロック製作	異形ブロック個数	個																																																																
	被覆ブロック据付	異形ブロック個数	〃																																																																
種別(レベル3)	細別(レベル4)	内容	単位	数値	摘要																																																														
被覆石工	被覆石	被覆石量	m <sup>3</sup>	1位止を原則とする。	四捨五入																																																														
	被覆均し	均し面積	m <sup>2</sup>																																																																
	被覆均し(海岸)	均し面積	〃																																																																
被覆ブロック工	被覆ブロック製作	異形ブロック個数	個																																																																
	被覆ブロック据付	異形ブロック個数	〃																																																																

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-4	<p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>材 料</th> <th>割増率 (%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被覆石工</td> <td>被覆石</td> <td>被覆石</td> <td>30</td> <td>過去の実績により、難めは別途考慮する。</td> </tr> <tr> <td>袋詰コンクリート工</td> <td>袋詰コンクリート</td> <td>コンクリート</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">被覆ブロック工</td> <td rowspan="3">被覆ブロック製作</td> <td>鉄筋(異形棒鋼)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋(丸鋼)</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	材 料	割増率 (%)	摘 要	被覆石工	被覆石	被覆石	30	過去の実績により、難めは別途考慮する。	袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	コンクリート	2		被覆ブロック工	被覆ブロック製作	鉄筋(異形棒鋼)	2		吊鉄筋(丸鋼)	3		コンクリート	1		<p>1-5-2 材料割増率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th>材 料</th> <th>割増率 (%)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被覆石工</td> <td>被覆石</td> <td>被覆石</td> <td>30</td> <td>過去の実績により、難めは別途考慮する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">被覆ブロック工</td> <td rowspan="3">被覆ブロック製作</td> <td>鉄筋(異形棒鋼)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋(丸鋼)</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>被覆ブロック工</td> <td>被覆ブロック製作</td> <td>鉄筋(異形棒鋼)</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	材 料	割増率 (%)	摘 要	被覆石工	被覆石	被覆石	30	過去の実績により、難めは別途考慮する。	被覆ブロック工	被覆ブロック製作	鉄筋(異形棒鋼)	2		吊鉄筋(丸鋼)	3		コンクリート	1		被覆ブロック工	被覆ブロック製作	鉄筋(異形棒鋼)	2		改定による削除
種別(レベル3)	細別(レベル4)	材 料	割増率 (%)	摘 要																																																			
被覆石工	被覆石	被覆石	30	過去の実績により、難めは別途考慮する。																																																			
袋詰コンクリート工	袋詰コンクリート	コンクリート	2																																																				
被覆ブロック工	被覆ブロック製作	鉄筋(異形棒鋼)	2																																																				
		吊鉄筋(丸鋼)	3																																																				
		コンクリート	1																																																				
種別(レベル3)	細別(レベル4)	材 料	割増率 (%)	摘 要																																																			
被覆石工	被覆石	被覆石	30	過去の実績により、難めは別途考慮する。																																																			
被覆ブロック工	被覆ブロック製作	鉄筋(異形棒鋼)	2																																																				
		吊鉄筋(丸鋼)	3																																																				
		コンクリート	1																																																				
被覆ブロック工	被覆ブロック製作	鉄筋(異形棒鋼)	2																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-7	<p>2-3-3 施工歩掛</p> <p>なお、搬入経路や施工現場の水深が浅かったり、平面形状により瀬取り投入が必要な場合で、上式によることが不適当と認められる場合は、施工条件を勘案し潜水士船1日当り投入指示量を補正しなければならない。「9節 裏込・裏埋工、瀬取り 2-7-3 施工歩掛1) 作業能力」を準用。</p>	<p>2-3-3 施工歩掛</p> <p>なお、搬入経路や施工現場の水深が浅かったり、平面形状により瀬取り投入が必要な場合で、<u>施工実態と上式の能力に乖離がある場合など上式によることが不適当と認められる場合は、施工条件を勘案し潜水士船1日当り投入指示量を補正しなければならない。</u>「9節 裏込・裏埋工、瀬取り 2-7-3 施工歩掛1) 作業能力」を準用。</p>	記載内容の追加																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-14	<p>3. 袋詰コンクリート工</p> <p><u>3-1 袋詰コンクリート</u></p> <p>「3節 基礎工、5. 袋詰コンクリート工」を適用する。</p> <p>4. 被覆ブロック工</p> <p><u>4-1 被覆ブロック製作</u></p> <p><u>4-2 被覆ブロック据付</u></p> <p><u>4-2-1 適用範囲</u></p> <p><u>4-2-2 施工方法</u></p> <p><u>4-2-3 施工フロー</u></p> <p><u>4-2-4 作業船・機械の組合せ</u></p> <p><u>4-2-5 水中と陸上の工事区分</u></p> <p><u>4-2-6 異形ブロック転置</u></p> <p><u>4-2-6-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-6-2 施工歩掛</u></p>	<p>削除</p> <p><u>3. 被覆ブロック工</u></p> <p><u>3-1 被覆ブロック製作</u></p> <p><u>3-2 被覆ブロック据付</u></p> <p><u>3-2-1 適用範囲</u></p> <p><u>3-2-2 施工方法</u></p> <p><u>3-2-3 施工フロー</u></p> <p><u>3-2-4 作業船・機械の組合せ</u></p> <p><u>3-2-5 水中と陸上の工事区分</u></p> <p><u>3-2-6 異形ブロック転置</u></p> <p><u>3-2-6-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>3-2-6-2 施工歩掛</u></p>	改定による削除 改定による修正																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-15	<p><u>4-2-7 異形ブロック据付(1スイング)</u></p> <p><u>4-2-7-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-7-2 施工歩掛</u></p> <p>1) 作業能力</p> <p>(1) 据付能力算定式</p> <p>注) ウィンチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、「本節、<u>4-2-10 異形ブロック運搬据付(海上一連方式)</u>」を適用する。</p> <p><u>4-2-8 異形ブロック横持ち</u></p> <p><u>4-2-8-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-8-2 施工歩掛</u></p>	<p><u>3-2-7 異形ブロック据付(1スイング)</u></p> <p><u>3-2-7-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>3-2-7-2 施工歩掛</u></p> <p>1) 作業能力</p> <p>(1) 据付能力算定式</p> <p>注) ウィンチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、「本節、<u>3-2-10 異形ブロック運搬据付(海上一連方式)</u>」を適用する。</p> <p><u>3-2-8 異形ブロック横持ち</u></p> <p><u>3-2-8-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>3-2-8-2 施工歩掛</u></p>	改定による修正																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-16	<p><u>4-2-9 異形ブロック運搬据付(陸上連携方式)</u></p> <p><u>4-2-9-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-9-2 施工歩掛</u></p>	<p><u>3-2-9 異形ブロック運搬据付(陸上連携方式)</u></p> <p><u>3-2-9-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>3-2-9-2 施工歩掛</u></p>	改定による修正																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-17	<p><u>4-2-10 異形ブロック運搬据付(海上一連方式)</u></p> <p><u>4-2-10-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-10-2 施工歩掛</u></p>	<p><u>3-2-10 異形ブロック運搬据付(海上一連方式)</u></p> <p><u>3-2-10-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>3-2-10-2 施工歩掛</u></p>	改定による修正																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-18	<p><u>4-2-11 異形ブロック運搬据付(陸海一貫方式)</u></p> <p><u>4-2-11-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-11-2 施工歩掛</u></p>	<p><u>3-2-11 異形ブロック運搬据付(陸海一貫方式)</u></p> <p><u>3-2-11-1 代価表作成手順</u></p> <p><u>3-2-11-2 施工歩掛</u></p>	改定による修正																																																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-19	<p>5. 被覆ブロック工(海岸)</p> <p><u>5-1 適用範囲</u></p> <p><u>5-2 施工概要</u></p> <p><u>5-3 被覆ブロック据付</u></p>	<p><u>4. 被覆ブロック工(海岸)</u></p> <p><u>4-1 適用範囲</u></p> <p><u>4-2 施工概要</u></p> <p><u>4-3 被覆ブロック据付</u></p>	改定による修正																																																				

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
3章5節 被覆・根固工 3-5-20	<p><b>6. 根固ブロック工</b>  <b>6-1 根固ブロック製作(施工パッケージ)</b>  <b>6-1-1 適用範囲</b>  <b>6-1-1-1 適用できる範囲</b>                      適用できる範囲は、根固ブロックの諸元が「<b>6-1-4-2 条件区分</b>」と合致するものとする。なお、合致しない場合は「<b>6-2 根固ブロック製作</b>」を適用する。  <b>6-1-2 施工フロー</b>                      注) 1. 施工パッケージで対応しているのは <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6-1-2</span> の部分である。                      2. 施工パッケージで対応していない部分は「<b>6-2 根固ブロック製作</b>」により別途必要に応じて追加計上すること。</p>	<p><b>5. 根固ブロック工</b>  <b>5-1 根固ブロック製作(施工パッケージ)</b>  <b>5-1-1 適用範囲</b>  <b>5-1-1-1 適用できる範囲</b>                      適用できる範囲は、根固ブロックの諸元が「<b>5-1-4-2 条件区分</b>」と合致するものとする。なお、合致しない場合は「<b>5-2 根固ブロック製作</b>」を適用する。  <b>5-1-2 施工フロー</b>                      注) 1. 施工パッケージで対応しているのは <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5-1-2</span> の部分である。                      2. 施工パッケージで対応していない部分は「<b>5-2 根固ブロック製作</b>」により別途必要に応じて追加計上すること。</p>	改定による修正
3章5節 被覆・根固工 3-5-21	<p><b>6-1-3 クレーン規格の選定</b>  <b>6-1-3-1 機種・規格選定手順</b>  <b>6-1-3-2 機種・規格の選定</b>  <b>6-1-4 施工パッケージ</b>  <b>6-1-4-1 代価表作成手順</b></p>	<p><b>5-1-3 クレーン規格の選定</b>  <b>5-1-3-1 機種・規格選定手順</b>  <b>5-1-3-2 機種・規格の選定</b>  <b>5-1-4 施工パッケージ</b>  <b>5-1-4-1 代価表作成手順</b></p>	改定による修正
3章5節 被覆・根固工 3-5-22	<p><b>6-1-4-2 条件区分</b>                      1) 根固ブロックの形状寸法 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表6-1</span> 根固ブロック製作積算条件区分  <b>6-1-4-3 代表機労材市規格</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表6-2</span> 根固ブロック製作 代表機労材市規格一覧表  <b>6-1-4-4 積算単価への補正</b></p>	<p><b>5-1-4-2 条件区分</b>                      1) 根固ブロックの形状寸法 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表5-1</span> 根固ブロック製作積算条件区分  <b>5-1-4-3 代表機労材市規格</b>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">表5-2</span> 根固ブロック製作 代表機労材市規格一覧表  <b>5-1-4-4 積算単価への補正</b></p>	改定による修正
3章5節 被覆・根固工 3-5-23	<p><b>6-2 根固ブロック製作</b>  <b>6-2-1 適用範囲</b>  <b>6-2-2 施工フロー</b></p>	<p><b>5-2 根固ブロック製作</b>  <b>5-2-1 適用範囲</b>  <b>5-2-2 施工フロー</b></p>	改定による修正
3章5節 被覆・根固工 3-5-24	<p><b>6-2-3 クレーン規格の選定</b>  <b>6-2-3-1 機種・規格選定手順</b>                      ・現場条件                      ・ユニット質量とアトリチ(型枠等) → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6-2-3-2</span> クレーン規格の選定 → ・ラフテレーンクレーンの規格またはクローラクレーンの規格                      ・コンクリート打設がクレーンの場合 → クレーン規格の変更  <b>6-2-3-2 機種・規格の選定</b>  <b>6-2-4 ルーフィング敷設</b>  <b>6-2-4-1 代価表作成手順</b>                      【第4章 市場単価】                      ・施工場所 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市場単価適用の検討</span> → ①標準市場単価                      ・市場単価適用条件以外は別途積算                      ↓  <b>6-2-4-2</b>                      ・底面の状態 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下地処理材の検討</span> → ②路盤紙の有無、数量                      ③敷砂の有無、数量                      ↓                      ①標準市場単価                      ②路盤紙の有無、数量                      ③敷砂の有無、数量 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">代価表の作成</span> → ・ルーフィング敷設                      100m<sup>2</sup>当り代価表  <b>6-2-4-2 施工歩掛</b></p>	<p><b>5-2-3 クレーン規格の選定</b>  <b>5-2-3-1 機種・規格選定手順</b>                      ・現場条件                      ・ユニット質量とアトリチ(型枠等) → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">5-2-3-2</span> クレーン規格の選定 → ・ラフテレーンクレーンの規格またはクローラクレーンの規格                      ・コンクリート打設がクレーンの場合 → クレーン規格の変更  <b>5-2-3-2 機種・規格の選定</b>  <b>5-2-4 ルーフィング敷設</b>  <b>5-2-4-1 代価表作成手順</b>                      【第4章 市場単価】                      ・施工場所 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市場単価適用の検討</span> → ①標準市場単価                      ・市場単価適用条件以外は別途積算                      ↓  <b>5-2-4-2</b>                      ・底面の状態 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">下地処理材の検討</span> → ②路盤紙の有無、数量                      ③敷砂の有無、数量                      ↓                      ①標準市場単価                      ②路盤紙の有無、数量                      ③敷砂の有無、数量 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">代価表の作成</span> → ・ルーフィング敷設                      100m<sup>2</sup>当り代価表  <b>5-2-4-2 施工歩掛</b></p>	改定による修正

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント										
3章5節 被覆・根固工 3-5-25	<p><u>6-2-5</u> 鋼製枠組足場架払 <u>6-2-5-1</u> 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】 <u>6-2-5-2</u></p> <p>[枠組足場架払の積算] ・クレーンの種類・規格「<u>6-2-3</u>」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>・ブロック種類 → 市場単価の選定 → 標準市場単価(クレーン抜き)</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「<u>6-2-3</u>」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 鋼製枠組足場架払 100m<sup>2</sup>当り代価表</p> <p><u>6-2-5-2</u> 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製枠組足場架払 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="409 758 1225 814"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.3</td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 <u>6-2-3</u> クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3	<p><u>5-2-5</u> 鋼製枠組足場架払 <u>5-2-5-1</u> 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】 <u>5-2-5-2</u></p> <p>[枠組足場架払の積算] ・クレーンの種類・規格「<u>5-2-3</u>」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>・ブロック種類 → 市場単価の選定 → 標準市場単価(クレーン抜き)</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「<u>5-2-3</u>」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 鋼製枠組足場架払 100m<sup>2</sup>当り代価表</p> <p><u>5-2-5-2</u> 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鋼製枠組足場架払 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 758 2412 814"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.3</td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 <u>5-2-3</u> クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3	改定による修正
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3									
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.3									
3章5節 被覆・根固工 3-5-26	<p><u>6-2-6</u> 鉄筋加工組立 <u>6-2-6-1</u> 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・クレーンの種類・規格「<u>6-2-3</u>」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>・ブロック種類 → 市場単価の選定 → 標準市場単価(クレーン抜き)</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「<u>6-2-3</u>」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 鉄筋加工組立 1,000kg当り代価表</p> <p><u>6-2-6-2</u> 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1318 1225 1375"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.1</td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 <u>6-2-3</u> クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p><u>6-2-7</u> 吊鉄筋・吊バー組立 <u>6-2-7-1</u> 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・クレーンの種類・規格「<u>6-2-3</u>」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン・貸与クレーン</p> <p>[吊鉄筋・吊バー組立の積算]</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「<u>6-2-3</u>」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り代価表</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1	<p><u>5-2-6</u> 鉄筋加工組立 <u>5-2-6-1</u> 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・クレーンの種類・規格「<u>5-2-3</u>」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>・ブロック種類 → 市場単価の選定 → 標準市場単価(クレーン抜き)</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「<u>5-2-3</u>」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 鉄筋加工組立 1,000kg当り代価表</p> <p><u>5-2-6-2</u> 施工歩掛 1) 代価表 (1) 鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 1318 2412 1375"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.1</td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 <u>5-2-3</u> クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p><u>5-2-7</u> 吊鉄筋・吊バー組立 <u>5-2-7-1</u> 代価表作成手順 [吊鉄筋現場組立の積算]</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・クレーンの種類・規格「<u>5-2-3</u>」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン・貸与クレーン</p> <p>[吊鉄筋・吊バー組立の積算]</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「<u>5-2-3</u>」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → 吊鉄筋・吊バー組立 1,000kg当り代価表</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1	改定による修正
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1									
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1									

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																								
3章5節 被覆・根固工 3-5-27	<p><b>6-2-7-2 施工歩掛</b> 1) 代価表 (2) 吊鉄筋・吊パー組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="409 342 1234 390"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーン類の機種・規格は、「本節 6-2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p><b>6-2-8 鋼製型枠組立組外</b> <b>6-2-8-1 代価表作成手順</b></p> <p>・クレーンの種類・規格「6-2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン ・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ①施工規模補正係数 → 代価表の作成 → 鋼製型枠組立組外 ・クレーンの機種・規格「6-2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 100m<sup>2</sup>当り代価表</p> <p><b>6-2-8-2 施工歩掛</b> 1) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="409 783 1234 831"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 6-2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1		貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.8		<p><b>5-2-7-2 施工歩掛</b> 1) 代価表 (2) 吊鉄筋・吊パー組立 1,000kg当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 342 2421 390"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーン類の機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p> <p><b>5-2-8 鋼製型枠組立組外</b> <b>5-2-8-1 代価表作成手順</b></p> <p>・クレーンの種類・規格「5-2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン ・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) ①施工規模補正係数 → 代価表の作成 → 鋼製型枠組立組外 ・クレーンの機種・規格「5-2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 100m<sup>2</sup>当り代価表</p> <p><b>5-2-8-2 施工歩掛</b> 1) 代価表 (1) 鋼製型枠組立組外 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 783 2421 831"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1		貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.8		改定による修正
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1																							
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.8																							
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.1																							
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.8																							
3章5節 被覆・根固工 3-5-28	<p><b>6-2-9 コンクリート打設</b> <b>6-2-9-1 代価表作成手順</b></p> <p>・現場条件 → <b>6-2-9-2</b> → 打設方法 コンクリート打設方法の検討 → (ポンプ車打設、クレーン打設、ミキサー車打設)</p> <p>[クレーン打設の積算]</p> <p>・クレーンの機種・規格「6-2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン ・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>(陸上クレーン・貸与クレーンの積算) ・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「6-2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → コンクリート打設 10m<sup>3</sup>当り代価表</p> <p><b>6-2-9-2 施工方法の選定</b></p>	<p><b>5-2-9 コンクリート打設</b> <b>5-2-9-1 代価表作成手順</b></p> <p>・現場条件 → <b>5-2-9-2</b> → 打設方法 コンクリート打設方法の検討 → (ポンプ車打設、クレーン打設、ミキサー車打設)</p> <p>[クレーン打設の積算]</p> <p>・クレーンの機種・規格「5-2-3」 ・貸与クレーンの使用の有無 → クレーン機種の選定 → 陸上クレーン ・貸与クレーン</p> <p>↓</p> <p>(陸上クレーン・貸与クレーンの積算) ・標準市場単価(クレーン抜き) ・クレーンの機種・規格「5-2-3」または貸与クレーンの機種・規格 → 代価表の作成 → コンクリート打設 10m<sup>3</sup>当り代価表</p> <p><b>5-2-9-2 施工方法の選定</b></p>	改定による修正																								
3章5節 被覆・根固工 3-5-29	<p><b>6-2-9-3 施工歩掛</b> 2) 代価表</p> <table border="1" data-bbox="409 1381 1234 1430"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 6-2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.2		<p><b>5-2-9-3 施工歩掛</b> 2) 代価表</p> <table border="1" data-bbox="1596 1381 2421 1430"> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>〃</td> <td>-</td> <td>0.2</td> <td></td> </tr> </table> <p>注) 1.クレーンの機種・規格は、「本節 5-2-3 クレーン規格の選定」による。</p>	貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.2		改定による修正												
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.2																							
貸与クレーン運転費	t吊	〃	-	0.2																							
3章5節 被覆・根固工 3-5-30	<p><b>6-3 根固ブロック据付</b></p> <p><b>6-3-1 適用範囲</b></p> <p><b>6-3-2 施工方法</b></p> <p><b>6-3-3 施工フロー</b></p> <p><b>6-3-4 作業船・機械の組合せ</b> <b>6-3-4-1 陸上作業</b></p> <p><b>6-3-4-2 海上作業</b></p> <p><b>6-3-5 水中と陸上の工事区分</b></p>	<p><b>5-3 根固ブロック据付</b></p> <p><b>5-3-1 適用範囲</b></p> <p><b>5-3-2 施工方法</b></p> <p><b>5-3-3 施工フロー</b></p> <p><b>5-3-4 作業船・機械の組合せ</b> <b>5-3-4-1 陸上作業</b></p> <p><b>5-3-4-2 海上作業</b></p> <p><b>5-3-5 水中と陸上の工事区分</b></p>	改定による修正																								



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-31	<p><u>6-3-6</u> ブロック転置 <u>6-3-6-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>6-3-6-2</u> 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 (1) 転置能力算定式</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>70.0~100.0t</td> <td>#</td> <td>1.15</td> </tr> </table> <p>注) ウィンチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、「本節 <u>6-3-10</u> ブロック据付(海上一連方式)」を適用する。</p>	70.0~100.0t	#	1.15	<p><u>5-3-6</u> ブロック転置 <u>5-3-6-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>5-3-6-2</u> 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 (1) 転置能力算定式</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>70.0~100.0t</td> <td>#</td> <td>1.15</td> </tr> </table> <p>注) ウィンチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、「本節 <u>5-3-10</u> ブロック据付(海上一連方式)」を適用する。</p>	70.0~100.0t	#	1.15	改定による修正														
70.0~100.0t	#	1.15																					
70.0~100.0t	#	1.15																					
3章5節 被覆・根固工 3-5-32	<p><u>6-3-7</u> ブロック据付(1スイング) <u>6-3-7-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>6-3-7-2</u> 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 (1) 据付能力算定式</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>70.0~100.0t</td> <td>#</td> <td>1.15</td> </tr> </table> <p>注) ウィンチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、「本節 <u>6-3-10</u> ブロック据付(海上一連方式)」を適用する。</p>	70.0~100.0t	#	1.15	<p><u>5-3-7</u> ブロック据付(1スイング) <u>5-3-7-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>5-3-7-2</u> 施工歩掛</p> <p>1) 作業能力 (1) 据付能力算定式</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>70.0~100.0t</td> <td>#</td> <td>1.15</td> </tr> </table> <p>注) ウィンチによる移動距離は、概ね50mまでとする。なお、50mを超える場合は、「本節 <u>5-3-10</u> ブロック据付(海上一連方式)」を適用する。</p>	70.0~100.0t	#	1.15	改定による修正														
70.0~100.0t	#	1.15																					
70.0~100.0t	#	1.15																					
3章5節 被覆・根固工 3-5-33	<p><u>6-3-8</u> ブロック横持ち <u>6-3-8-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>6-3-8-2</u> 施工歩掛</p>	<p><u>5-3-8</u> ブロック横持ち <u>5-3-8-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>5-3-8-2</u> 施工歩掛</p>	改定による修正																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-34	<p><u>6-3-9</u> ブロック据付(陸上連携方式) <u>6-3-9-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>6-3-9-2</u> 施工歩掛</p>	<p><u>5-3-9</u> ブロック据付(陸上連携方式) <u>5-3-9-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>5-3-9-2</u> 施工歩掛</p>	改定による修正																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-35	<p><u>6-3-10</u> ブロック据付(海上一連方式) <u>6-3-10-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>6-3-10-2</u> 施工歩掛</p>	<p><u>5-3-10</u> ブロック据付(海上一連方式) <u>5-3-10-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>5-3-10-2</u> 施工歩掛</p>	改定による修正																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-36	<p><u>6-3-11</u> ブロック据付(陸海一貫方式) <u>6-3-11-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>6-3-11-2</u> 施工歩掛</p>	<p><u>5-3-11</u> ブロック据付(陸海一貫方式) <u>5-3-11-1</u> 代価表作成手順</p> <p><u>5-3-11-2</u> 施工歩掛</p>	改定による修正																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-37	<p><u>7</u>. 水中コンクリート工</p> <p><u>8</u>. 水中不分離性コンクリート工</p>	<p><u>6</u>. 水中コンクリート工</p> <p><u>7</u>. 水中不分離性コンクリート工</p>	改定による修正																				
3章5節 被覆・根固工 3-5-(1)		<p>参考資料-1 袋詰コンクリート工</p> <p>1) 袋詰コンクリート</p> <p>「<u>3</u>節 基礎工-参考資料-3 袋詰コンクリート工」を適用する。</p>	改定による追加																				
3章6節 上部工 3-6-3	<p>1-5 標準的な積算手順</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>3. 上部ブロック工 3-1 上部ブロック製作</td> <td>「5節 被覆・根固工、<u>6</u>. 根固ブロック工 <u>6-1</u> 根固ブロック製作」参照</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>3. 上部ブロック工、3-2 上部ブロック据付</td> <td>「5節 被覆・根固工、<u>6</u>. 根固ブロック工 <u>6-2</u> 根固ブロック据付」参照</td> </tr> </table>	3. 上部ブロック工 3-1 上部ブロック製作	「5節 被覆・根固工、 <u>6</u> . 根固ブロック工 <u>6-1</u> 根固ブロック製作」参照	3. 上部ブロック工、3-2 上部ブロック据付	「5節 被覆・根固工、 <u>6</u> . 根固ブロック工 <u>6-2</u> 根固ブロック据付」参照	<p>1-5 標準的な積算手順</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>3. 上部ブロック工 3-1 上部ブロック製作</td> <td>「5節 被覆・根固工、<u>5</u>. 根固ブロック工 <u>5-1</u> 根固ブロック製作(施工パッケージ)」、<u>「同 5-2 根固ブロック製作」</u>参照</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>3. 上部ブロック工、3-2 上部ブロック据付</td> <td>「5節 被覆・根固工、<u>5</u>. 根固ブロック工 <u>5-3</u> 根固ブロック据付」参照</td> </tr> </table>	3. 上部ブロック工 3-1 上部ブロック製作	「5節 被覆・根固工、 <u>5</u> . 根固ブロック工 <u>5-1</u> 根固ブロック製作(施工パッケージ)」、 <u>「同 5-2 根固ブロック製作」</u> 参照	3. 上部ブロック工、3-2 上部ブロック据付	「5節 被覆・根固工、 <u>5</u> . 根固ブロック工 <u>5-3</u> 根固ブロック据付」参照	改定による修正												
3. 上部ブロック工 3-1 上部ブロック製作	「5節 被覆・根固工、 <u>6</u> . 根固ブロック工 <u>6-1</u> 根固ブロック製作」参照																						
3. 上部ブロック工、3-2 上部ブロック据付	「5節 被覆・根固工、 <u>6</u> . 根固ブロック工 <u>6-2</u> 根固ブロック据付」参照																						
3. 上部ブロック工 3-1 上部ブロック製作	「5節 被覆・根固工、 <u>5</u> . 根固ブロック工 <u>5-1</u> 根固ブロック製作(施工パッケージ)」、 <u>「同 5-2 根固ブロック製作」</u> 参照																						
3. 上部ブロック工、3-2 上部ブロック据付	「5節 被覆・根固工、 <u>5</u> . 根固ブロック工 <u>5-3</u> 根固ブロック据付」参照																						
3章6節 上部工 3-6-33	<p>4) 代価表 (3) 材料接岸積込 1,000m<sup>3</sup>(コンクリート数量)当り</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラムシェル</td> <td>平積 1.2m<sup>3</sup></td> <td>日</td> <td>D</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クラムシェル	平積 1.2m <sup>3</sup>	日	D	標準運転時間	<p>4) 代価表 (3) 材料接岸積込 1,000m<sup>3</sup>(コンクリート数量)当り</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラムシェル</td> <td>平積 <u>1.0</u>m<sup>3</sup></td> <td>日</td> <td>D</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クラムシェル	平積 <u>1.0</u> m <sup>3</sup>	日	D	標準運転時間	字句の修正
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
クラムシェル	平積 1.2m <sup>3</sup>	日	D	標準運転時間																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
クラムシェル	平積 <u>1.0</u> m <sup>3</sup>	日	D	標準運転時間																			
3章6節 上部工 3-6-35	<p>3-1 上部ブロック製作 「5節 被覆・根固工、<u>6</u>. 根固ブロック工 <u>6-1</u> 根固ブロック製作」を適用する。</p> <p>3-2 上部ブロック据付 「5節 被覆・根固工、<u>6</u>. 根固ブロック工 <u>6-2</u> 根固ブロック据付」を適用する。</p>	<p>3. 上部ブロック工</p> <p>3-1 上部ブロック製作 「5節 被覆・根固工、<u>5</u>. 根固ブロック工 <u>5-1</u> 根固ブロック製作(施工パッケージ)」、<u>「同 5-2 根固ブロック製作」</u>を適用する。</p> <p>3-2 上部ブロック据付 「5節 被覆・根固工、<u>5</u>. 根固ブロック工 <u>5-3</u> 根固ブロック据付」を適用する。</p>	字句の修正																				



平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																																																																								
第3章7節 付属工 3-7-4	<p>1-5-3 係船柱の塗装面積・中詰コンクリート量 (1基当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">曲 柱</th> <th colspan="3">直 柱</th> </tr> <tr> <th>型 式</th> <th>塗装面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>中詰コンクリート(m<sup>3</sup>)</th> <th>型 式</th> <th>塗装面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>中詰コンクリート(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50kN型</td><td>0.2</td><td>0.006</td><td>150kN型</td><td>0.3</td><td>0.024</td></tr> <tr><td>100 "</td><td>0.3</td><td>0.014</td><td>250 "</td><td>0.5</td><td>0.036</td></tr> <tr><td>150 "</td><td>0.5</td><td>0.030</td><td>350 "</td><td>0.5</td><td>0.034</td></tr> <tr><td>250 "</td><td>0.8</td><td>0.054</td><td>500 "</td><td>0.9</td><td>0.072</td></tr> <tr><td>350 "</td><td>0.8</td><td>0.052</td><td>700 "</td><td>1.1</td><td>0.110</td></tr> <tr><td>500 "</td><td>1.3</td><td>0.077</td><td>1,000 "</td><td>1.4</td><td>0.189</td></tr> <tr><td>700 "</td><td>1.6</td><td>0.116</td><td>1,500 "</td><td>2.1</td><td>0.329</td></tr> <tr><td>1,000 "</td><td>2.0</td><td>0.151</td><td>2,000 "</td><td>2.9</td><td>0.561</td></tr> </tbody> </table>	曲 柱			直 柱			型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )	型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )	50kN型	0.2	0.006	150kN型	0.3	0.024	100 "	0.3	0.014	250 "	0.5	0.036	150 "	0.5	0.030	350 "	0.5	0.034	250 "	0.8	0.054	500 "	0.9	0.072	350 "	0.8	0.052	700 "	1.1	0.110	500 "	1.3	0.077	1,000 "	1.4	0.189	700 "	1.6	0.116	1,500 "	2.1	0.329	1,000 "	2.0	0.151	2,000 "	2.9	0.561	<p>1-5-3 係船柱の塗装面積・中詰コンクリート量 (1基当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">曲 柱</th> <th colspan="3">直 柱</th> </tr> <tr> <th>型 式</th> <th>塗装面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>中詰コンクリート(m<sup>3</sup>)</th> <th>型 式</th> <th>塗装面積(m<sup>2</sup>)</th> <th>中詰コンクリート(m<sup>3</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>50kN型</td><td>0.2</td><td>0.006</td><td>150kN型</td><td>0.5</td><td>0.024</td></tr> <tr><td>100 "</td><td>0.4</td><td>0.015</td><td>250 "</td><td>0.6</td><td>0.044</td></tr> <tr><td>150 "</td><td>0.6</td><td>0.032</td><td>350 "</td><td>0.6</td><td>0.042</td></tr> <tr><td>250 "</td><td>0.9</td><td>0.057</td><td>500 "</td><td>0.8</td><td>0.068</td></tr> <tr><td>350 "</td><td>0.9</td><td>0.054</td><td>700 "</td><td>1.1</td><td>0.102</td></tr> <tr><td>500 "</td><td>1.2</td><td>0.084</td><td>1,000 "</td><td>1.4</td><td>0.169</td></tr> <tr><td>700 "</td><td>1.5</td><td>0.126</td><td>1,500 "</td><td>2.0</td><td>0.308</td></tr> <tr><td>1,000 "</td><td>1.9</td><td>0.174</td><td>2,000 "</td><td>2.8</td><td>0.527</td></tr> </tbody> </table>	曲 柱			直 柱			型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )	型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )	50kN型	0.2	0.006	150kN型	0.5	0.024	100 "	0.4	0.015	250 "	0.6	0.044	150 "	0.6	0.032	350 "	0.6	0.042	250 "	0.9	0.057	500 "	0.8	0.068	350 "	0.9	0.054	700 "	1.1	0.102	500 "	1.2	0.084	1,000 "	1.4	0.169	700 "	1.5	0.126	1,500 "	2.0	0.308	1,000 "	1.9	0.174	2,000 "	2.8	0.527	数量の修正
曲 柱			直 柱																																																																																																																								
型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )	型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )																																																																																																																						
50kN型	0.2	0.006	150kN型	0.3	0.024																																																																																																																						
100 "	0.3	0.014	250 "	0.5	0.036																																																																																																																						
150 "	0.5	0.030	350 "	0.5	0.034																																																																																																																						
250 "	0.8	0.054	500 "	0.9	0.072																																																																																																																						
350 "	0.8	0.052	700 "	1.1	0.110																																																																																																																						
500 "	1.3	0.077	1,000 "	1.4	0.189																																																																																																																						
700 "	1.6	0.116	1,500 "	2.1	0.329																																																																																																																						
1,000 "	2.0	0.151	2,000 "	2.9	0.561																																																																																																																						
曲 柱			直 柱																																																																																																																								
型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )	型 式	塗装面積(m <sup>2</sup> )	中詰コンクリート(m <sup>3</sup> )																																																																																																																						
50kN型	0.2	0.006	150kN型	0.5	0.024																																																																																																																						
100 "	0.4	0.015	250 "	0.6	0.044																																																																																																																						
150 "	0.6	0.032	350 "	0.6	0.042																																																																																																																						
250 "	0.9	0.057	500 "	0.8	0.068																																																																																																																						
350 "	0.9	0.054	700 "	1.1	0.102																																																																																																																						
500 "	1.2	0.084	1,000 "	1.4	0.169																																																																																																																						
700 "	1.5	0.126	1,500 "	2.0	0.308																																																																																																																						
1,000 "	1.9	0.174	2,000 "	2.8	0.527																																																																																																																						
第3章7節 付属工 3-7-6	<p>[係船柱塗装の積算]</p> <p>・工事条件 → 塗装内容の選定 → ③ 塗装内容  <del>錆止 + 下塗 + 上塗</del>  <del>錆止 + 上塗</del>  <del>下塗 + 上塗</del>  <del>再錆止 + 下塗 + 上塗</del></p>	<p>[係船柱塗装の積算]</p> <p>・工事条件 → 塗装内容の選定 → ③ 塗装内容  <del>錆止 + 下塗 + 上塗(2回)</del>  <del>錆止 + 上塗(2回)</del>  <del>下塗 + 上塗(2回)</del></p>	字句の修正																																																																																																																								
第3章7節 付属工 3-7-7	<p>2-1-4 施工歩掛 2) 代価表 (3) 係船柱塗装 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>① 錆止 + 下塗 + 上塗</th> <th>② 錆止</th> <th>③ 下塗 + 上塗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係船柱塗装</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形状寸法	単 位	数 量			摘 要	① 錆止 + 下塗 + 上塗	② 錆止	③ 下塗 + 上塗	係船柱塗装		m <sup>2</sup>	100	100	100	市場単価	<p>2-1-4 施工歩掛 2) 代価表 (3) 係船柱塗装 100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="3">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>① 錆止 + 下塗 + 上塗(2回)</th> <th>② 錆止</th> <th>③ 下塗 + 上塗(2回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>係船柱塗装</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形状寸法	単 位	数 量			摘 要	① 錆止 + 下塗 + 上塗(2回)	② 錆止	③ 下塗 + 上塗(2回)	係船柱塗装		m <sup>2</sup>	100	100	100	市場単価	字句の修正																																																																																						
名 称	形状寸法				単 位	数 量			摘 要																																																																																																																		
		① 錆止 + 下塗 + 上塗	② 錆止	③ 下塗 + 上塗																																																																																																																							
係船柱塗装		m <sup>2</sup>	100	100	100	市場単価																																																																																																																					
名 称	形状寸法	単 位	数 量			摘 要																																																																																																																					
			① 錆止 + 下塗 + 上塗(2回)	② 錆止	③ 下塗 + 上塗(2回)																																																																																																																						
係船柱塗装		m <sup>2</sup>	100	100	100	市場単価																																																																																																																					
第3章7節 付属工 3-7-8	<p>3-1-3 代価表作成手順 [埋込栓取付の積算]</p> <p>① 施工区分 ・防舷材の高さ ・標準市場単価 ③ 施工規模補正係数</p> <p>3-1-4 代価表の作成 → 埋込栓取付1日(基) 当り代価表</p>	<p>3-1-3 代価表作成手順 [埋込栓取付の積算]</p> <p>① 施工区分 ・防舷材または棧子の高さ ・標準市場単価 ③ 施工規模補正係数</p> <p>3-1-4 代価表の作成 → 埋込栓取付1日(基) 当り代価表</p>	記載内容の追加																																																																																																																								

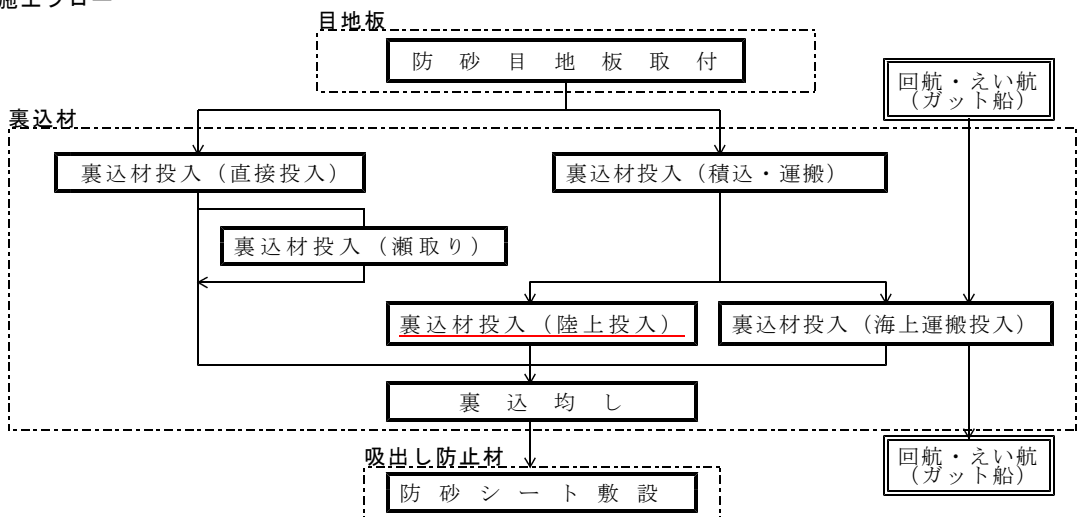
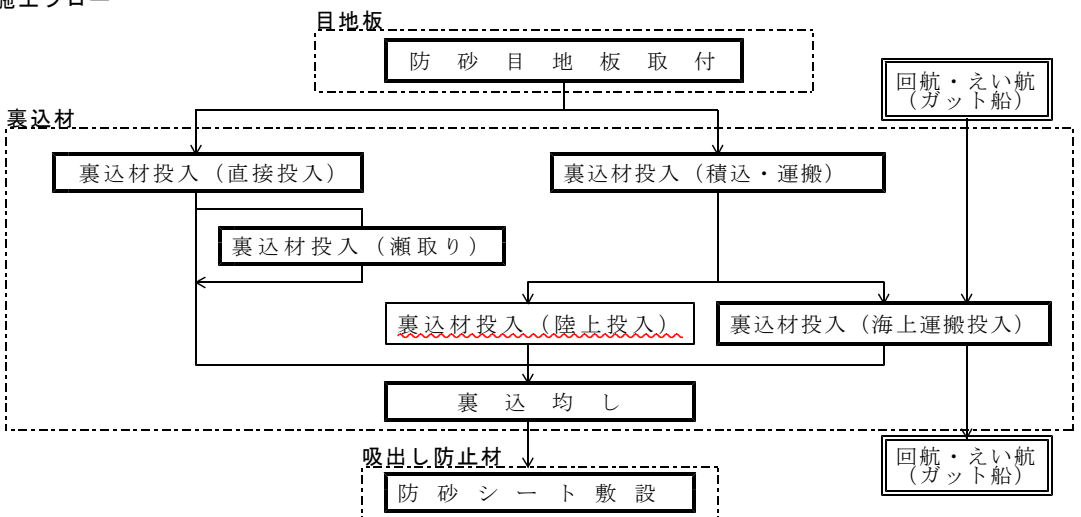
平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																				
第3章8節 消波工 3-8-18	<p>2-2-1-1-1 代価表作成手順 (陸上作業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック質量 現場条件 → <b>2-2-4-1</b> クレーンの決定 → ①' クレーン機種・規格 ②' クレーン標準運転時間</li> <li>作業種類 ブロック種類 ブロック質量 → 能力係数の選定 → ⑧' 能力係数(積込、陸上) 作業種類能力係数(E<sub>1</sub>) ブロック種類能力係数(E<sub>2</sub>) 施工区分能力係数(E<sub>3</sub>) ブロック質量能力係数(E<sub>4</sub>)</li> <li>⑧' 能力係数(積込、陸上) → 1個当り積込時間(陸上)の算定 → ⑨' 1個当り積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>)</li> <li><b>2-2-1-1-2</b> ⑨ 1日当り施工量(N<sub>s</sub>) ⑨' 積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>) → 1日当り積込時間の算定 → ③' 積込時間(T<sub>L</sub>)</li> <li>③' 積込時間(T<sub>L</sub>) ②' クレーン標準運転時間 → クレーン運転日数の算定 → ④' クレーン運転日数(D<sub>1</sub>)</li> <li>ブロック質量 → 運搬車両の選定 → ⑤' 運搬車両機種・規格 ⑥' 運搬車両標準運転時間</li> <li>ブロック質量・形状 ⑤' 運搬車両機種・規格 → 積載個数の算定 → ⑦' 積載個数(n<sub>0</sub>)</li> <li>⑨ 1日当り施工量(N<sub>s</sub>) ⑦' 積載個数(n<sub>0</sub>) 往復平均運搬距離(d<sub>2</sub>) → 運搬車両所要台数の算定 → ⑩' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>)</li> <li>⑥' 積込時間(海上)(C<sub>m1</sub>) ⑨' 積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>) ⑥' 運搬車両標準運転時間</li> <li>水中、陸上工事区分 → 労務編成の選択 → ⑪' 労務編成</li> <li>⑨ 1日当り施工量(N<sub>s</sub>) ①' クレーン機種・規格 ④' クレーン運転日数(D<sub>1</sub>) ⑤' 運搬車両機種・規格 ⑩' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>) ①' 起重機船等船種・規格 ⑩' 起重機船等運転時間 ②' 引船規格 ⑪' 引船運転時間 ⑪' 労務編成 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り代価表</li> </ul>	<p>2-2-1-1-1 代価表作成手順 (陸上作業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブロック質量 現場条件 → <b>2-2-4-1</b> クレーンの決定 → ①' クレーン機種・規格</li> <li>作業種類 ブロック種類 ブロック質量 → 能力係数の選定 → ⑤' 能力係数(積込、陸上) 作業種類能力係数(E<sub>1</sub>) ブロック種類能力係数(E<sub>2</sub>) 施工区分能力係数(E<sub>3</sub>) ブロック質量能力係数(E<sub>4</sub>)</li> <li>⑤' 能力係数(積込、陸上) → 1個当り積込時間(陸上)の算定 → ⑥' 1個当り積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>)</li> <li>ブロック質量 → 運搬車両の選定 → ②' 運搬車両機種・規格 ③' 運搬車両標準運転時間</li> <li>ブロック質量・形状 ②' 運搬車両機種・規格 → 積載個数の算定 → ④' 積載個数(n<sub>0</sub>)</li> <li>⑨ 1日当り施工量(N<sub>s</sub>) ④' 積載個数(n<sub>0</sub>) 往復平均運搬距離(d<sub>2</sub>) → 運搬車両所要台数の算定 → ⑦' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>)</li> <li>⑥' 積込時間(海上)(C<sub>m1</sub>) ⑥' 積込時間(陸上)(C<sub>m3</sub>) ③' 運搬車両標準運転時間</li> <li>水中、陸上工事区分 → 労務編成の選択 → ⑧' 労務編成</li> <li>⑨ 1日当り施工量(N<sub>s</sub>) ①' クレーン機種・規格 ②' 運搬車両機種・規格 ⑦' 運搬車両所要台数(n<sub>2</sub>) ①' 起重機船等船種・規格 ⑩' 起重機船等運転時間 ②' 引船規格 ⑪' 引船運転時間 ⑧' 労務編成 ・供用係数 → 代価表の作成 → ・ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り代価表</li> </ul>																					
第3章8節 消波工 3-8-19	<p>1) 作業能力 (5) 積込クレーン運転時間の算定</p> $T_L = N_s \times \frac{C_{m3}}{60} \quad (\text{小数2位四捨五入})$ <p>T<sub>L</sub>: 1日当り積込時間(h/日) C<sub>m3</sub>: 1個当り積込時間(陸上)(分)</p> <p>(6) 積込クレーン運転日数の算定</p> $D_1 = \frac{T_L}{(\text{クレーン標準運転時間})} \quad (\text{小数2位切上げ})$ <p>D<sub>1</sub>: 積込クレーン運転日数(日) T<sub>L</sub>: 1日当り積込時間(h/日)</p>	<p>1) 作業能力 <del>削除</del></p>																					
第3章8節 消波工 3-8-20	<p>(7) 運搬車両のブロック積載個数(n<sub>0</sub>) (8) 運搬車両台数の算定</p> <p>3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1774 1314 1900"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		標準運転時間	<p>(5) 運搬車両のブロック積載個数(n<sub>0</sub>) (6) 運搬車両台数の算定</p> <p>3) 代価表 (1) ブロック運搬据付・仮置(陸海一貫方式) 1日(個)当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 1774 2502 1900"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間	改定による追加
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日		標準運転時間																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	1	標準運転時間																			

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																								
第3章8節 消波工 3-8-(2)	<p>3. ベッド賃料の計上 テトラポッド4.0t型以上の製作に当たっては、鋼製ベッド賃料を製作個数分計上する。 なお、他のブロックについても必要性を検討のうえ計上できる。</p>	<p>3. ベッド賃料の計上 テトラポッド3.2t型以上の製作に当たっては、鋼製ベッド賃料を製作個数分計上する。 なお、他のブロックについても必要性を検討のうえ計上できる。</p>	字句の修正																																								
第3章9節 裏込・裏埋工 目次	<p>2-7 瀬取り ----- 3-9-18</p> <p>3. 裏埋工</p> <p>3-1 裏埋材</p> <p>3-1-1 適用範囲 ----- 3-9-19</p> <p>3-1-2 施工フロー ----- 3-9-19</p> <p>3-1-3 代価表作成手順 ----- 3-9-19</p> <p>3-1-4 施工方式 ----- 3-9-19</p> <p>3-1-5 施工歩掛 ----- 3-9-19</p> <p>4. 裏埋土工</p> <p>4-1 適用範囲 ----- 3-9-20</p> <p>4-2 施工フロー ----- 3-9-20</p> <p>4-3 土砂掘削 ----- 3-9-20</p> <p>4-4 土砂盛土 ----- 3-9-20</p> <p>付属資料 付属資料-1 ポンプ浚渫船による裏埋(埋立)土砂の歩留率 ----- 3-9-(1)</p> <p>補足資料 補足資料-1 裏込・裏埋工 ----- 3-9-(2)</p>	<p>2-7 瀬取り ----- 3-9-19</p> <p>2-7-1 代価表作成手順 ----- 3-9-19</p> <p>2-7-2 施工方式 ----- 3-9-20</p> <p>2-7-3 施工歩掛 ----- 3-9-21</p> <p>3. 裏埋工</p> <p>3-1 裏埋材</p> <p>3-1-1 適用範囲 ----- 3-9-24</p> <p>3-1-2 施工フロー ----- 3-9-24</p> <p>3-1-3 代価表作成手順 ----- 3-9-24</p> <p>3-1-4 施工方式 ----- 3-9-24</p> <p>3-1-5 施工歩掛 ----- 3-9-24</p> <p>4. 裏埋土工</p> <p>4-1 適用範囲 ----- 3-9-25</p> <p>4-2 施工フロー ----- 3-9-25</p> <p>4-3 土砂掘削 ----- 3-9-25</p> <p>4-4 土砂盛土 ----- 3-9-25</p> <p>参考資料 参考資料-1 直接投入以外の裏込材投入(陸上投入) ----- 3-9-(1)</p> <p>付属資料 付属資料-1 ポンプ浚渫船による裏埋(埋立)土砂の歩留率 ----- 3-9-(3)</p> <p>補足資料 補足資料-1 裏込・裏埋工 ----- 3-9-(4)</p>	<p>字句の修正</p> <p>改定による追加</p>																																								
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-2	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>2. 裏込工</p> <p>裏込工</p> <p>→ 目地板の積算 → 防砂目地板取付 代価表</p> <p>→ 裏込材の積算</p> <p>→ 裏込材投入 代価表</p> <p>→ 瀬取り投入 「参考資料-1」参照</p> <p>↓</p> <p>→ 裏込均し 代価表</p> <p>→ 吸出し防止材の積算 → 防砂シート敷設 代価表</p> <p>・水中と陸上の区分</p> <p>・水深区分 ・施工規模</p> <p>・水中・陸上の区分 ・均し精度 ・透明度 ・施工規模 ・潮待ちの有無 ・水深区分</p>	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>2. 裏込工</p> <p>裏込工</p> <p>→ 目地板の積算 → 防砂目地板取付 代価表</p> <p>→ 裏込材の積算</p> <p>→ 裏込材投入 代価表</p> <p>→ 瀬取り投入</p> <p>↓</p> <p>→ 裏込均し 代価表</p> <p>→ 吸出し防止材の積算 → 防砂シート敷設 代価表</p> <p>・水中と陸上の区分</p> <p>・水深区分 ・施工規模</p> <p>・水中・陸上の区分 ・均し精度 ・透明度 ・施工規模 ・潮待ちの有無 ・水深区分</p>	字句の修正																																								
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-6	<p>2. 裏込工 裏込工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="388 1444 1389 1686"> <thead> <tr> <th>種別(レべ°ル3)</th> <th>細別(レべ°ル4)</th> <th colspan="3">積算要素(レべ°ル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">裏込工</td> <td>目地板</td> <td>防砂目地板取付</td> <td>防砂目地板取付(陸上・水中)</td> <td>100m当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">裏込材</td> <td rowspan="4">裏込材投入</td> <td>裏込材投入(直接投入)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>裏込材投入(積込・運搬)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>裏込材投入(陸上投入)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>裏込材投入(海上運搬投入)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> </tbody> </table>	種別(レべ°ル3)	細別(レべ°ル4)	積算要素(レべ°ル6)			裏込工	目地板	防砂目地板取付	防砂目地板取付(陸上・水中)	100m当り	裏込材	裏込材投入	裏込材投入(直接投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り	裏込材投入(積込・運搬)	1,000m <sup>3</sup> 当り	裏込材投入(陸上投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り	裏込材投入(海上運搬投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り	<p>2. 裏込工 裏込工に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1576 1444 2576 1686"> <thead> <tr> <th>種別(レべ°ル3)</th> <th>細別(レべ°ル4)</th> <th colspan="3">積算要素(レべ°ル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">裏込工</td> <td>目地板</td> <td>防砂目地板取付</td> <td>防砂目地板取付(陸上・水中)</td> <td>100m当り</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">裏込材</td> <td rowspan="4">裏込材投入</td> <td>裏込材投入(直接投入)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>裏込材投入(積込・運搬)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>裏込材投入(陸上投入)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> <tr> <td>裏込材投入(海上運搬投入)</td> <td>1,000m<sup>3</sup>当り</td> </tr> </tbody> </table>	種別(レべ°ル3)	細別(レべ°ル4)	積算要素(レべ°ル6)			裏込工	目地板	防砂目地板取付	防砂目地板取付(陸上・水中)	100m当り	裏込材	裏込材投入	裏込材投入(直接投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り	裏込材投入(積込・運搬)	1,000m <sup>3</sup> 当り	裏込材投入(陸上投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り	裏込材投入(海上運搬投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り	改定による削除
種別(レべ°ル3)	細別(レべ°ル4)	積算要素(レべ°ル6)																																									
裏込工	目地板	防砂目地板取付	防砂目地板取付(陸上・水中)	100m当り																																							
	裏込材	裏込材投入	裏込材投入(直接投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
			裏込材投入(積込・運搬)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
			裏込材投入(陸上投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
			裏込材投入(海上運搬投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
種別(レべ°ル3)	細別(レべ°ル4)	積算要素(レべ°ル6)																																									
裏込工	目地板	防砂目地板取付	防砂目地板取付(陸上・水中)	100m当り																																							
	裏込材	裏込材投入	裏込材投入(直接投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
			裏込材投入(積込・運搬)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
			裏込材投入(陸上投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							
			裏込材投入(海上運搬投入)	1,000m <sup>3</sup> 当り																																							

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント																																																																																	
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-6	<p>2-2 施工フロー</p> 	<p>2-2 施工フロー</p> 	改定による修正																																																																																	
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-8	<p>2-4-1 代価表作成手順</p> <p>現場条件 → 2-4-2 施工方式の決定 → 直接投入(標準) 積込運搬+陸上投入 積込運搬+海上運搬投入</p> <p>[直接投入の積算] 2-4-3</p> <p>現場条件 → 瀨取りの必要性の検討 → ・必要な場合は、「参考資料-1」を参照</p> <p>[陸上投入の積算]</p> <p>裏込材種類 → クラムシェル1日 当たり排出量の選定 → ⑥ クラムシェル1日 当たり排出量</p> <p>③ 1日当たり投入量 ⑥ クラムシェル1日 当たり排出量 → 陸上投入機械の 運転日数の計算 → ⑦ クラムシェル 運転日数</p> <p>③ 1日当たり投入量 ⑦ クラムシェル 運転日数 → 代価表の作成 → ・裏込材投入(陸上投入) 1,000m<sup>2</sup>当り代価表</p>	<p>2-4-1 代価表作成手順</p> <p>現場条件 → 2-4-2 施工方式の決定 → 直接投入(標準) 積込運搬+海上運搬投入</p> <p>[直接投入の積算] 2-4-3</p> <p>現場条件 → 瀨取りの必要性の検討 → ・必要な場合は、「<u>2-7 瀨取り</u>」を参照</p> <p><del>削除</del></p>	改定による削除 字句の修正 改定による削除																																																																																	
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-9	<p>2-4-2 施工方式</p> <p>1) 裏込材投入</p> <p>(2) 陸上投入</p> <p>積込・運搬 → 陸上投入</p> <p>(3) 海上運搬投入</p> <p>積込・運搬 → 海上運搬投入</p>	<p>2-4-2 施工方式</p> <p><del>1) 裏込材投入</del></p> <p><del>削除</del></p> <p>(2) 海上運搬投入</p> <p>積込・運搬 → 海上運搬投入</p>	改定による削除																																																																																	
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-10	<p>3) 作業船組合せ</p> <table border="1" data-bbox="400 1575 1231 1879"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>作業内容</th> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">直接投入</td> <td>投入指示</td> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積込</td> <td>クローラローダ</td> <td>1.8~1.9m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">積込・運搬</td> <td>集積</td> <td>ブルドーザ</td> <td>15t級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">陸上投入</td> <td>投入</td> <td>クラムシェル</td> <td>1.2m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>投入指示</td> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海上運搬投入</td> <td>積込運搬投入</td> <td>ガット船</td> <td>グラフ容量 1.8m<sup>3</sup> グラフ容量 3.0m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>集積</td> <td>ブルドーザ</td> <td>15t級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>投入指示</td> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	作業内容	名称	規格	摘要	直接投入	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊		積込	クローラローダ	1.8~1.9m <sup>3</sup>		積込・運搬	集積	ブルドーザ	15t級		運搬	ダンプトラック	10t積級		陸上投入	投入	クラムシェル	1.2m <sup>3</sup>		投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊		海上運搬投入	積込運搬投入	ガット船	グラフ容量 1.8m <sup>3</sup> グラフ容量 3.0m <sup>3</sup>		集積	ブルドーザ	15t級		投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊		<p>3) 作業船組合せ</p> <table border="1" data-bbox="1587 1575 2418 1827"> <thead> <tr> <th>施工区分</th> <th>作業内容</th> <th>名称</th> <th>規格</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">直接投入</td> <td>投入指示</td> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積込</td> <td>クローラローダ</td> <td>1.8~1.9m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">積込・運搬</td> <td>集積</td> <td>ブルドーザ</td> <td>15t級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>運搬</td> <td>ダンプトラック</td> <td>10t積級</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海上運搬投入</td> <td>積込運搬投入</td> <td>ガット船</td> <td>グラフ容量 1.8m<sup>3</sup> グラフ容量 3.0m<sup>3</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>集積</td> <td>ブルドーザ</td> <td>15t級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>投入指示</td> <td>潜水士船</td> <td>D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工区分	作業内容	名称	規格	摘要	直接投入	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊		積込	クローラローダ	1.8~1.9m <sup>3</sup>		積込・運搬	集積	ブルドーザ	15t級		運搬	ダンプトラック	10t積級		海上運搬投入	積込運搬投入	ガット船	グラフ容量 1.8m <sup>3</sup> グラフ容量 3.0m <sup>3</sup>		集積	ブルドーザ	15t級		投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊		改定による削除
施工区分	作業内容	名称	規格	摘要																																																																																
直接投入	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊																																																																																	
	積込	クローラローダ	1.8~1.9m <sup>3</sup>																																																																																	
積込・運搬	集積	ブルドーザ	15t級																																																																																	
	運搬	ダンプトラック	10t積級																																																																																	
陸上投入	投入	クラムシェル	1.2m <sup>3</sup>																																																																																	
	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊																																																																																	
海上運搬投入	積込運搬投入	ガット船	グラフ容量 1.8m <sup>3</sup> グラフ容量 3.0m <sup>3</sup>																																																																																	
	集積	ブルドーザ	15t級																																																																																	
	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊																																																																																	
施工区分	作業内容	名称	規格	摘要																																																																																
直接投入	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊																																																																																	
	積込	クローラローダ	1.8~1.9m <sup>3</sup>																																																																																	
積込・運搬	集積	ブルドーザ	15t級																																																																																	
	運搬	ダンプトラック	10t積級																																																																																	
海上運搬投入	積込運搬投入	ガット船	グラフ容量 1.8m <sup>3</sup> グラフ容量 3.0m <sup>3</sup>																																																																																	
	集積	ブルドーザ	15t級																																																																																	
	投入指示	潜水士船	D180PS型 3~5t吊																																																																																	

平成29年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント																									
<p>第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-11</p>	<p>2-4-3 施工歩掛 (4) 陸上投入 ① 1日当り陸上投入量 1日当り陸上投入量は、1日当り投入量（V）とする。</p> <p>② 作業能力 イ. クラムシエル（1.2m<sup>3</sup>）</p> <table border="1" data-bbox="433 426 1190 583"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>形状寸法</th> <th>1日当り施工量（D） （m<sup>3</sup>/日）</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石・鉦さい</td> <td></td> <td>374</td> <td>扱い数量を対象</td> </tr> <tr> <td>割石</td> <td>200kg/個未満</td> <td>312</td> <td>//</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 海上運搬投入</p>	分類	形状寸法	1日当り施工量（D） （m <sup>3</sup> /日）	摘要	砕石・鉦さい		374	扱い数量を対象	割石	200kg/個未満	312	//	<p>2-4-3 施工歩掛 <del>削除</del></p> <p>(4) 海上運搬投入</p>	<p>改定による削除</p>													
分類	形状寸法	1日当り施工量（D） （m <sup>3</sup> /日）	摘要																									
砕石・鉦さい		374	扱い数量を対象																									
割石	200kg/個未満	312	//																									
<p>第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-13</p>	<p>2) 代価表 (2) 直接投入以外の場合 ② 裏込材投入（陸上投入） 1,000m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="412 716 1311 909"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>裏込材</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>1,000×(1+W/100)</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>潜水士船運転</td> <td>D180PS型 3～5t吊</td> <td>日</td> <td>1,000×(1+W/100)/V</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>クラムシエル</td> <td>1.2m<sup>3</sup></td> <td>//</td> <td>1,000×(1+W/100)/D</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.W:材料割増率(%) 2.V:1日当り投入量(扱い数量、m<sup>3</sup>/日) 3.D:陸上機械1日当り施工量(扱い数量、m<sup>3</sup>/日) 4.数量は、小数3位四捨五入とする。</p> <p>③ 裏込材投入（海上運搬投入） 1,000m<sup>3</sup>当り</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	裏込材		m <sup>3</sup>	1,000×(1+W/100)	割増しを含む	潜水士船運転	D180PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H	クラムシエル	1.2m <sup>3</sup>	//	1,000×(1+W/100)/D	標準運転時間	雑材料					<p>2) 代価表</p> <p>② 裏込材投入（海上運搬投入） 1,000m<sup>3</sup>当り</p>	<p>改定による削除</p>
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																								
裏込材		m <sup>3</sup>	1,000×(1+W/100)	割増しを含む																								
潜水士船運転	D180PS型 3～5t吊	日	1,000×(1+W/100)/V	就業8H																								
クラムシエル	1.2m <sup>3</sup>	//	1,000×(1+W/100)/D	標準運転時間																								
雑材料																												

掲載頁	現行(旧)	改定(新)	コメント
第3章9節 裏込・裏埋工 3-9-(1)		<p>参考資料-1 直接投入以外の裏込材投入(陸上投入)</p> <p>1. 適用範囲                      本項は、係船岸等の構造物の裏込工事に適用する。</p> <p>2. 施工フロー</p> <p>注) 本項の歩掛は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">    </span>の部分である。</p> <p>3. 代価表作成手順</p> <p>4</p> <p>・現場条件 → 施工方式の決定 → 積込運搬+陸上投入</p> <p>↓</p> <p>本節 2-4-3</p> <p>・施工水深(現地盤の水深)                      ・施工規模(投入量) → 能力補正係数の選定 → ①能力補正係数                      (水深区分能力補正係数)                      (施工規模区分能力補正係数)</p> <p>↓</p> <p>①能力補正係数 → 投入指示量の算定 → ②1日当り投入指示量</p> <p>↓</p> <p>・標準断面積                      ・M.L.W.L.                      ②1日当り投入指示量 → 1日当り投入量の計算 → ③1日当り投入量</p> <p>[直接投入以外の場合]</p> <p>・裏込材種類 → 5                      クローラローダ1日当り積込量選定 → ④クローラローダ1日当り積込量</p> <p>↓</p> <p>③1日当り投入量                      ④クローラローダ1日当り積込量 → 積込運搬機械の選定 → ⑤積込運搬機械(クローラローダ、クレーン、クレーントラック)運転日数</p> <p>↓</p> <p>③1日当り投入量                      ⑤積込運搬機械運転日数 → 代価表の作成 → ・裏込材投入(積込・運搬)                      1,000m<sup>3</sup>当り代価表</p> <p>[陸上投入の積算]</p> <p>・裏込材種類 → クラムシエル1日当り排出量の選定 → ⑥クラムシエル1日当り排出量</p> <p>↓</p> <p>③1日当り投入量                      ⑥クラムシエル1日当り排出量 → 陸上投入機械の運転日数の計算 → ⑦クラムシエル運転日数</p> <p>↓</p> <p>③1日当り投入量                      ⑦クラムシエル運転日数 → 代価表の作成 → ・裏込材投入(陸上投入)                      1,000m<sup>3</sup>当り代価表</p>	改定による追加